

第410回

地震調査委員会 資料

2025年2月12日

G N S S 関連資料の見方

1. 解析の種類

GEONET では、軌道暦と解析に用いるデータの組合せにより最終解(F5)、速報解(R5)、迅速解(Q5)の3種類の解析を実施しています(下表参照)。1日間のデータはUTCの0:00～23:59で解析しています。

各解析の詳細につきましては、Takamatsu et al. (2023) (<https://doi.org/10.1186/s40623-023-01787-7>), 国土地理院時報 134 集 (2021) (<https://www.gsi.go.jp/REPORT/JIHO/vol134-main.html>) を御参照下さい。

表 解析の種類による軌道暦等の違い

解析の種類	軌道暦	解析に用いるデータ	解の間隔	解析結果
F5 (最終解)	IGS 最終暦	24 時間分	1 日	2 ～ 3 週間後
R5 (速報解)	IGS 速報暦	24 時間分	1 日	2 日後
Q5 (迅速解)	IGS 超速報暦	6 時間分	3 時間	約 3 時間後

2. 電子基準点の保守

電子基準点の安定運用を図るため保守及び器材の更新を実施しています。その際、受信機やアンテナの機種を変更することにより、F5解等の解析結果にオフセットが生じることがあります。この場合、F5解を基にオフセット量を算出し、資料作成時に補正を行っています。なお、変動ベクトル図・変動ベクトルの差の図では、この補正を行った観測点を白抜き矢印で表示し、未補正の観測点は表示から外しています。

国土地理院で行っているオフセット補正の詳細につきましては、国土地理院時報 118 集 (2009) (GPS 連続観測システム (GEONET) 解析結果に生じる人為的要因によるオフセットの補正手法について<http://www.gsi.go.jp/common/000054719.pdf>) を御参照下さい。

3. 2 期間の地殻水平変動ベクトルの差

期間①の変動ベクトルと期間②の変動ベクトルの差を表示しています(下図参照)。

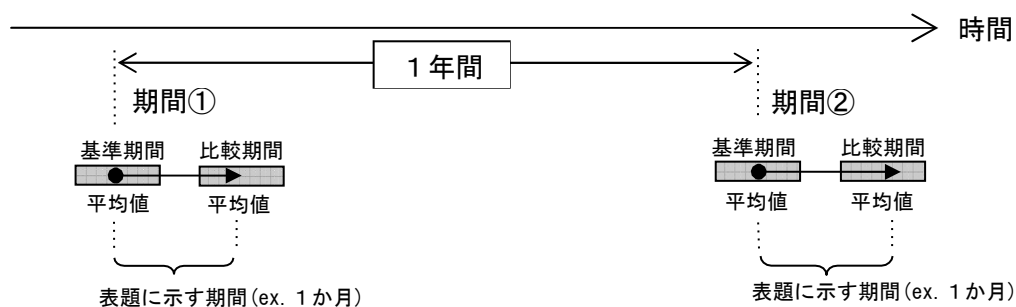
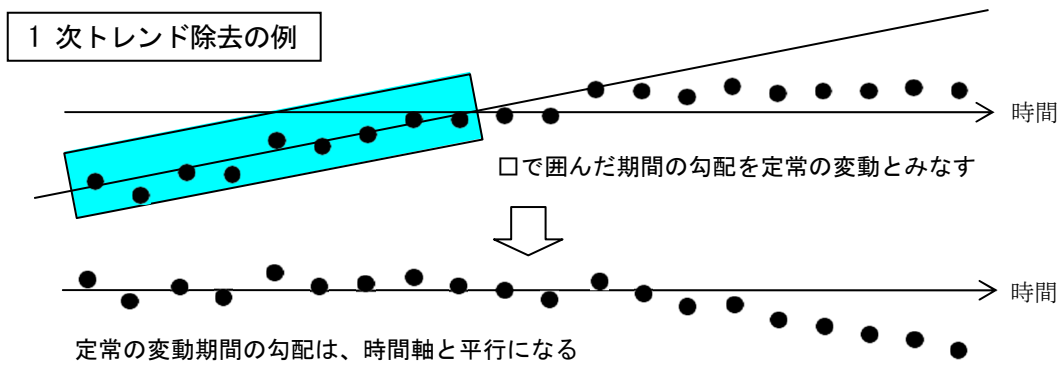


図 「2 期間の地殻水平変動ベクトルの差」の説明

4. 1 次トレンド・年周・半年周成分除去

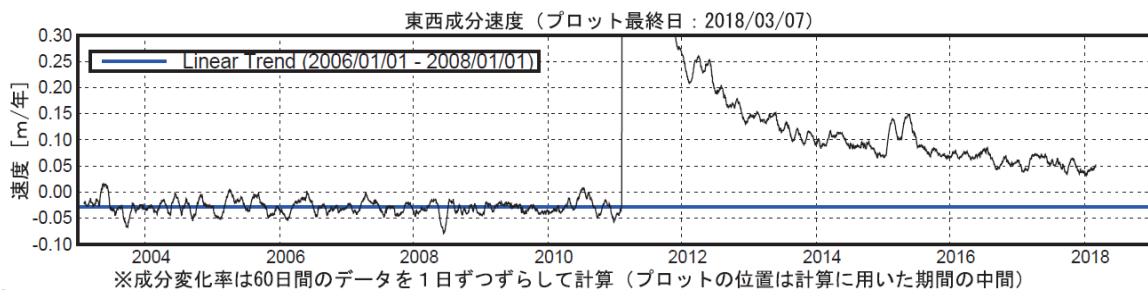
より詳細な変動を見るために、定常の変動とみなした期間における 1 次トレンド・年周・半年周の成分を推定し、全期間から差し引いています。これにより、非定常的な変動を見やすくすることができます。定常とみなした期間は「計算期間」として、グラフ及びベクトル図に表示しています。



5. 基線ベクトル成分の速度

余効変動のような緩やかな非定常変動の推移を見積もる方法として、基線ベクトル成分の速度をプロットしています。基線ベクトル成分の速度は、指定された日数（下図の例では60日間）の変化の1次トレンドとして計算し、計算期間の中間日にプロットしています。この計算を1日ずつずらしてグラフにしています。

更に定常とみなした変動からの離れ具合を表すために、グラフ内の左上に「Linear Trend (期間)」として示す期間について基線ベクトル成分の変化から、1次トレンド、年周・半年周成分を推定し、得られた1次トレンドの値を平均的な速度として一定の値の横棒で表しています。



6. 移転

移転した電子基準点は、移転前の点と別個の点として扱われます。そのため、地殻変動観測の継続性を保つために、移転前・移転後の座標時系列を結合して資料を作成しています。この場合、時系列グラフには移転した点の名前と移転日の注記を入れています。

7. 解析時の固定点について

F5解析及びR5解析では、茨城県の「つくば1」(92110)を解析固定点としており、その座標値は世界各地の観測データから算出する手法を採用しています。一方、Q5解析では解析固定点を福岡県の「前原」(950450)とし、その座標値はノミナルな値で与えています。このため、F5解析及びR5解析とQ5解析を比較した場合、座標値に見かけ上の差が生じますが、通常、基線ベクトルを形成することで、その差は相殺されます。ただし、1000kmを超えるような長距離基線では、最大で数ミリのずれが残ることがあります。

8. 出典

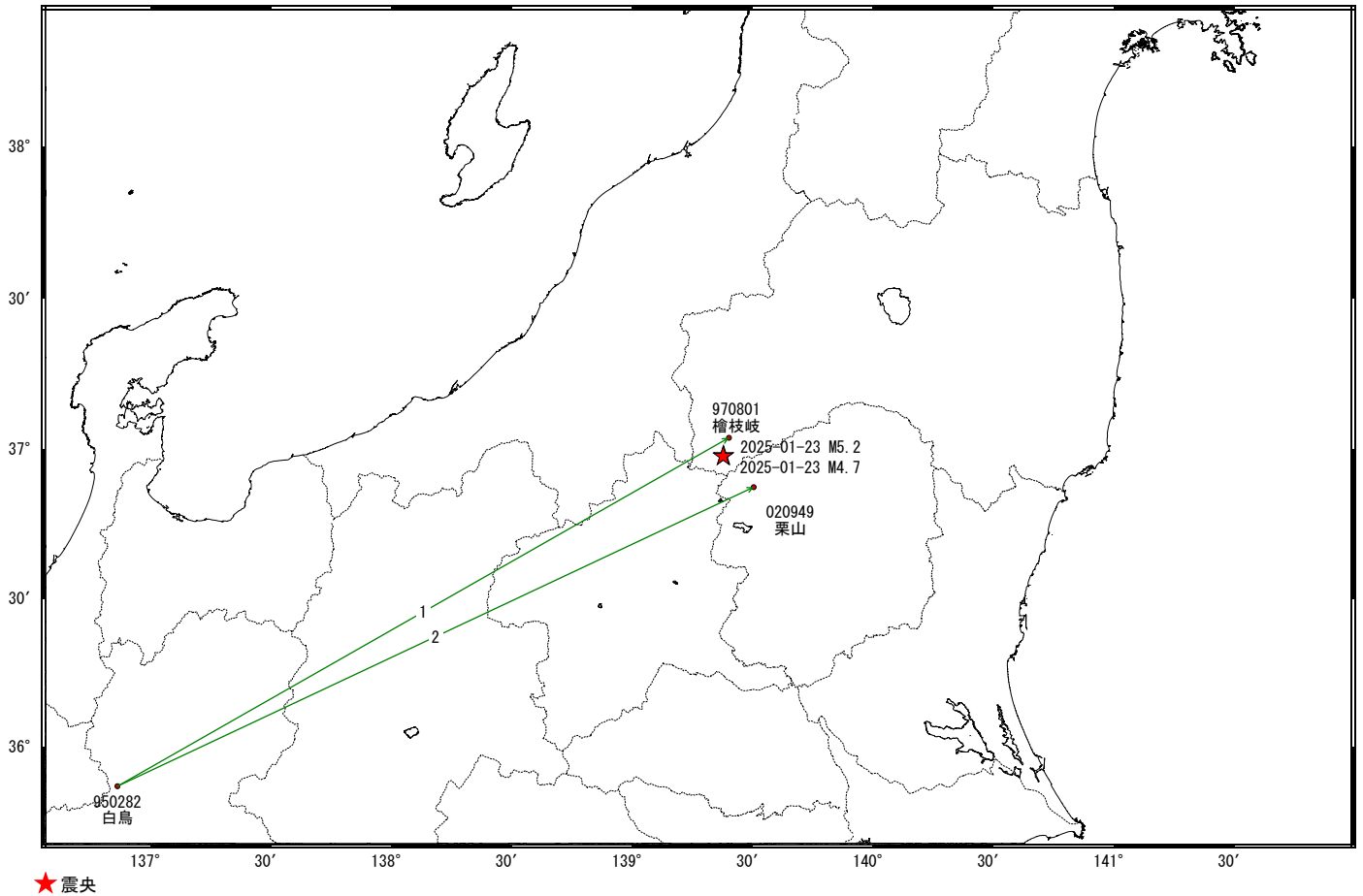
本資料を利用する際は、出典の記載をお願いします。

(出典記載例) 「出典: 国土地理院」

福島県会津の地震(1月23日 M5. 2, 1月23日 M4. 7)前後の観測データ(暫定)

この地震に伴う顕著な地殻変動は見られない。

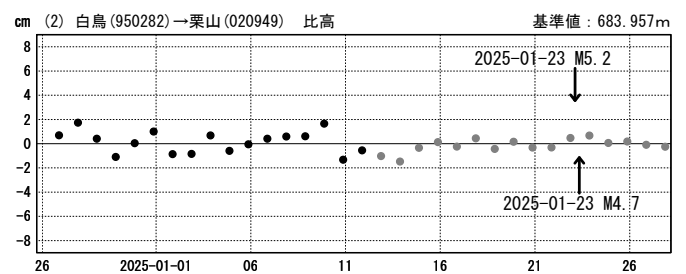
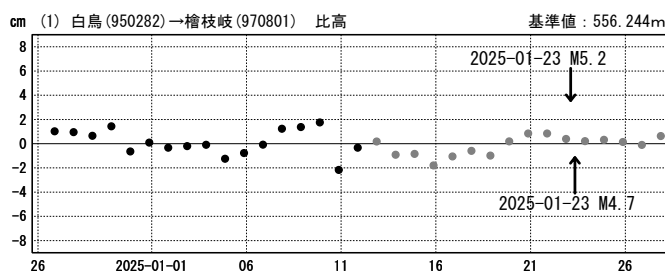
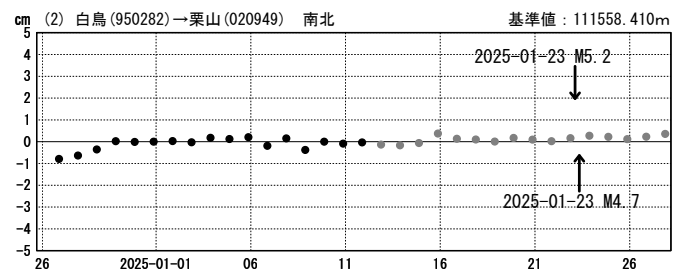
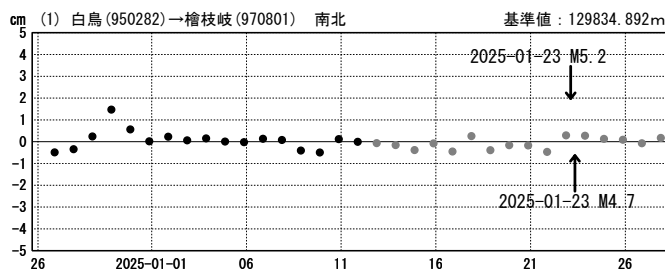
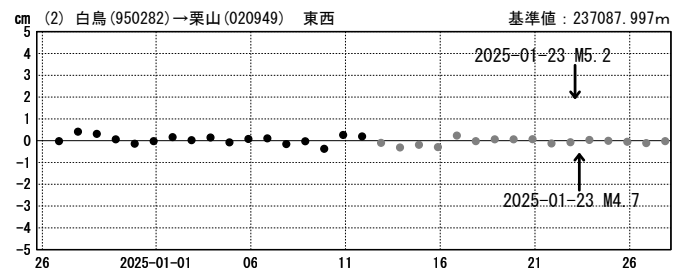
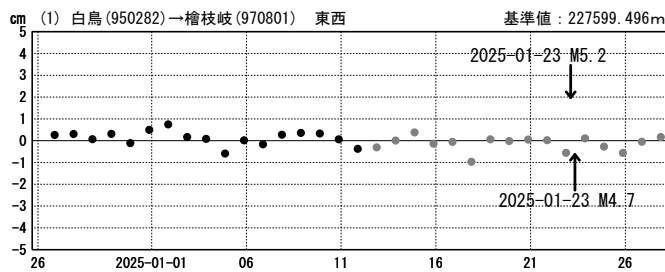
基線図



成分変化グラフ

期間: 2024-12-26~2025-01-27 JST

期間: 2024-12-26~2025-01-27 JST



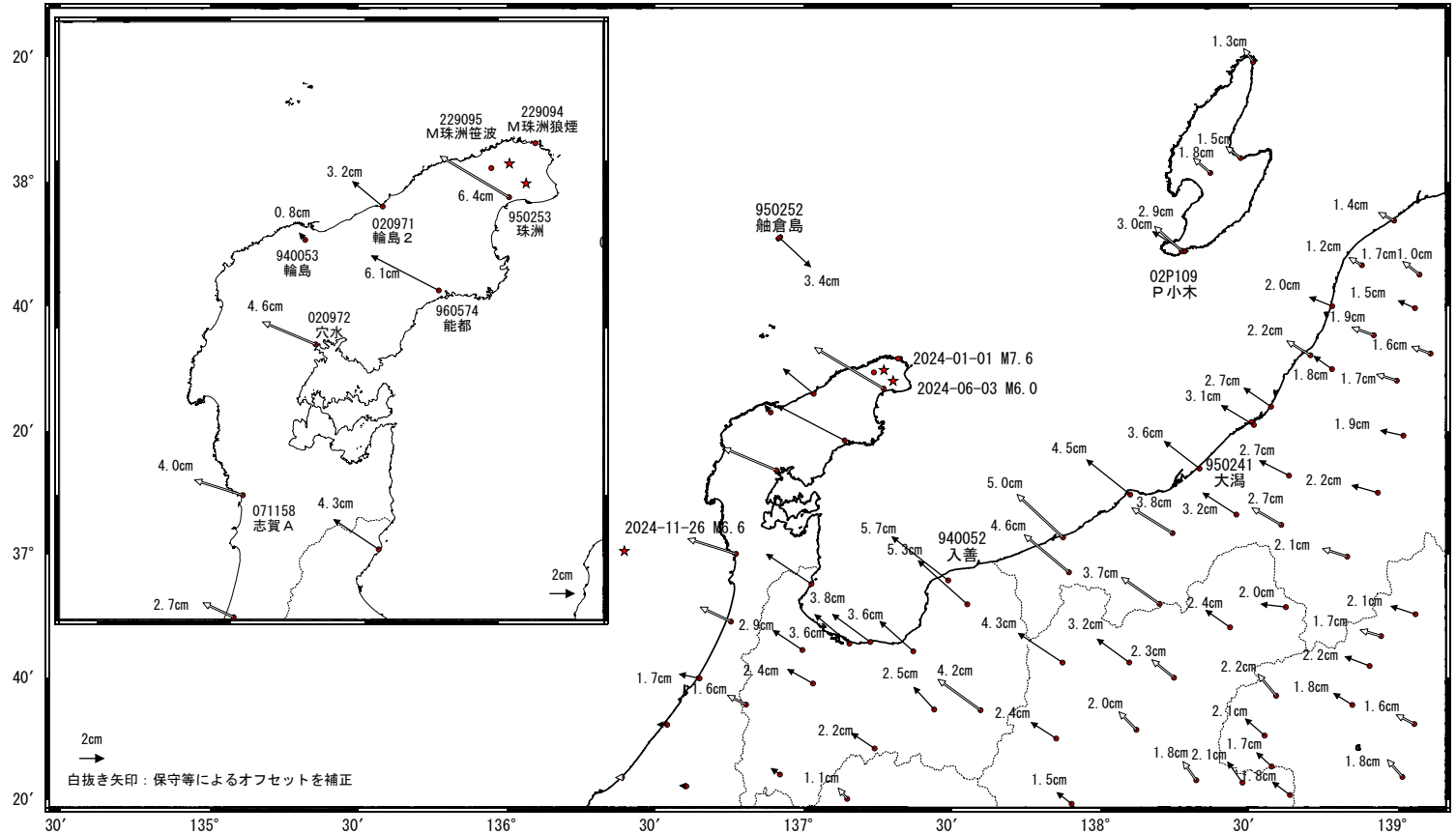
●—[F5:最終解] ●—[R5:速報解]

令和6年能登半島地震(2024年1月1日 M7.6)後の観測データ (暫定)

地殻変動(水平) (1次トレンド・年周成分・半年周成分除去後)

基準期間: 2024-01-02~2024-01-02 [F5: 最終解]
比較期間: 2025-01-19~2025-01-25 [R5: 速報解]

計算期間: 2019-09-01~2020-09-01

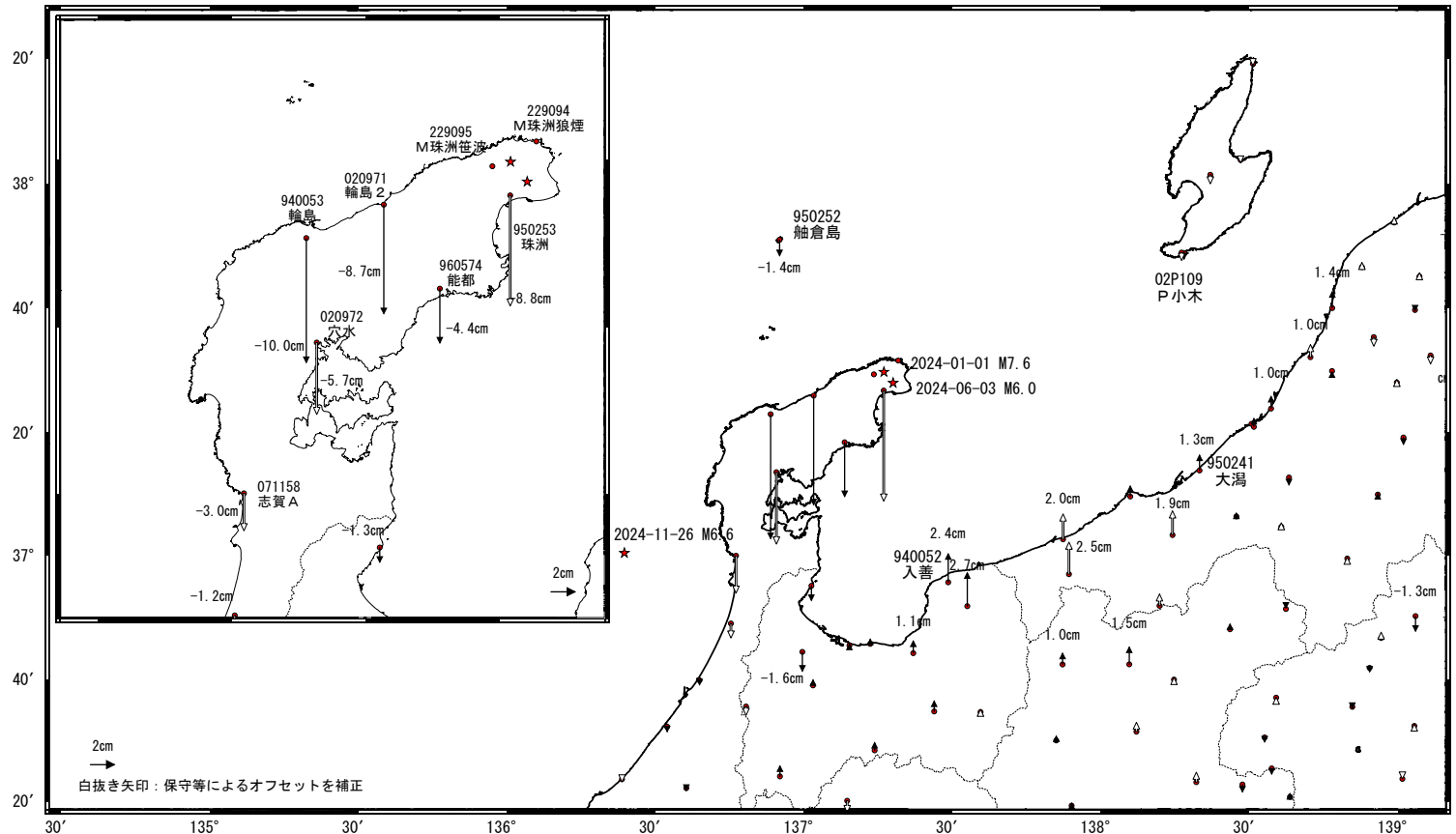


★ 固定局: 三隅(950388) (島根県) ★ 震央

地殻変動(上下) (1次トレンド・年周成分・半年周成分除去後)

基準期間: 2024-01-02~2024-01-02 [F5: 最終解]
比較期間: 2025-01-19~2025-01-25 [R5: 速報解]

計算期間: 2019-09-01~2020-09-01



★ 固定局: 三隅(950388) (島根県) ★ 震央

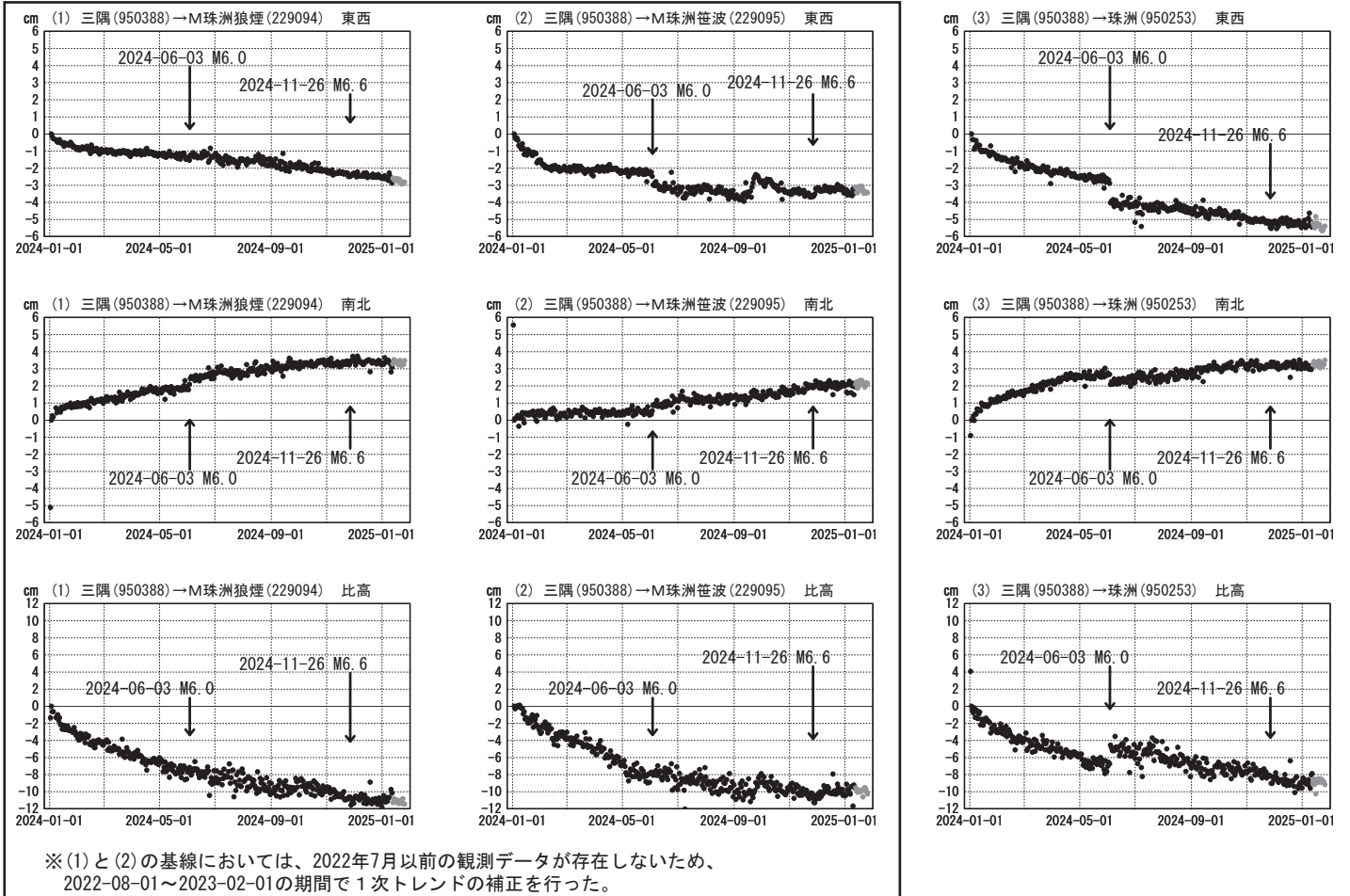
※M珠洲狼煙(229094)とM珠洲笹波(229095)は、計算期間の観測データが存在しない。

令和6年能登半島地震(2024年1月1日 M7.6)後の観測データ (暫定)

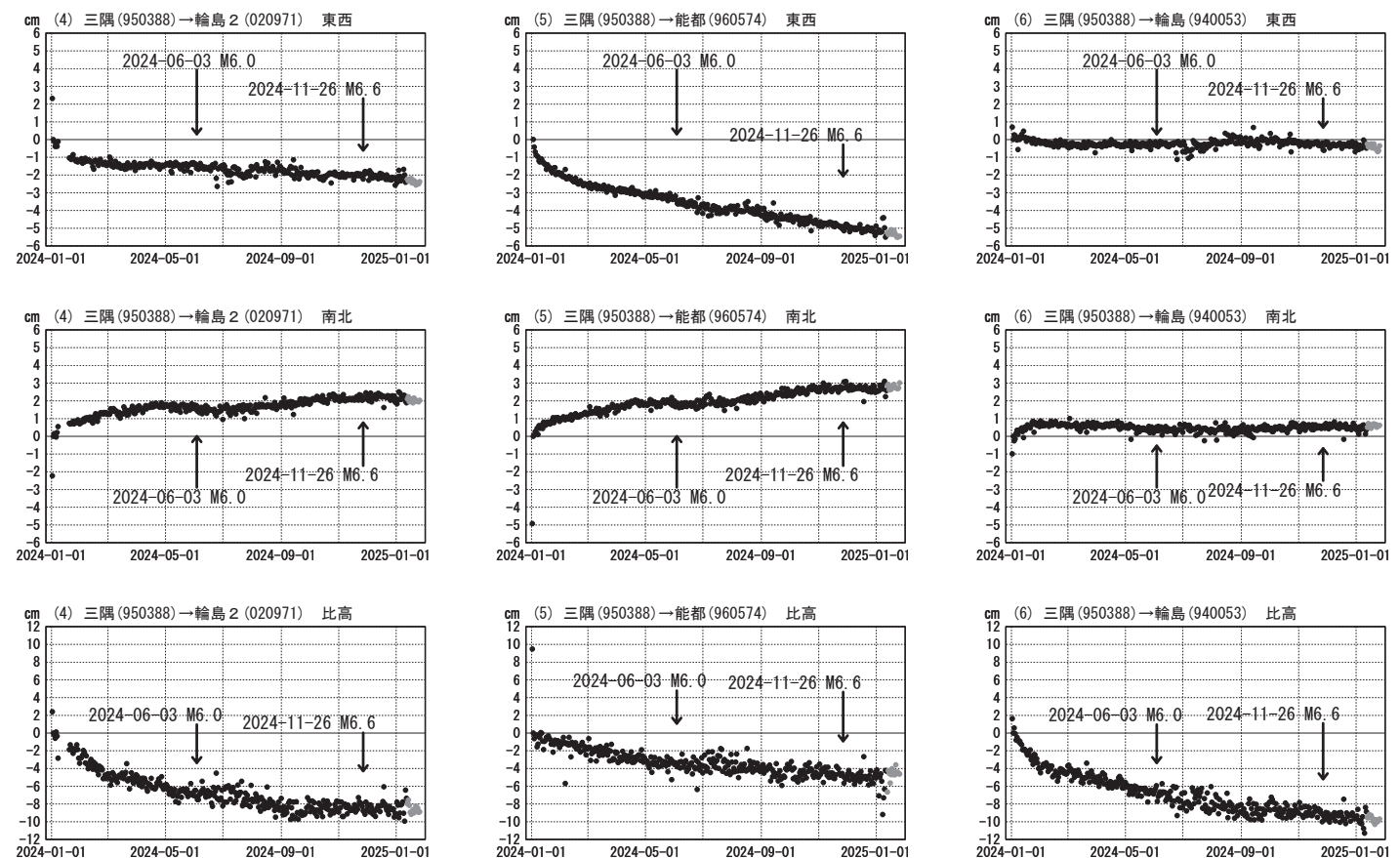
1次トレンド・年周成分・半年周成分除去後グラフ

計算期間: 2019-09-01~2020-09-01

期間: 2024-01-01~2025-01-25 JST



期間: 2024-01-01~2025-01-25 JST



●---[F5:最終解] ●---[R5:速報解]

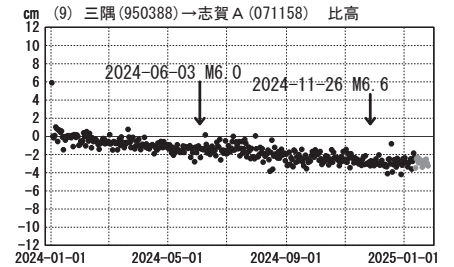
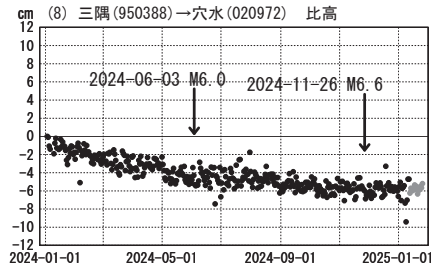
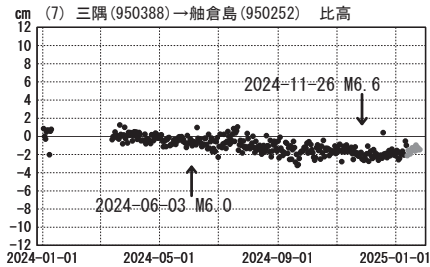
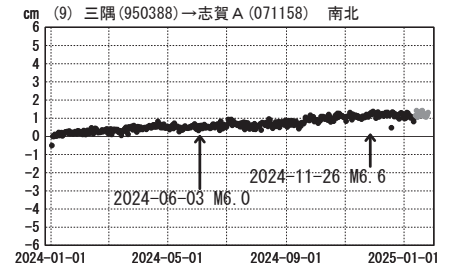
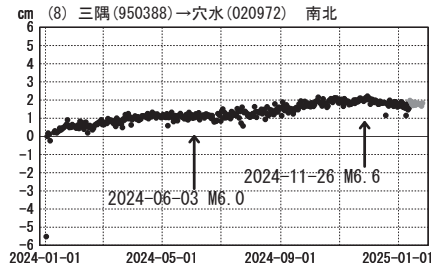
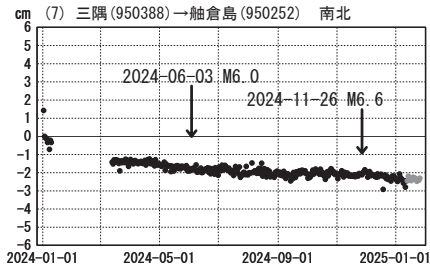
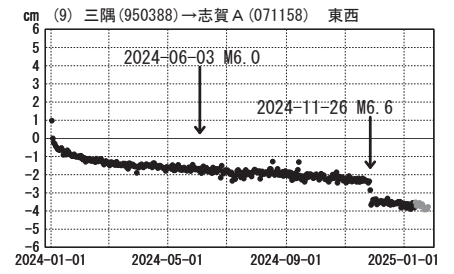
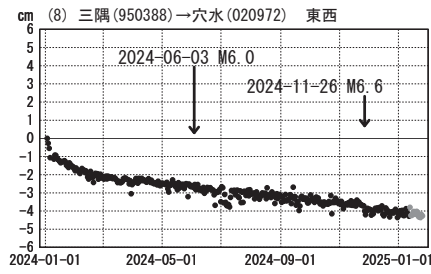
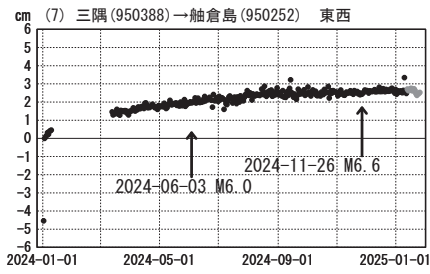
※M珠洲笹波(229095)については、2024年9月の能登地方の大雨等に伴う局所的な変動があった可能性がある。

令和6年能登半島地震(2024年1月1日 M7.6)後の観測データ (暫定)

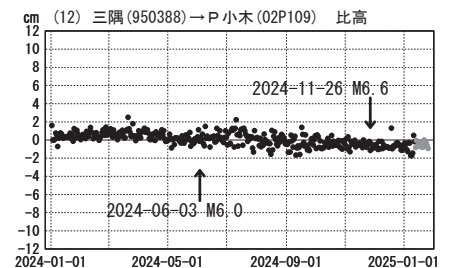
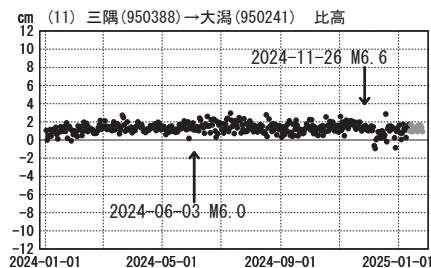
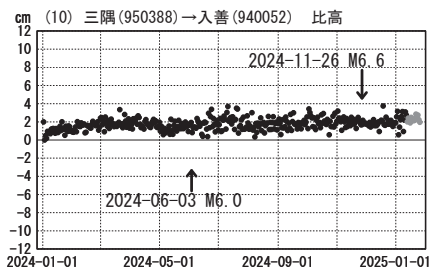
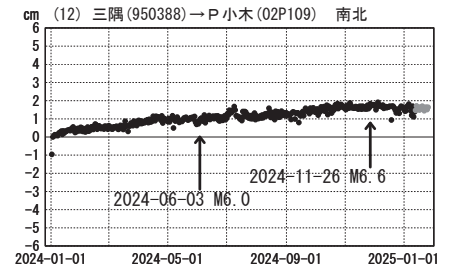
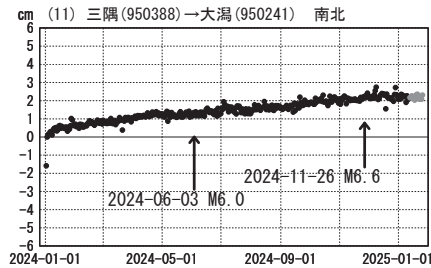
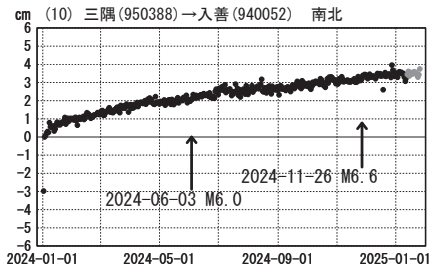
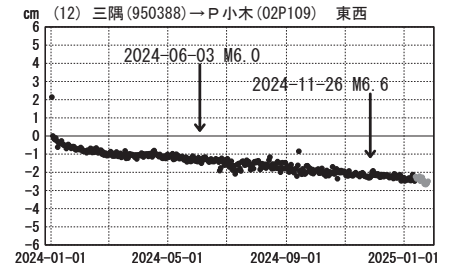
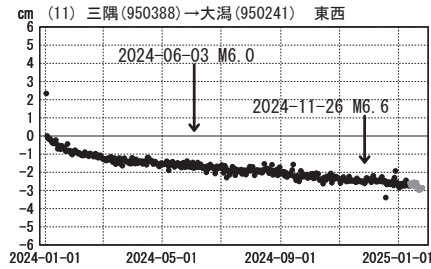
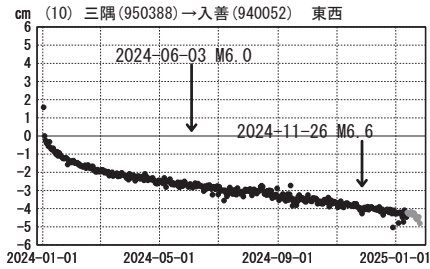
1次トレンド・年周成分・半年周成分除去後グラフ

計算期間: 2019-09-01~2020-09-01

期間: 2024-01-01~2025-01-25 JST



期間: 2024-01-01~2025-01-25 JST



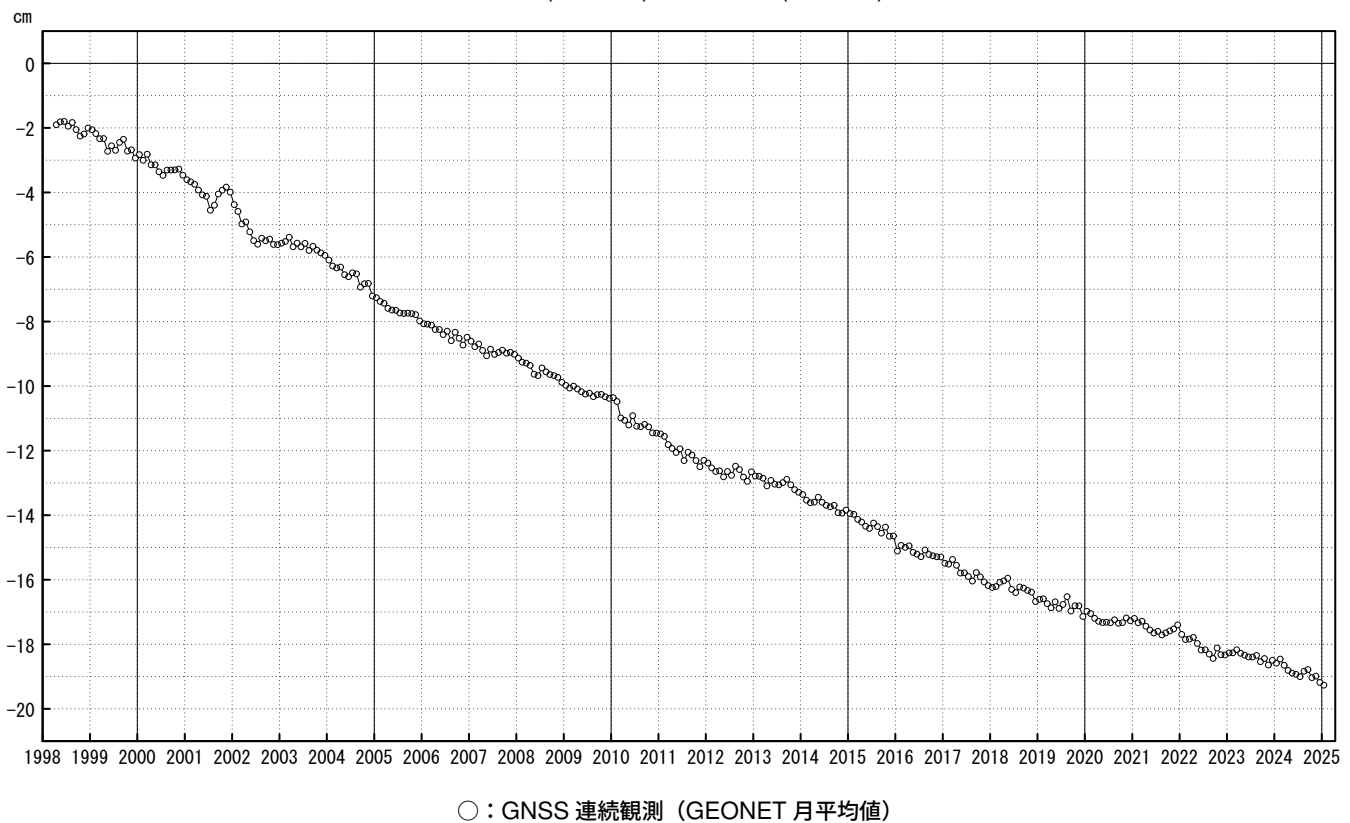
●---[F5:最終解] ●---[R5:速報解]

御前崎 電子基準点の上下変動

水準測量と GNSS 連続観測

掛川に対して、御前崎が沈降する長期的な傾向が続いている。

掛川 A (161216) - 御前崎 A (091178)



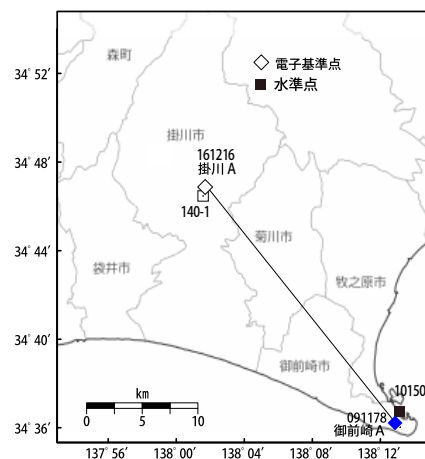
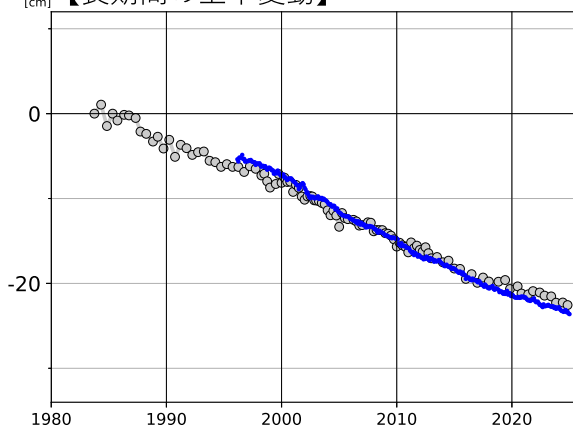
・ GNSS 連続観測のプロット点は、GEONET による日々の座標値 (F5: 最終解) から計算した値の月平均値。最新のプロット点は 1 月 1 日～1 月 11 日の平均。

※ 1 2009 年 8 月 11 日の駿河湾の地震に伴う電子基準点「御前崎」の局所的な変動について、地震前後の水準測量で得られた「御前崎」周辺の水準点との比高の差を用いて補正を行った。

※ 2 電子基準点「御前崎 A」については、2010 年 3 月 23 日まで電子基準点「御前崎」のデータを使用。

※ 3 電子基準点「掛川 A」については、2017 年 1 月 29 日まで電子基準点「掛川」のデータを使用。

【長期間の上下変動】



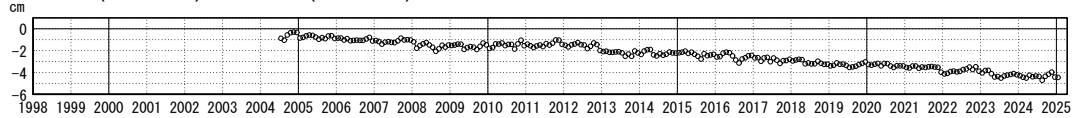
・ 青色のプロットは上記の GEONET による日々の座標値の月平均値。
・ 灰色のプロットは電子基準点の最寄りの水準点「10150」の水準測量結果を示している (固定：140-1)。

国土地理院

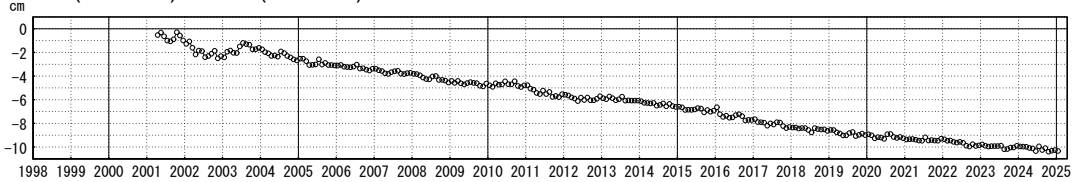
御前崎 電子基準点の上下変動

御前崎周辺の長期的な沈降傾向に変化は見られない。

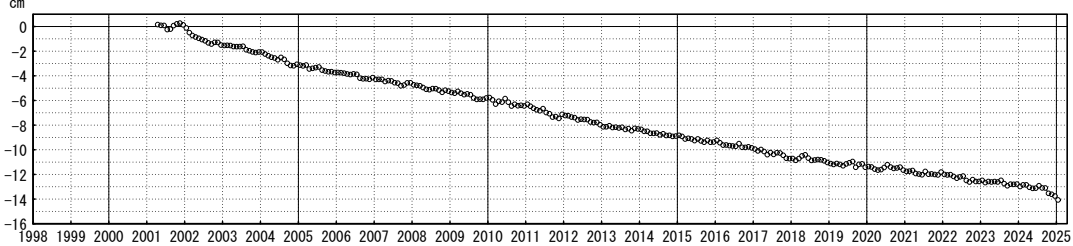
(1) 静岡森 2 (970819) - 掛川 A (161216)



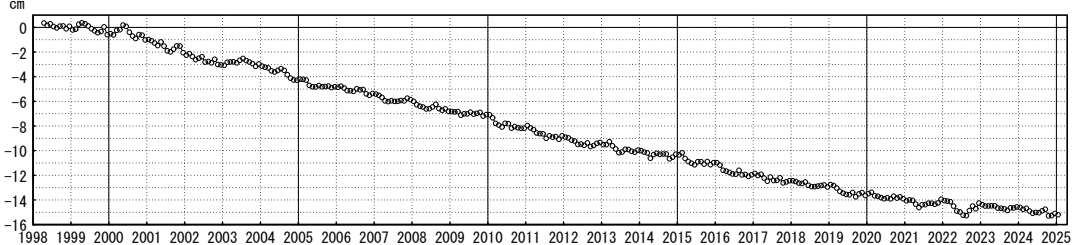
(2) 掛川 A (161216) - 小笠 (960622)



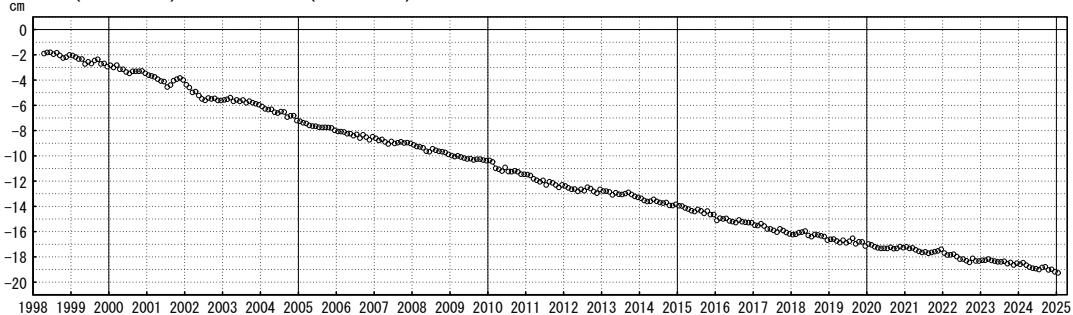
(3) 掛川 A (161216) - 浜岡 1 (93094)



(4) 掛川 A (161216) - 浜岡 2 (960625)

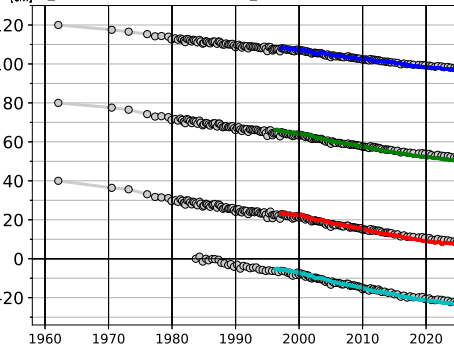


(5) 掛川 A (161216) - 御前崎 A (091178)

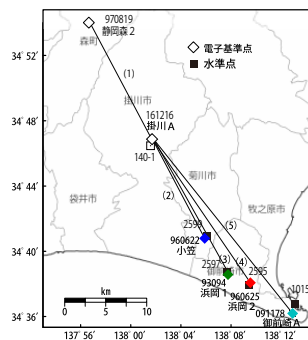


○ : GNSS 連続観測 (GEONET 月平均値)

【長期間の上下変動】



「固定局：掛川 A (161216)」

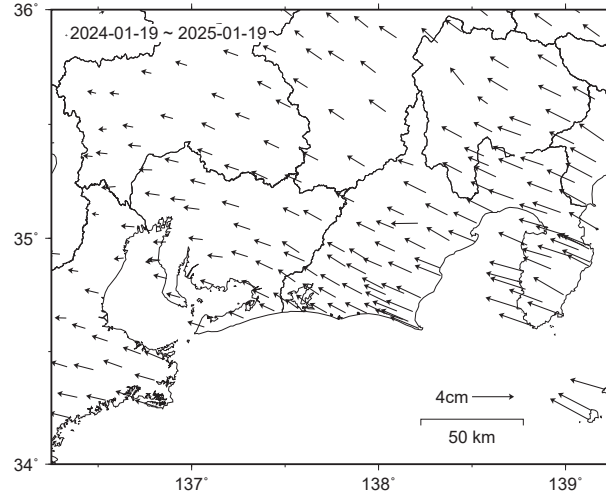


- GNSS 連続観測のプロット点は、GEONET による日々の座標値 (F5：最終解) から計算した値の月平均値。最新のプロット点は 1 月 1 日～1 月 11 日の平均。
- 各プロットの色は配色図の電子基準点の色と対応する。
- 灰色のプロットは電子基準点の最寄りの水準点「2599」「2597」「2595」「10150」の水準測量結果を示している (固定：140-1)。
- ※ 1 2009 年 8 月 11 日の駿河湾の地震に伴う電子基準点「御前崎」の局所的な変動について、地震前後の水準測量で得られた「御前崎」周辺の水準点との比高の差を用いて補正を行った。
- ※ 2 電子基準点「御前崎 A」については、2010 年 3 月 23 日まで電子基準点「御前崎」のデータを使用。
- ※ 3 電子基準点「掛川 A」については、2017 年 1 月 29 日まで電子基準点「掛川」のデータを使用。

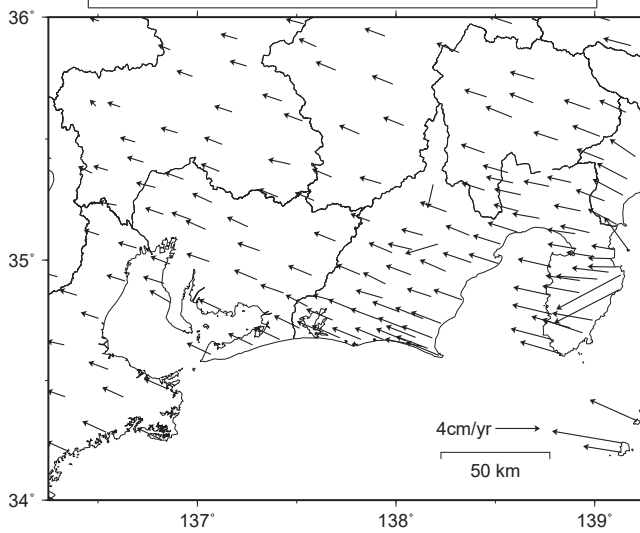
東海地方の水平地殻変動【固定局：三隅】 (2024 年 01 月～ 2025 年 01 月)

基準期間：2024-01-13 ～ 2024-01-25 [F5：最終解]

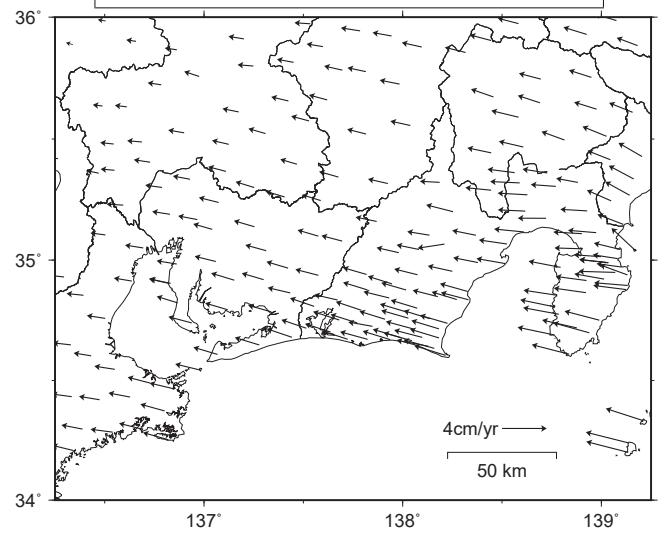
比較期間：2025-01-13 ～ 2025-01-25 [R5：速報解]



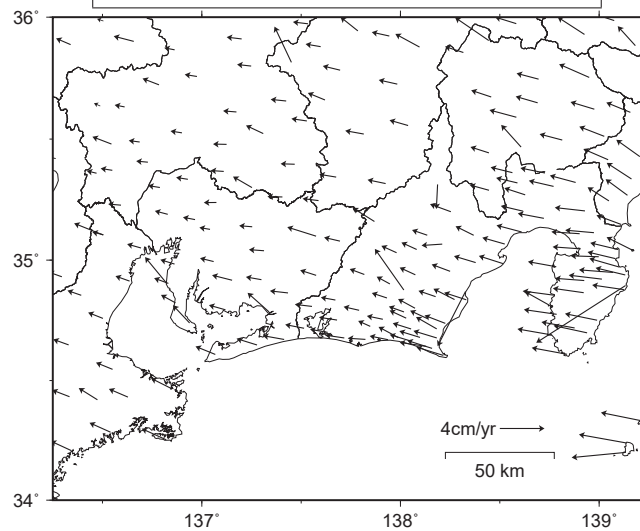
ゆっくりすべり発生前の水平地殻変動速度
(1997年1月～2000年1月)



ゆっくりすべり終息以後の水平地殻変動速度
(2008年1月～2011年1月)



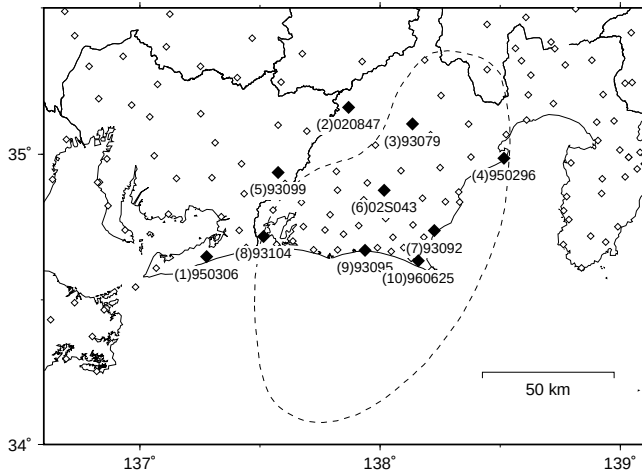
ゆっくりすべり進行期の水平地殻変動速度
(2001年1月～2004年1月)



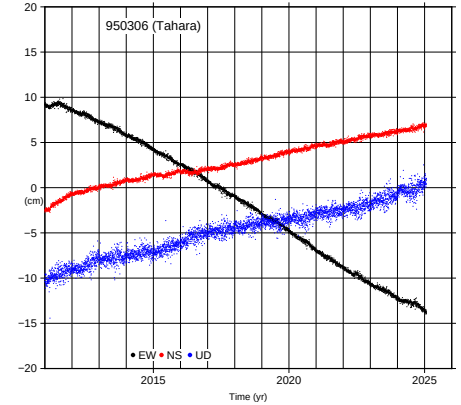
国土地理院

東海地方の地殻変動時系列【固定局：三隅】

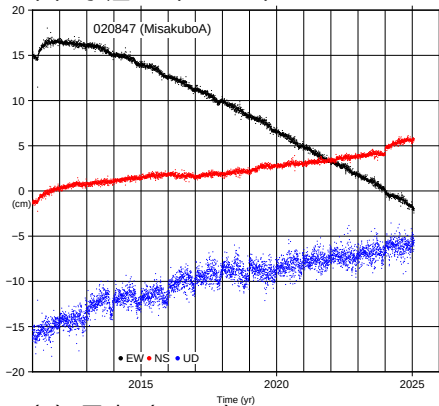
速報解含む 2011-01-01 ~ 2025-01-25



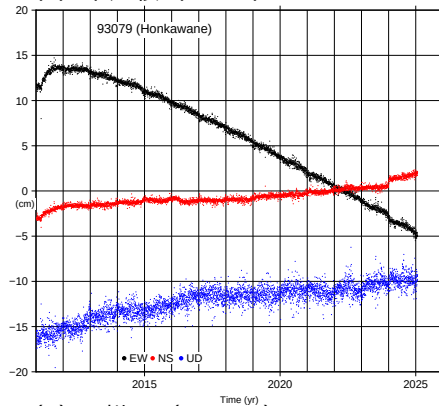
(1) 田原 (950306)



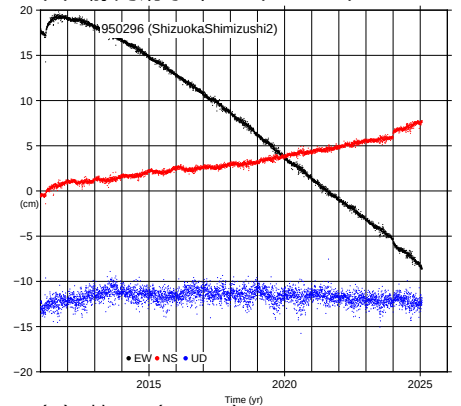
(2) 水窪 A (020847)



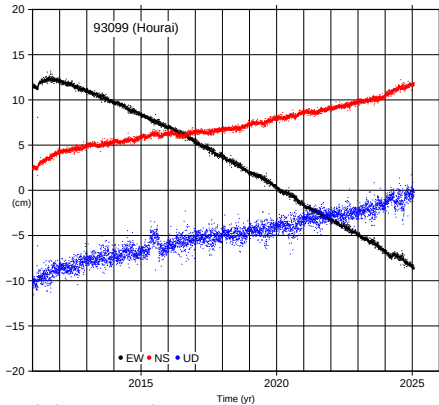
(3) 本川根 (93079)



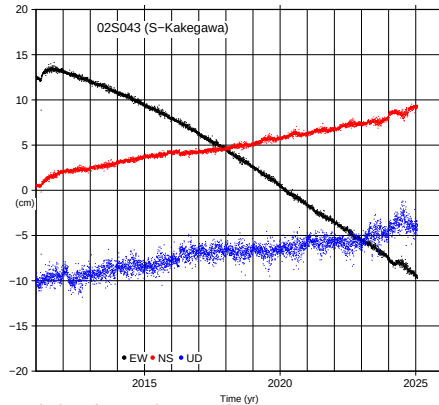
(4) 静岡清水市2 (950296)



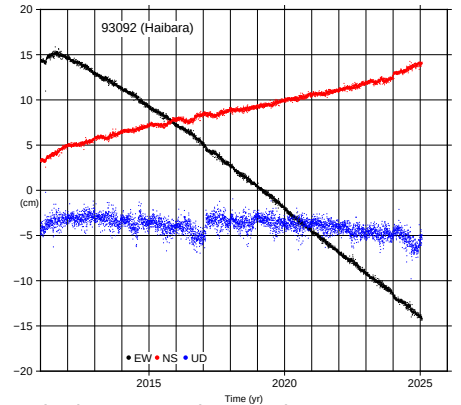
(5) 鳳来 (93099)



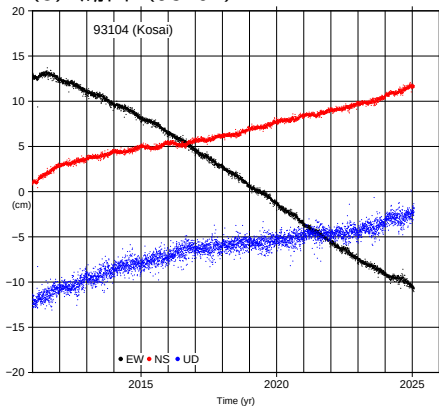
(6) S 掛川 (02S043)



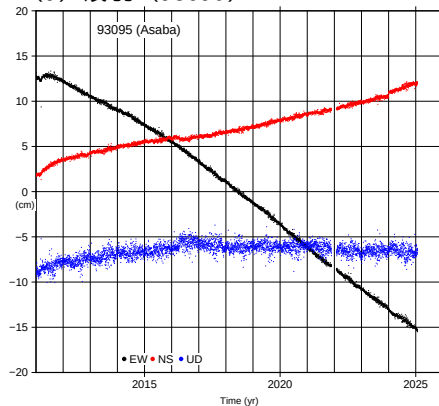
(7) 榛原 (93092)



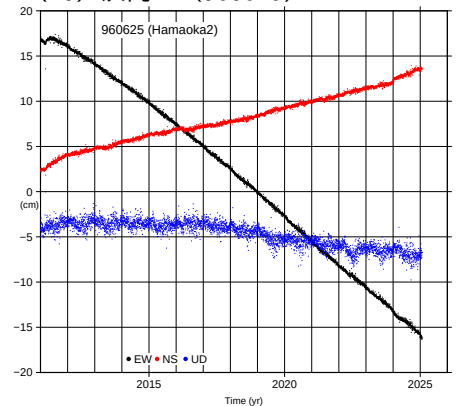
(8) 湖西 (93104)



(9) 浅羽 (93095)



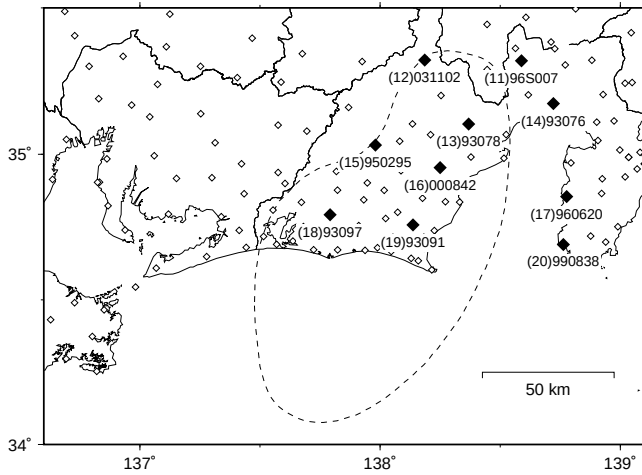
(10) 浜岡2 (960625)



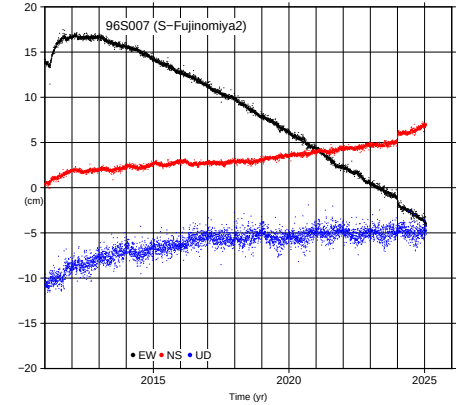
- ・ GEONET による日々の座標値 (F5 解、R5 解) を使用している。
- ・ 平成 23 年 (2011 年) 東北地方太平洋沖地震による地殻変動の影響は取り除いている。
- ・ 平成 28 年 (2016 年) 熊本地震による固定局三隅の地殻変動は補正している。

東海地方の地殻変動時系列 2 【固定局：三隅】

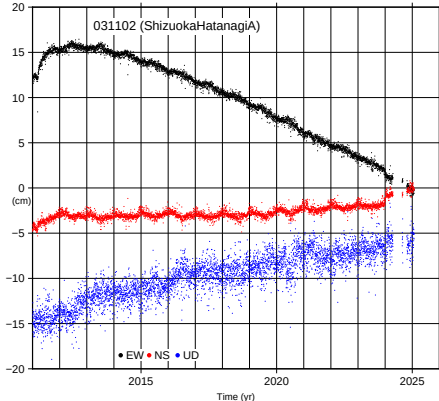
速報解含む 2011-01-01 ~ 2025-01-25



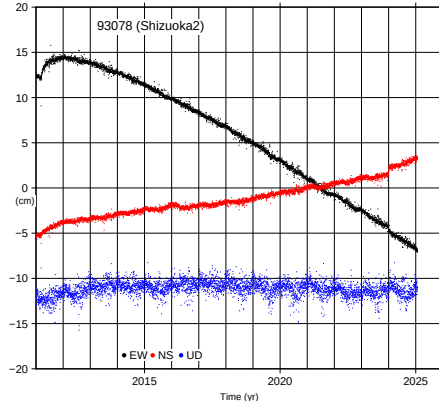
(11) S富士宮 2 (96S007)



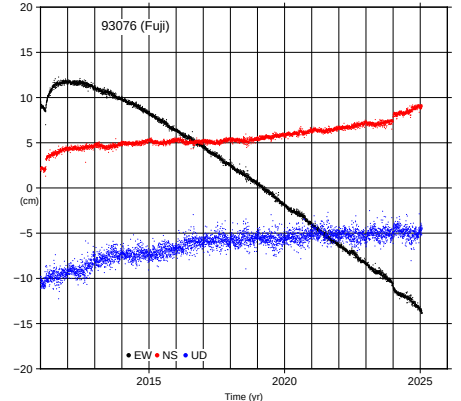
(12) 静岡畑薙 A (031102)



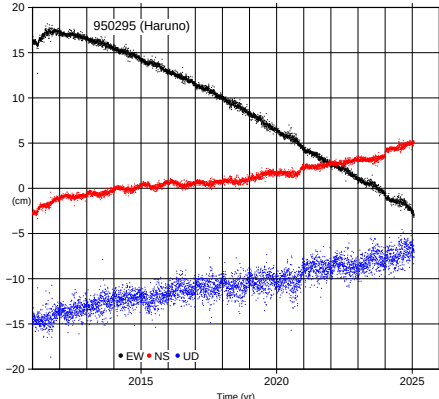
(13) 静岡 2 (93078)



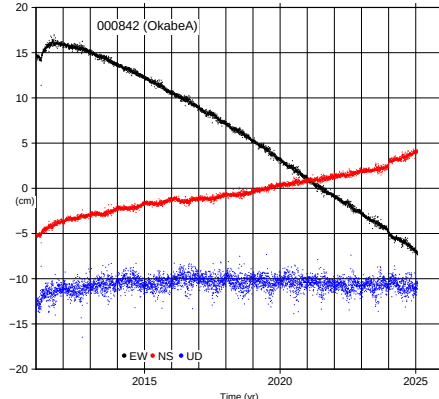
(14) 富士 (93076)



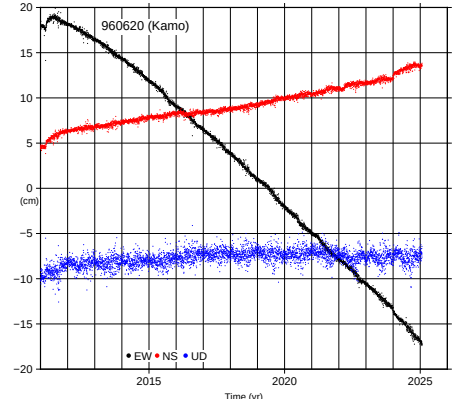
(15) 春野 (950295)



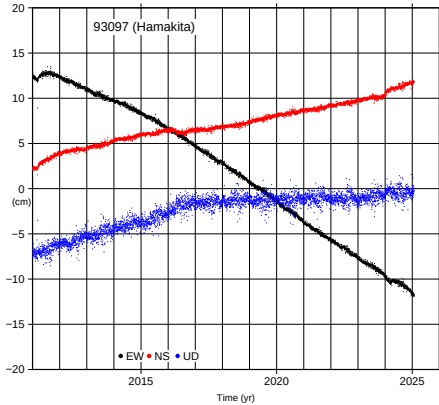
(16) 岡部 A (000842)



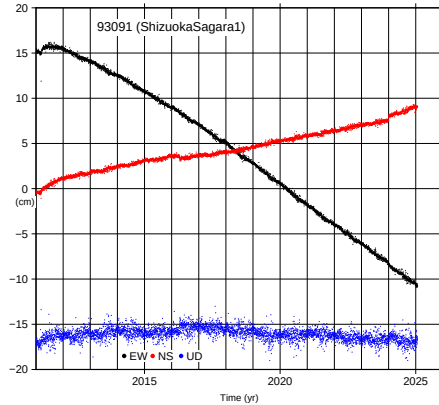
(17) 賀茂 (960620)



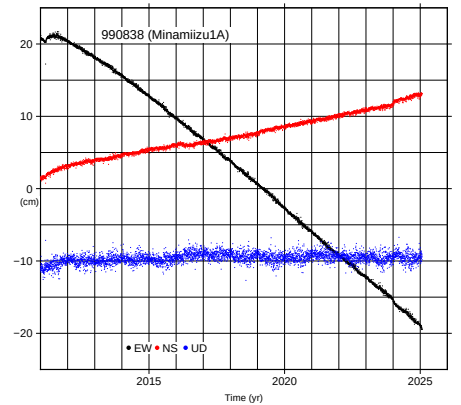
(18) 浜北 (93097)



(19) 静岡相良 1 (93091)



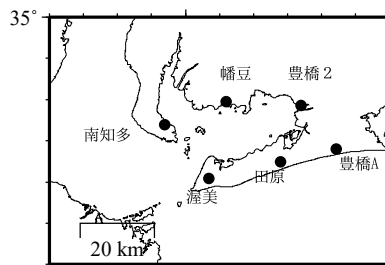
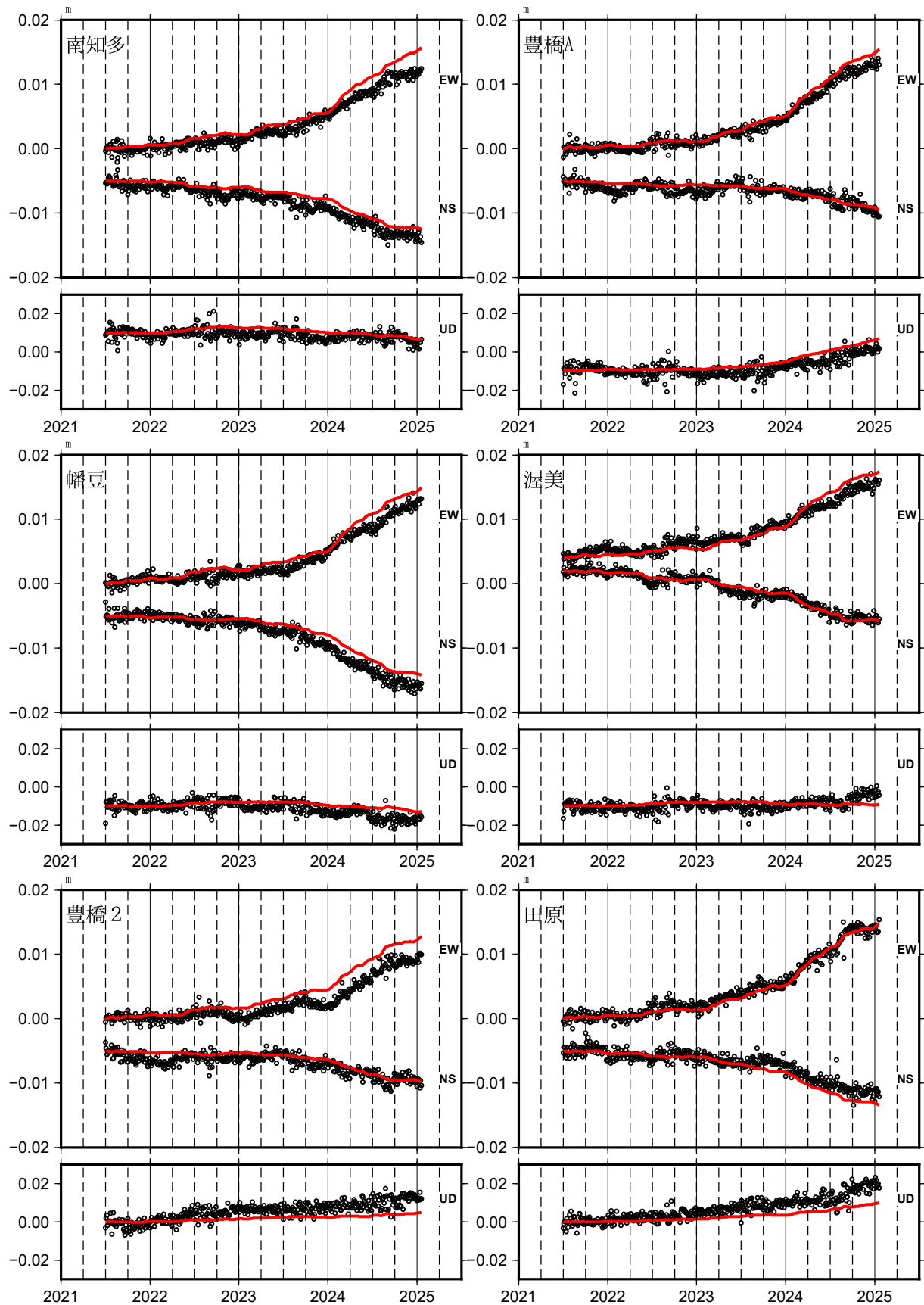
(20) 南伊豆 1 A (990838)



- ・ GEONET による日々の座標値 (F5 解、R5 解) を使用している。
- ・ 平成 23 年 (2011 年) 東北地方太平洋沖地震による地殻変動の影響は取り除いている。
- ・ 平成 28 年 (2016 年) 熊本地震による固定局三隅の地殻変動は補正している。

東海地域の観測点の座標時系列(黒丸)と計算値(赤線)

時間依存のインバージョン



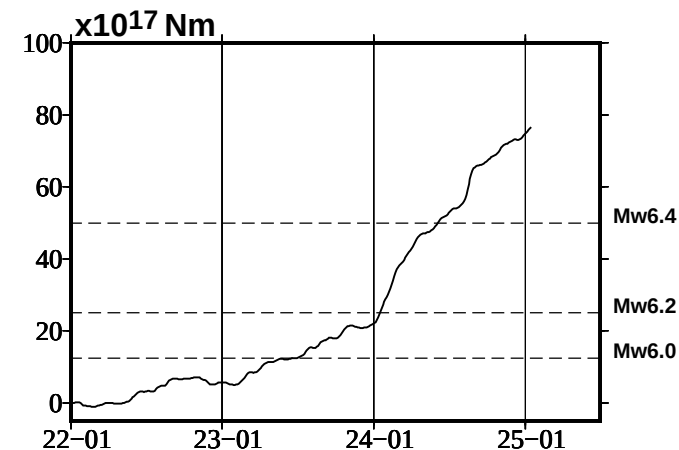
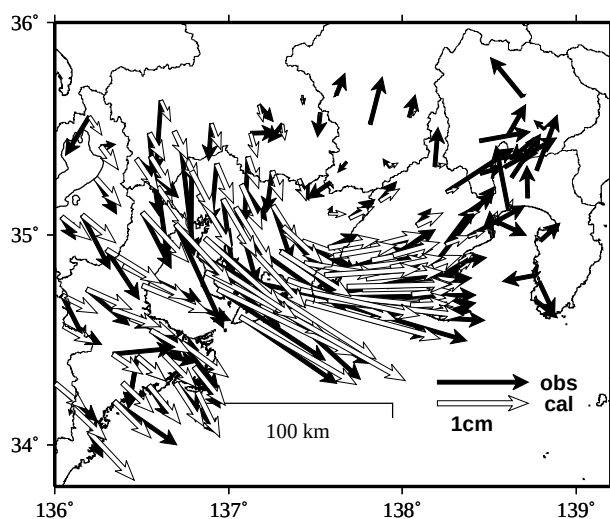
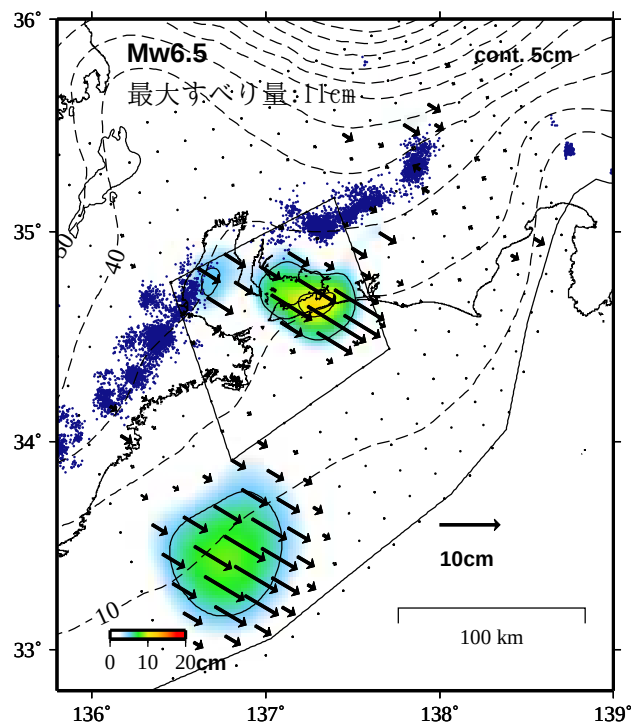
EW, NS, UD: 東西、南北、上下変動

GNSSデータから推定された東海地域の長期的ゆっくりすべり（暫定）

推定すべり分布
(2022-01-01/2025-01-15)

観測値（黒）と計算値（白）の比較
(2022-01-01/2025-01-15)

モーメント* 時系列（試算）



Mw及び最大すべり量はプレート面に沿って評価した値を記載。
すべり量（カラー）及びすべりベクトルは水平面に投影したものを示す。
推定したすべり量が標準偏差(σ)の3倍以上のグリッドを黒色で表示している。

使用データ: GEONETによる日々の座標値(F5解、R5解)

F5解(2021-07-01/2024-12-31)+R5解(2025-01-01/2025-01-15)

トレンド期間: 2020-01-01/2022-01-01 (年周・半年周成分は補正なし)

モーメント計算範囲: 左図の黒枠内側

観測値: 3日間の平均値をカルマンフィルターで平滑化した値

黒破線: フィリピン海プレート上面の等深線(Hirose et al., 2008)

すべり方向: プレートの沈み込み方向に拘束

青丸: 低周波地震(気象庁一元化震源) (期間: 2022-01-01/2025-01-15)

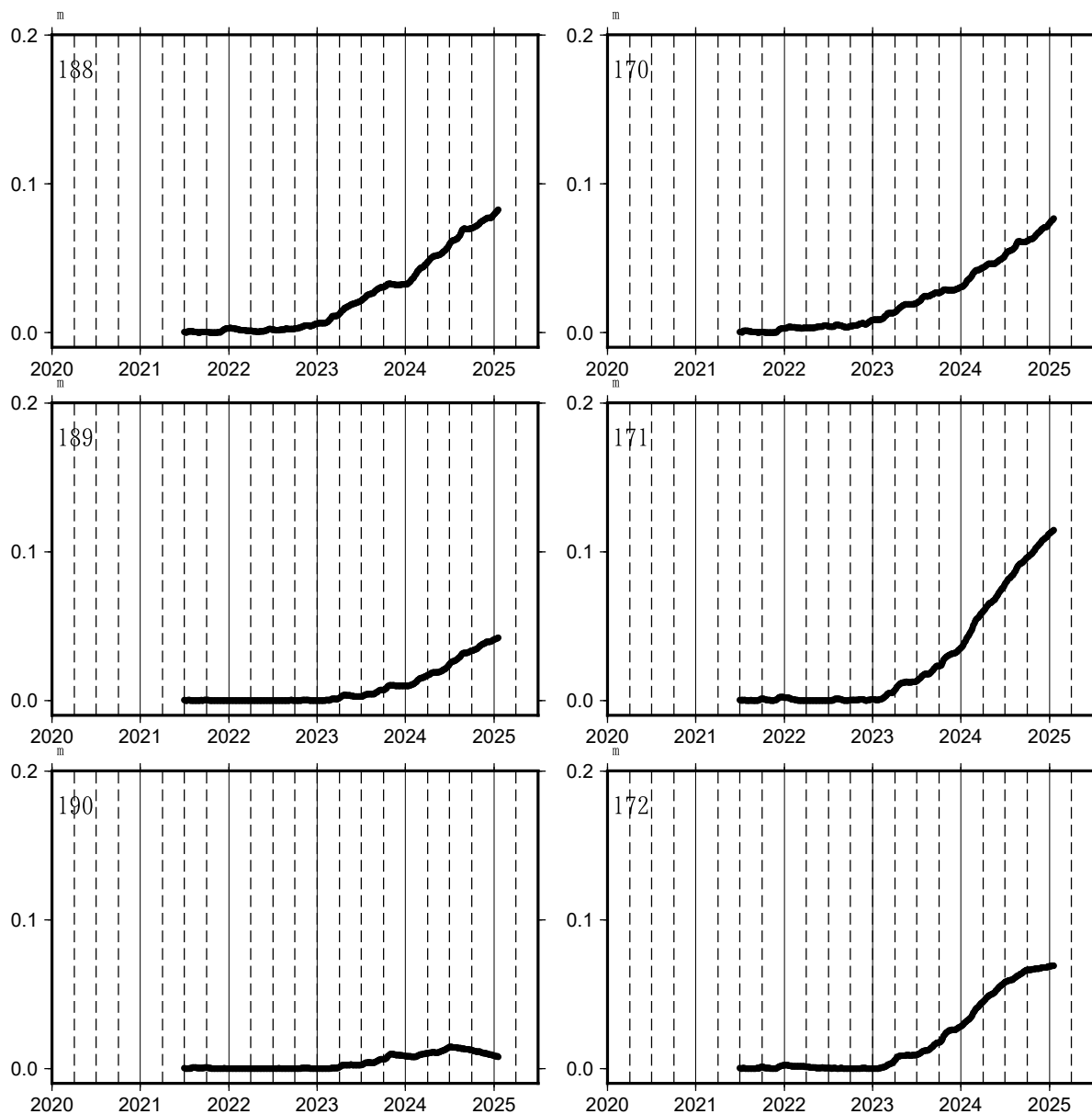
固定局: 三隅

- *電子基準点の保守等による変動は補正している。
- *平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震の粘弾性変形は補正している(Suito 2017)
- *気象庁カタログ(2017年以降)の短期的ゆっくりすべりを補正している。
- *共通誤差成分を推定している。
- *令和6年能登半島地震に伴う地殻変動は補正している。
- *モーメント: 断層運動のエネルギーの目安となる量。

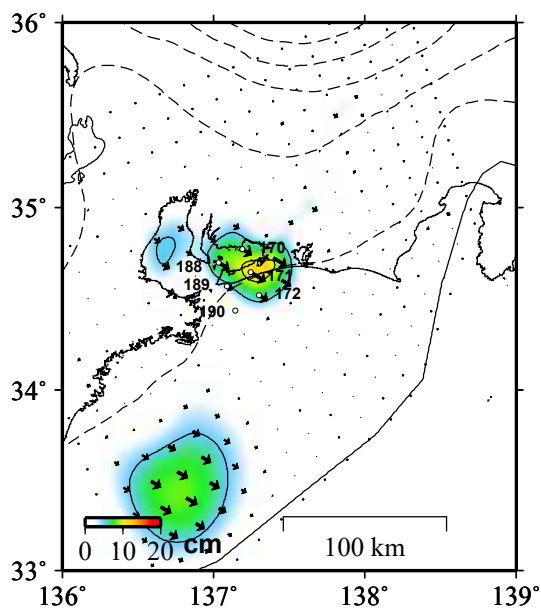
東海地域の長期的ゆっくりすべり

各グリッドにおけるすべりの時間変化

時間依存のインバージョン



* プレートの沈み方向と平行な方向の変化を示している。

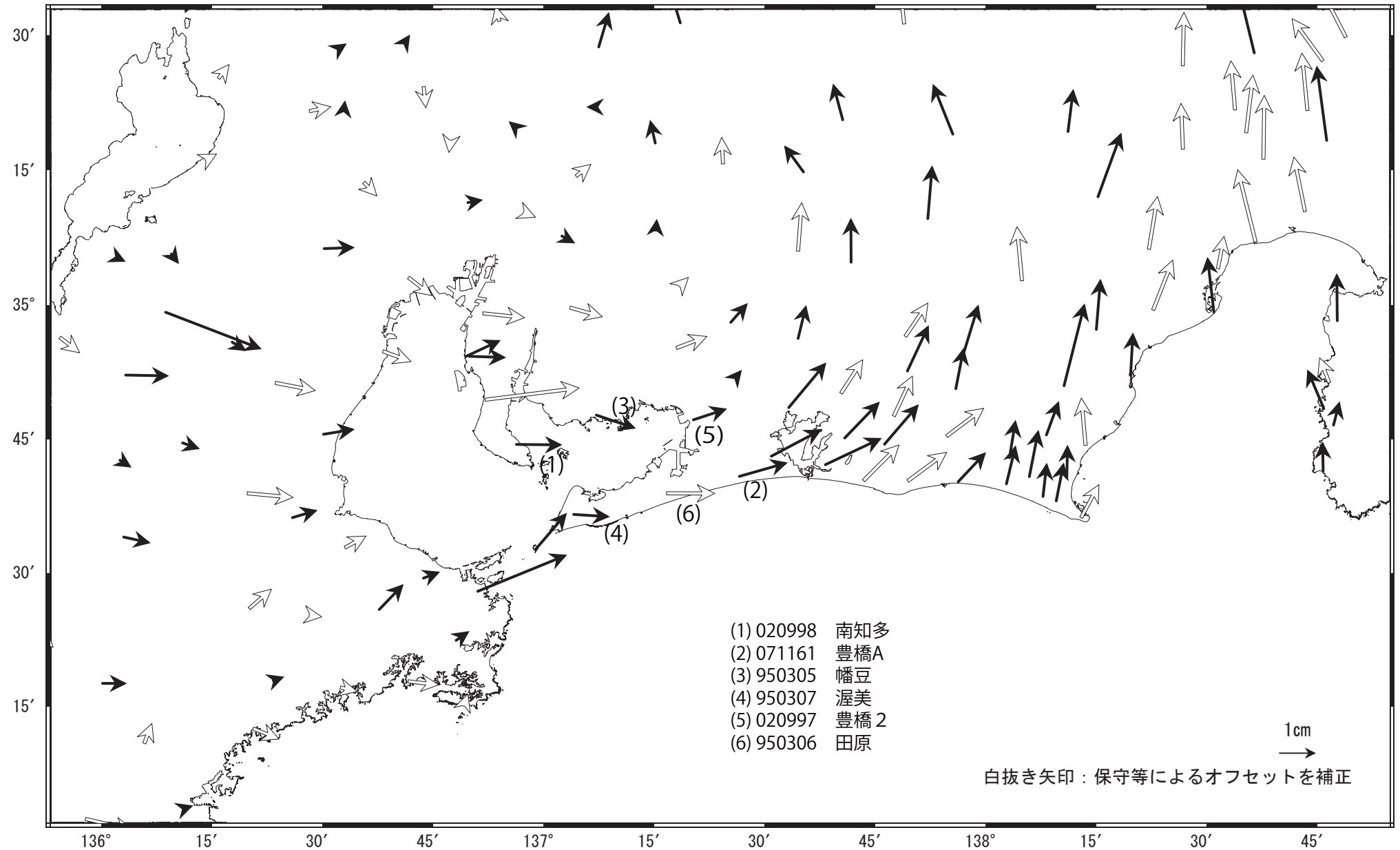


すべり量（カラー）及びすべりベクトルは水平面に投影したものを示す。
推定したすべり量が標準偏差 (σ) の3倍以上のグリッドを黒色表示している。

東海の非定常水平地殻変動(1次トレンド除去後)

基準期間: 2020-01-01/2020-01-08 [F5: 最終解]
比較期間: 2025-01-11/2025-01-18 [R5: 速報解]

計算期間: 2020-01-01/2022-01-01



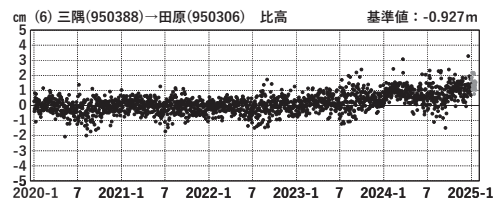
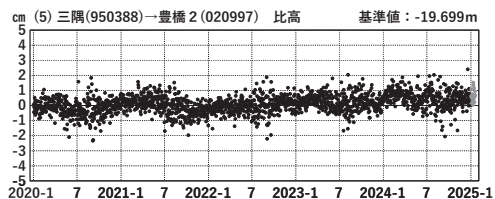
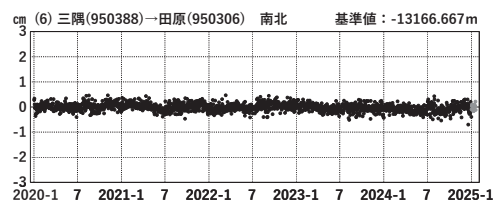
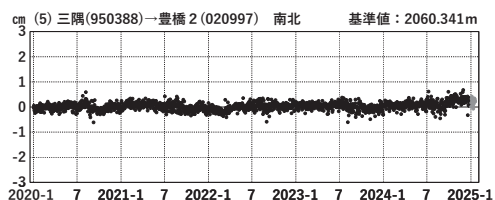
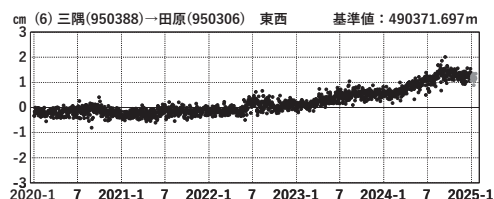
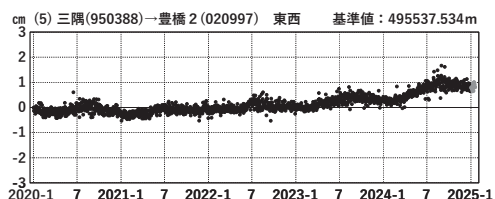
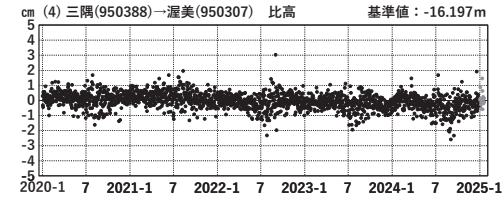
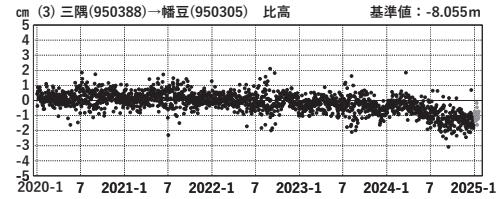
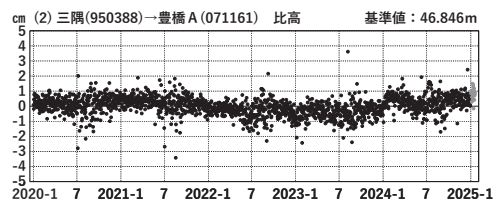
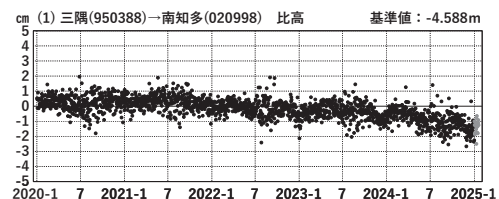
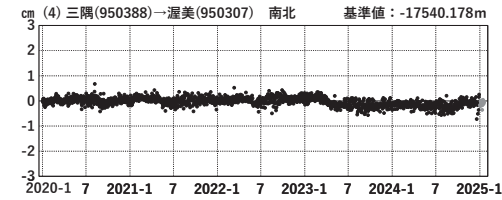
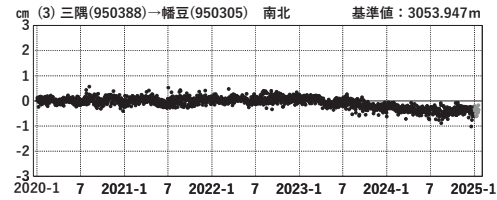
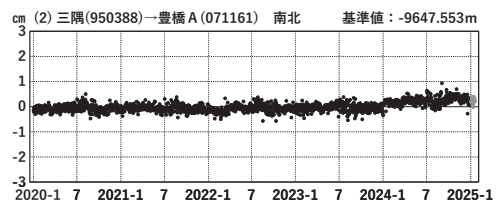
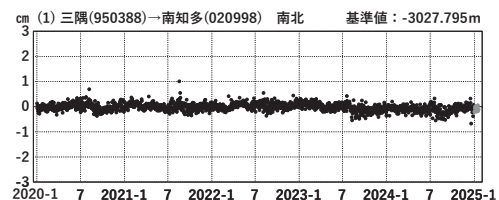
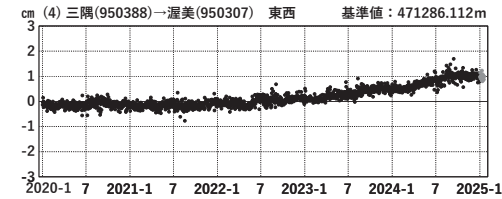
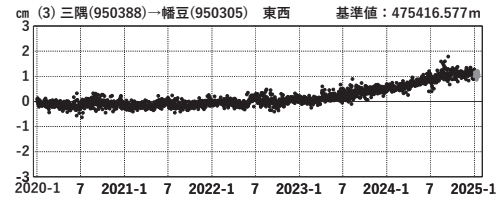
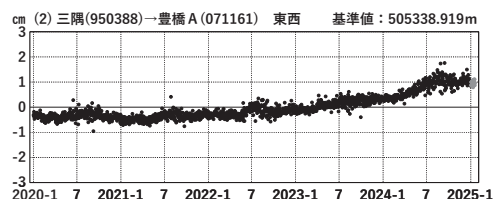
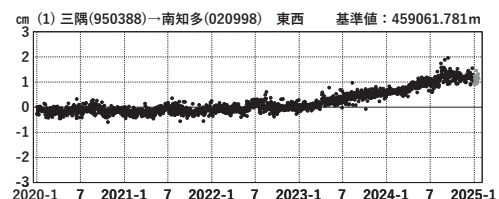
固定局: 三隅 (950388)

国土地理院

東海地域 GNSS連続観測時系列 1次トレンド除去後グラフ

期間: 2020-01-01/2025-01-18 JST

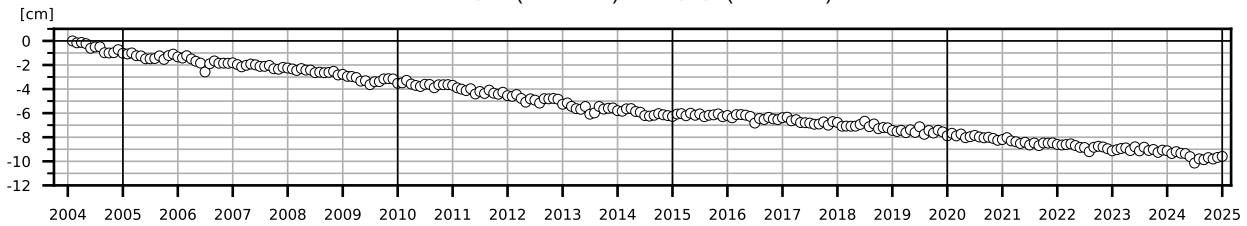
計算期間: 2020-01-01/2022-01-01



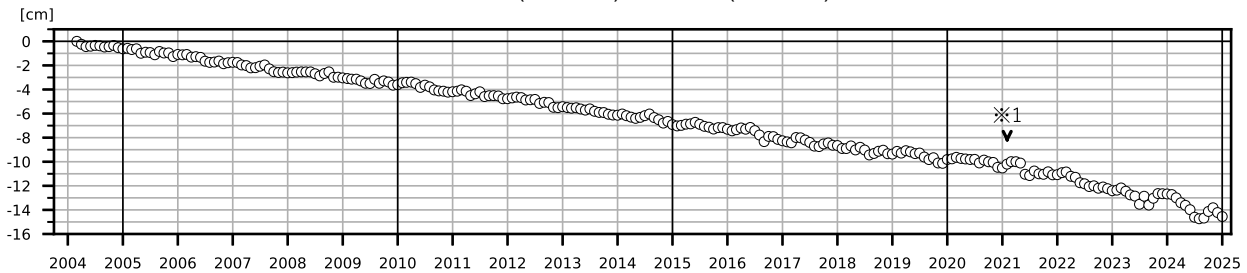
紀伊半島及び室戸岬周辺 電子基準点の上下変動

潮岬周辺及び室戸岬周辺の長期的な沈降傾向が続いている。

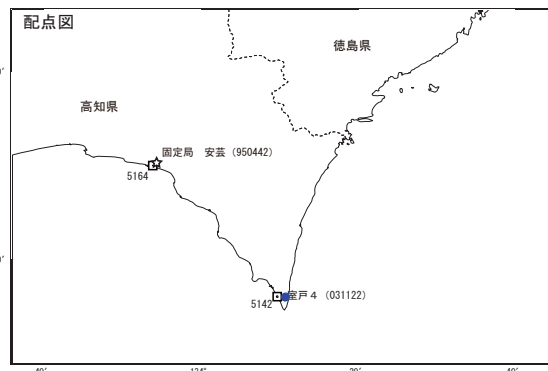
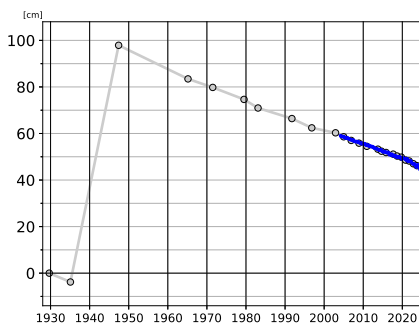
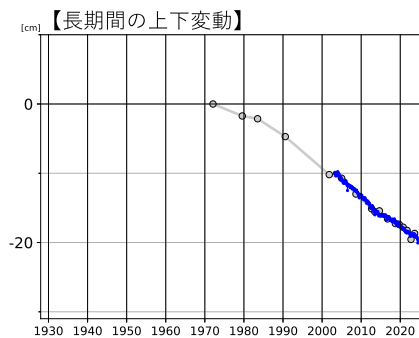
鵜殿 (950316) - P串本 (02P208)



安芸 (950442) - 室戸 4 (031122)



○：GNSS 連続観測（GEONET 月平均値）



- GNSS 連続観測のプロット点は、GEONET による日々の座標値（F5：最終解）から計算した値の月平均値である。（最新のプロット点：1月1日～1月11日の平均値）
- 灰色のプロットは電子基準点の最寄りの水準点の水準測量結果を示している（固定：J4810、5164）。

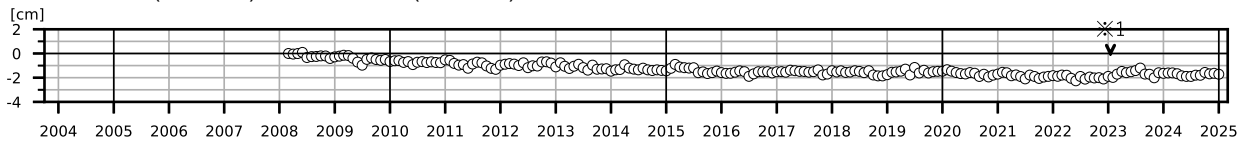
※ 1 2021 年 2 月 2 日に電子基準点「安芸」のアンテナ更新及びレドーム交換を実施した。
※ 2 2024 年 11 月 25 日に電子基準点「鵜殿」のアンテナ更新を実施した。

国土地理院

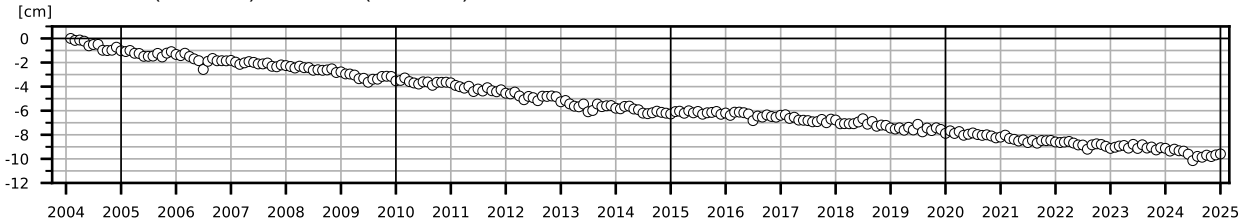
紀伊半島 電子基準点の上下変動（１）

潮岬周辺の長期的な沈降傾向に変化は見られない。

（１）鵜殿 (950316) - 那智勝浦 3 (071155)

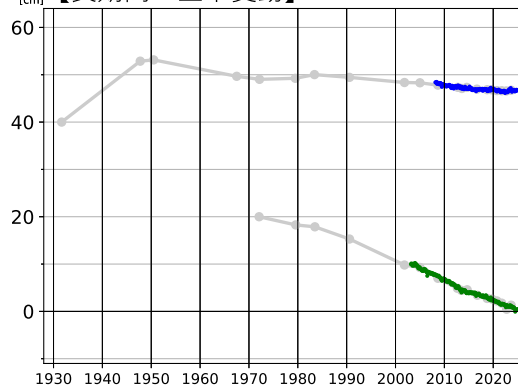


（２）鵜殿 (950316) - P 串本 (02P208)



○：GNSS 連続観測（GEONET 月平均値）

【長期間の上下変動】



「固定局：鵜殿（950316）」

- ・ GNSS 連続観測のプロット点は、GEONET による日々の座標値（F5：最終解）から計算した値の月平均値である。（最新のプロット点：1 月 1 日～1 月 11 日の平均値）
- ・ 各プロットの色は配色図の電子基準点の色と対応する。
- ・ 灰色のプロットは電子基準点の最寄りの水準点の水準測量結果を示している（固定：J4810）。

※ 1 2023 年 1 月 16 日に電子基準点「那智勝浦 3」のアンテナ更新及び受信機更新を実施した。

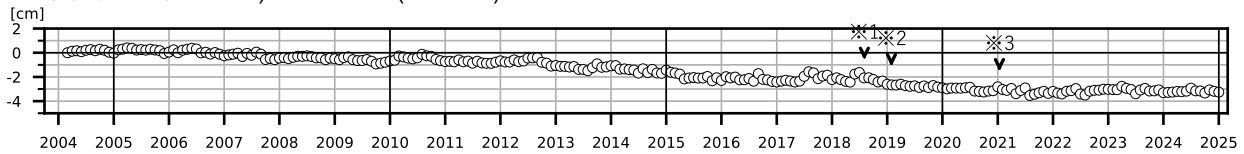
※ 2 2024 年 11 月 25 日に電子基準点「鵜殿」でアンテナ更新を実施した。

国土地理院

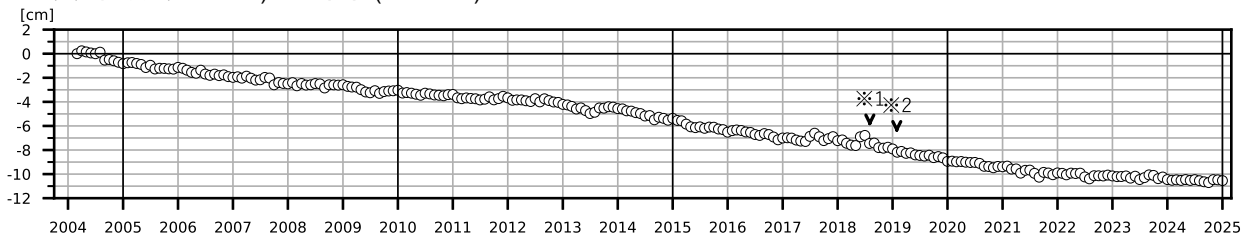
紀伊半島 電子基準点の上下変動（２）

潮岬周辺の長期的な沈降傾向に変化は見られない。

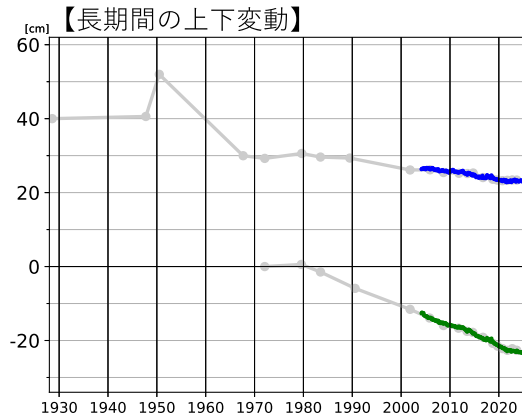
(1) 白浜 (031112) - すさみ2 (960653)



(2) 白浜 (031112) - P串本 (02P208)



○：GNSS 連続観測（GEONET 月平均値）



「固定局：白浜 (031112)」

- ・ GNSS 連続観測のプロット点は、GEONET による日々の座標値（F5：最終解）から計算した値の月平均値である。（最新のプロット点：1月1日～1月11日の平均値）
- ・ 各プロットの色は配色図の電子基準点の色と対応する。
- ・ 灰色のプロットは電子基準点の最寄りの水準点の水準測量結果を示している（固定：9190）。

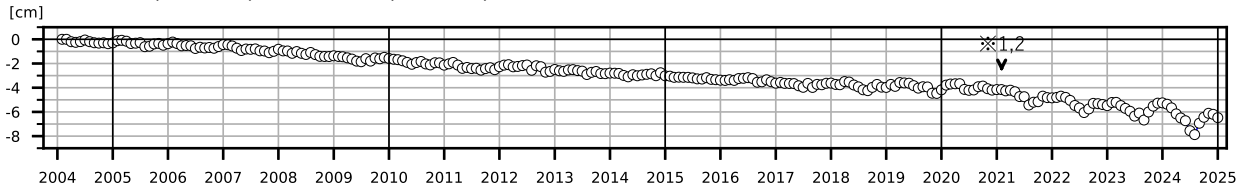
- ※ 1 2018 年 8 月 3 日に電子基準点「白浜」周辺の樹木を伐採した。
- ※ 2 2019 年 1 月 29 日に電子基準点「白浜」周辺の樹木を伐採した。
- ※ 3 2021 年 1 月 12 日に電子基準点「すさみ2」のアンテナ更新及びレドーム交換を実施した。
- ※ 4 1966 年 11 月に一等水準点「9190」を再設した。

国土地理院

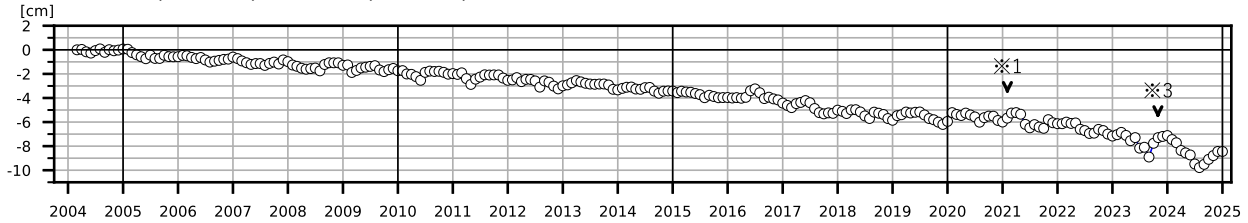
室戸岬周辺 電子基準点の上下変動（１）

室戸岬周辺の長期的な沈降傾向に変化は見られない。

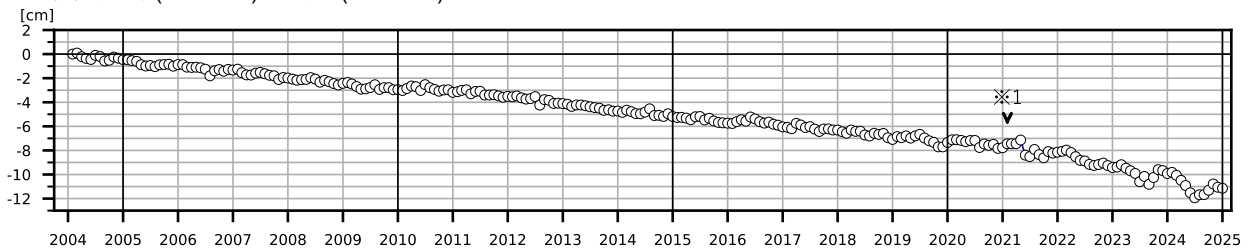
(1) 安芸 (950442) - 高知田野 (950444)



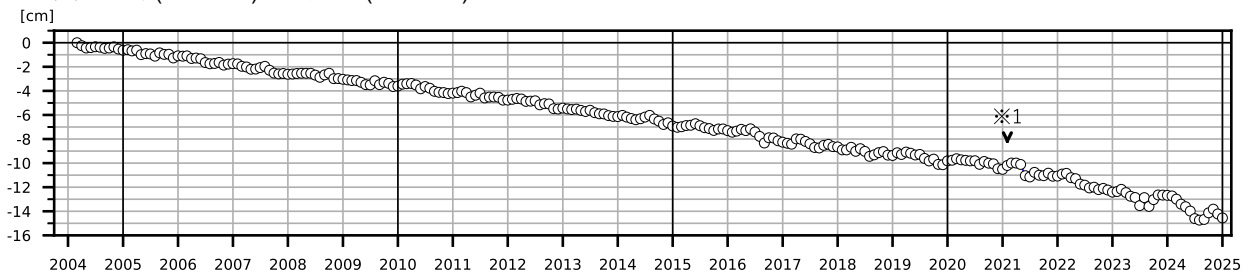
(2) 安芸 (950442) - 室戸 3 (031121)



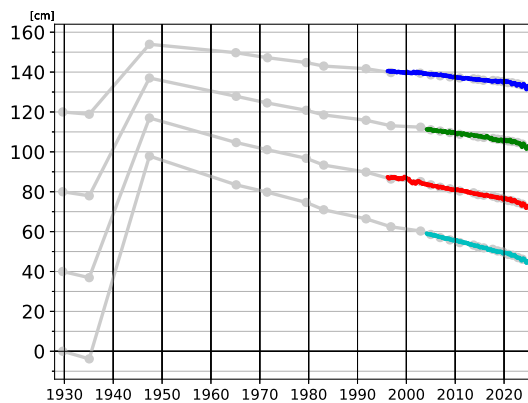
(3) 安芸 (950442) - 室戸 (940082)



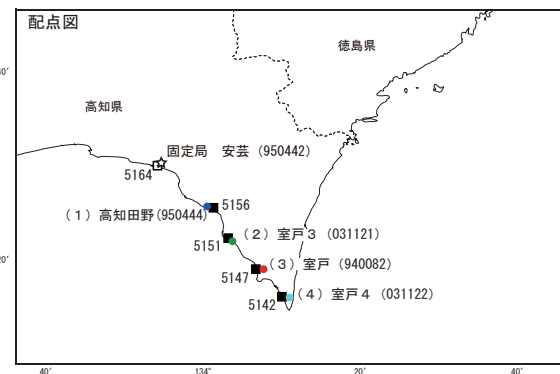
(4) 安芸 (950442) - 室戸 4 (031122)



○：GNSS 連続観測（GEONET 月平均値）



「固定局：安芸（950442）」



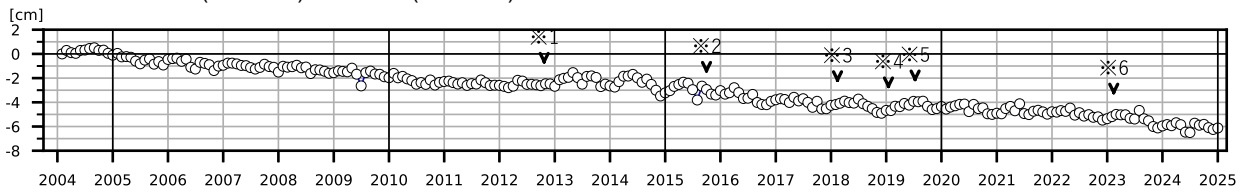
- ・ GNSS 連続観測のプロット点は、GEONET による日々の座標値（F5：最終解）から計算した値の月平均値である。（最新のプロット点：1 月 1 日～1 月 11 日の平均値）
- ・ 各プロットの色は配色図の電子基準点の色と対応する。
- ・ 灰色のプロットは電子基準点の最寄りの水準点の水準測量結果を示している（固定：5164）。

- ※ 1 2021 年 2 月 2 日に電子基準点「安芸」のアンテナ更新及びレドーム交換を実施した。
- ※ 2 2021 年 2 月 5 日に電子基準点「高知田野」のアンテナ更新及びレドーム交換を実施した。
- ※ 3 2023 年 10 月 30 日に電子基準点「室戸 3」のアンテナ更新及び受信機更新を実施した。

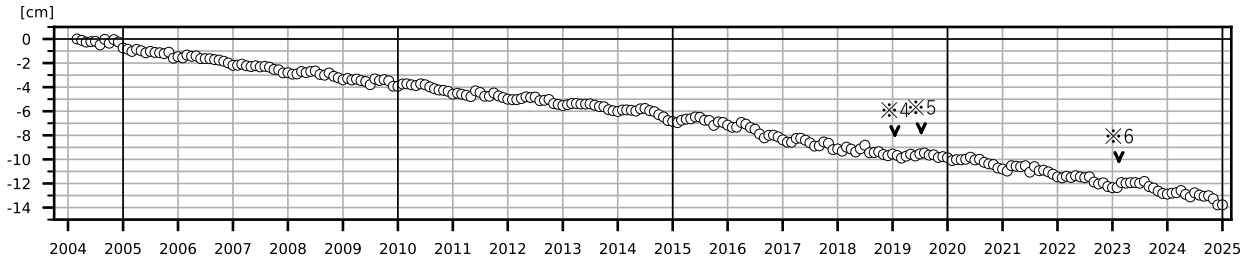
室戸岬周辺 電子基準点の上下変動（２）

室戸岬周辺の長期的な沈降傾向に変化は見られない。

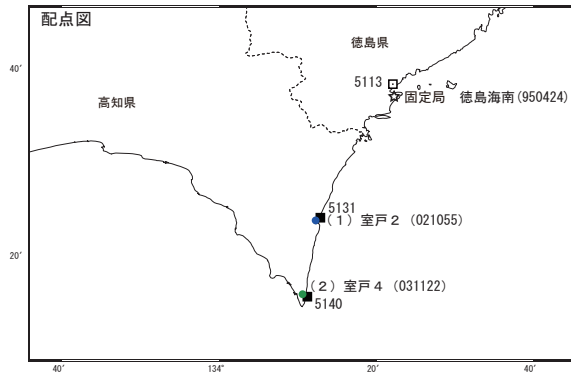
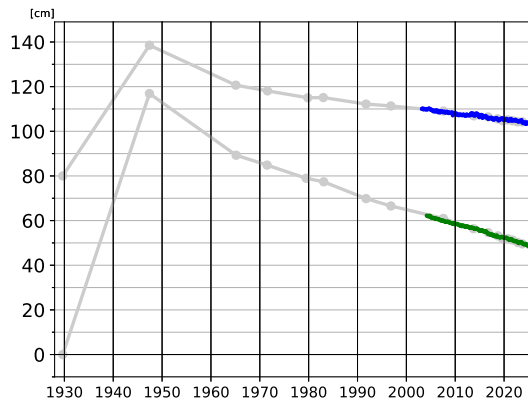
(1) 徳島海南 (950424) - 室戸 2 (021055)



(2) 徳島海南 (950424) - 室戸 4 (031122)



○：GNSS 連続観測（GEONET 月平均値）



「固定局：徳島海南（950424）」

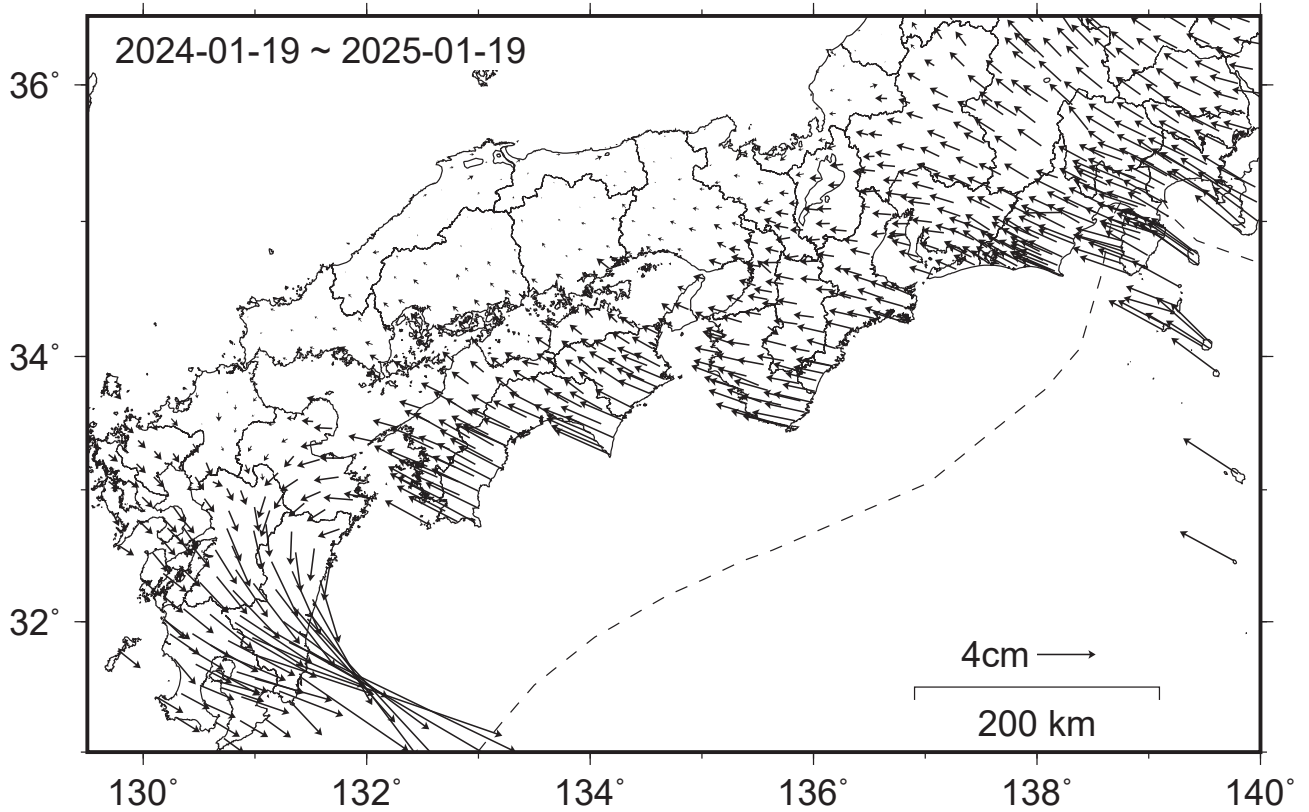
- ・ GNSS 連続観測のプロット点は、GEONET による日々の座標値（F5：最終解）から計算した値の月平均値である。（最新のプロット点：1 月 1 日～1 月 11 日の平均値）
- ・ 各プロットの色は配色図の電子基準点の色と対応する。
- ・ 灰色のプロットは電子基準点の最寄りの水準点の水準測量結果を示している（固定：5113）。

- ※ 1 2012 年 10 月 23 日に電子基準点「室戸 2」のアンテナ更新及び受信機更新を実施した。
- ※ 2 2015 年 10 月 1 日に電子基準点「室戸 2」の受信機交換を実施した。
- ※ 3 2018 年 2 月 13 日に電子基準点「室戸 2」のアンテナ及び受信機交換を実施した。
- ※ 4 2019 年 1 月 16 日に電子基準点「徳島海南」の受信機更新を実施した。
- ※ 5 2019 年 7 月 11 日に電子基準点「徳島海南」のアンテナ交換を実施した。
- ※ 6 2023 年 2 月 13 日に電子基準点「徳島海南」のアンテナ更新を実施した。

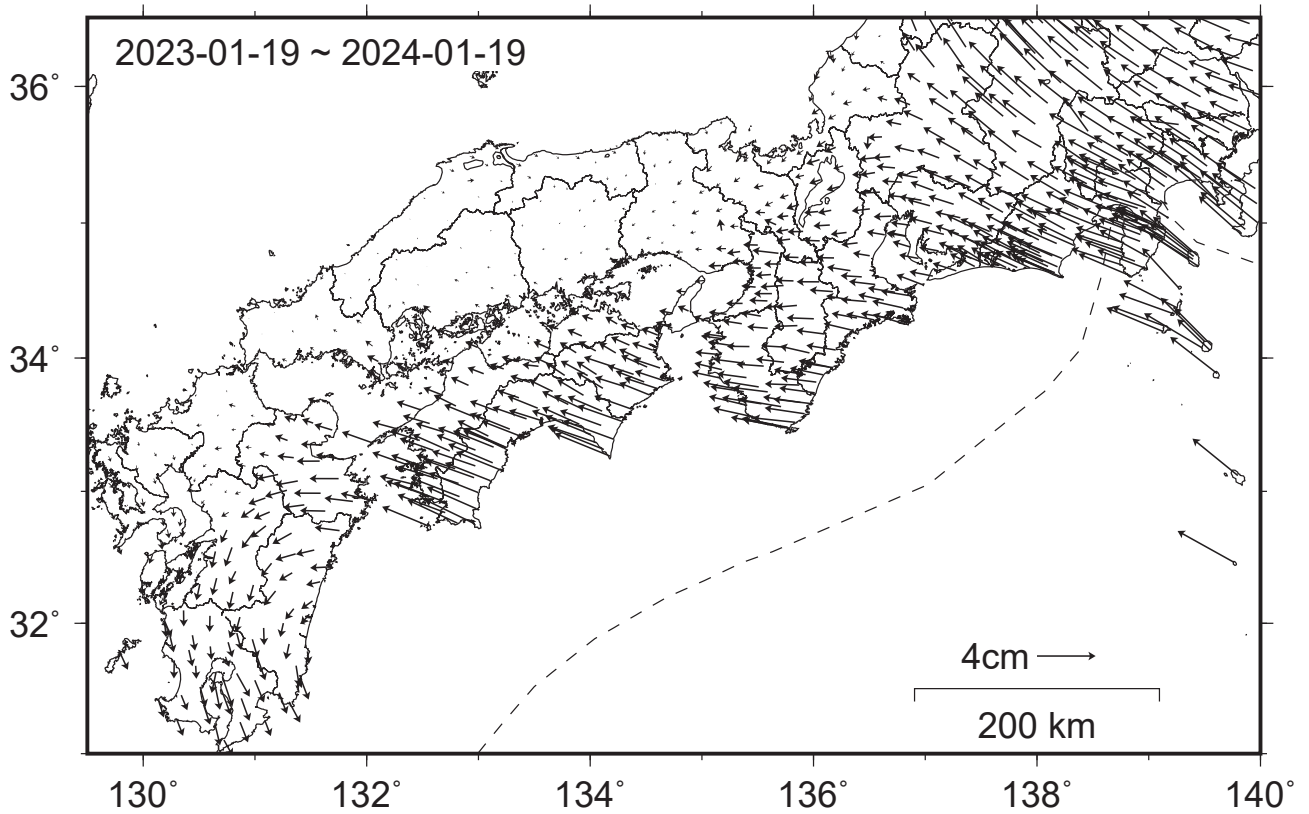
国土地理院

南海トラフ沿いの水平地殻変動【固定局：三隅】

【最近 1 年間】



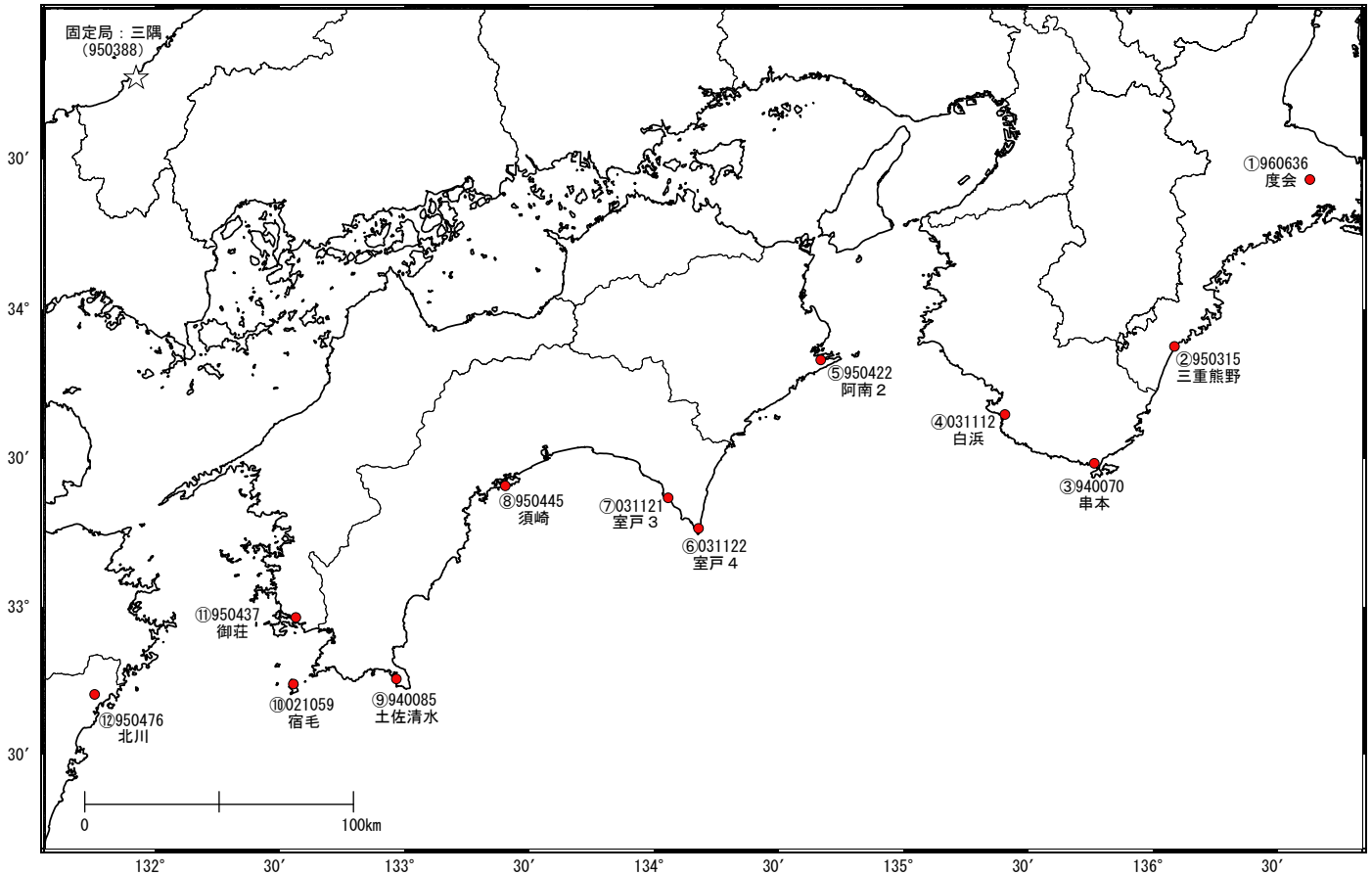
【1 年前の 1 年間】



・各日付 ± 6 日の計 13 日間の変動量の中央値をとり、その差から 1 年間の変動量を表示している。

南海トラフ周辺 G N S S 連続観測時系列（１）

配点図



各観測局情報

点番号	点 名	日付	保守内容
960636	度会	2010-02-09	受信機更新・レドーム開閉
		2012-11-07	アンテナ更新
		2014-08-12	アンテナ交換・受信機交換
		2017-11-27	受信機更新
		2022-08-02	受信機交換
		2024-10-02	レドーム開閉
		2024-11-23	受信機更新
950315	三重熊野	2011-01-14	受信機更新・レドーム開閉
		2012-10-31	アンテナ更新
		2021-01-17	受信機更新
		2023-01-17	アンテナ更新
		2024-10-04	レドーム開閉
		2012-11-14	アンテナ更新・受信機更新
		2017-01-22	アンテナ交換
940070	串本	2021-01-09	アンテナ更新・レドーム交換
		2021-12-01	受信機更新
		2022-07-04	アンテナ交換・受信機交換
		2024-10-06	レドーム開閉
		2010-01-22	受信機更新
		2012-11-13	アンテナ更新
		2018-01-10	受信機更新
031112	白浜	2018-08-03	周辺伐採
		2019-01-29	周辺伐採
		2024-10-07	レドーム開閉
		2012-12-04	アンテナ更新・受信機更新
		2015-11-17	アンテナ交換
		2018-04-02	アンテナ交換・受信機交換
		2019-12-04	受信機更新
950422	阿南2	2020-12-23	周辺伐採
		2021-01-09	周辺伐採
		2021-01-10	アンテナ更新・レドーム交換
		2021-02-06	周辺伐採
		2024-10-25	レドーム開閉
		2012-11-16	アンテナ更新・受信機更新
		2015-11-19	アンテナ交換

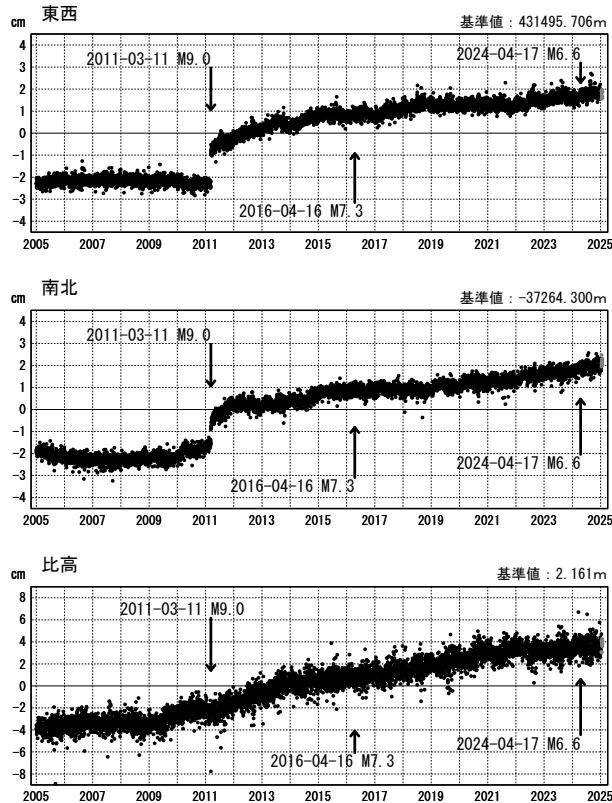
点番号	点 名	日付	保守内容
031122	室戸4	2010-01-26	受信機更新
		2012-10-22	アンテナ更新
		2017-05-23	受信機交換
		2018-01-30	受信機更新
		2024-10-24	レドーム開閉
		2024-12-12	受信機更新
		2010-01-25	受信機更新
031121	室戸3	2012-10-22	アンテナ更新
		2017-01-18	受信機更新
		2023-10-30	アンテナ更新・受信機更新
		2012-10-11	アンテナ更新・受信機更新
		2017-06-23	アンテナ交換
		2019-11-28	受信機更新
		2024-12-13	受信機更新
950445	須崎	2012-11-15	アンテナ更新・受信機更新
		2019-11-26	受信機更新
		2024-10-20	レドーム開閉
		2012-11-16	アンテナ更新・受信機更新
		2015-11-19	アンテナ交換
		2021-12-11	受信機更新
		2008-01-28	周辺伐採
940085	土佐清水	2011-10-06	周辺伐採
		2012-12-05	アンテナ更新・受信機更新
		2015-10-05	周辺伐採
		2016-07-19	アンテナ交換
		2021-12-10	受信機更新
		2022-07-14	受信機交換
		2023-02-08	アンテナ更新
021059	宿毛	2024-10-19	レドーム開閉
		2012-11-22	アンテナ更新・受信機更新
		2014-12-18	アンテナ交換
		2019-11-28	受信機更新
		2024-10-18	レドーム開閉
		2012-10-29	アンテナ更新・受信機更新
		2014-10-01	周辺伐採
950476	北川	2019-11-13	受信機更新
		2024-10-02	レドーム開閉
		2012-10-29	アンテナ更新・受信機更新
		2014-10-01	周辺伐採
		2019-11-13	受信機更新
		2024-10-02	レドーム開閉
		2012-10-29	アンテナ更新・受信機更新
950388	三隅	2014-10-01	周辺伐採
		2019-11-13	受信機更新
		2024-10-02	レドーム開閉
		2012-10-29	アンテナ更新・受信機更新
		2014-10-01	周辺伐採
		2019-11-13	受信機更新
		2024-10-02	レドーム開閉

南海トラフ周辺 GNS S 連続観測時系列 (2)

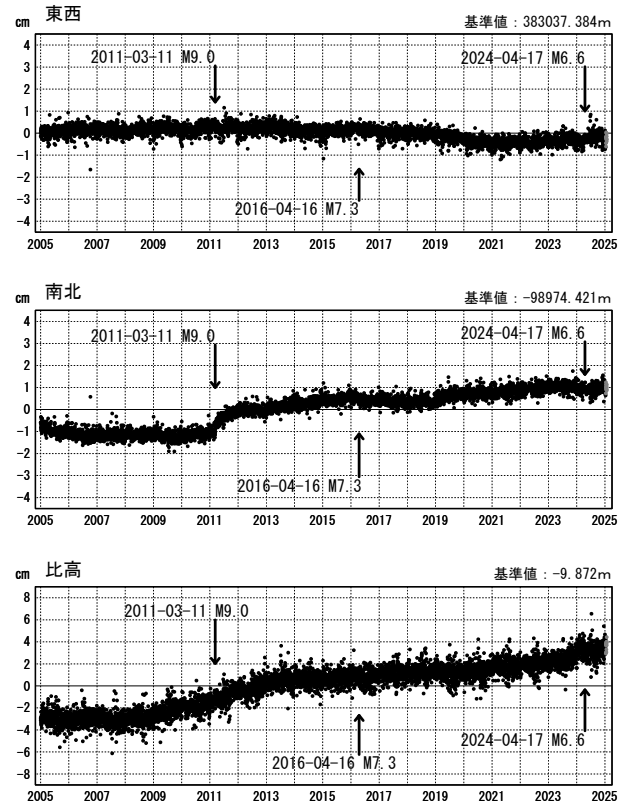
成分変化グラフ (1次トレンド・年周成分・半年周成分除去後)

期間: 2005-01-01~2025-01-25 JST 計算期間: 2006-01-01~2009-01-01

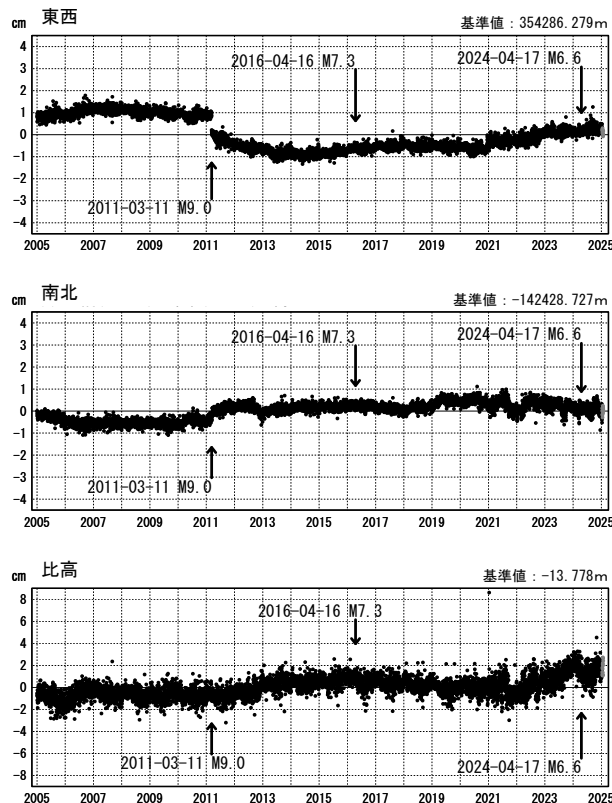
(1) 三隅(950388)→度会(960636)



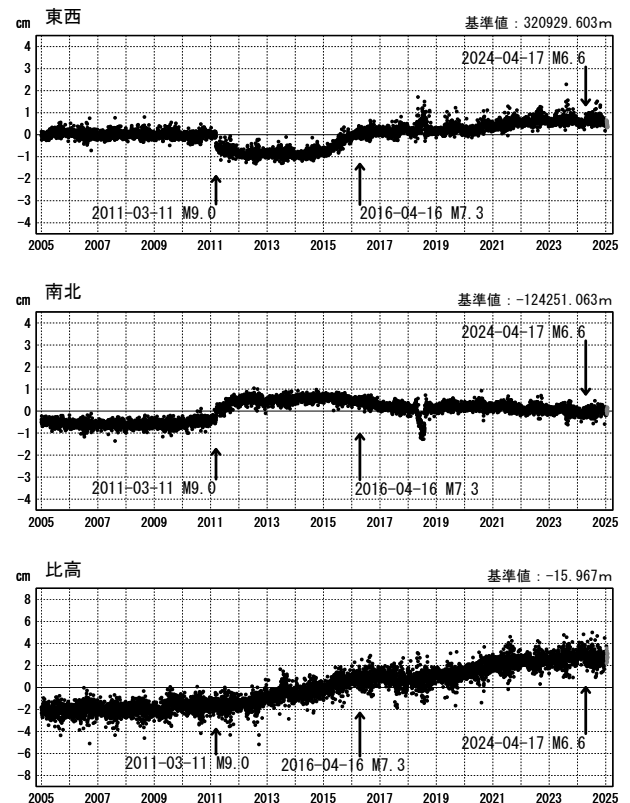
(2) 三隅(950388)→三重熊野(950315)



(3) 三隅(950388)→串本(940070)



(4) 三隅(950388)→白浜(031112)



●—[F5:最終解] ●—[R5:速報解]

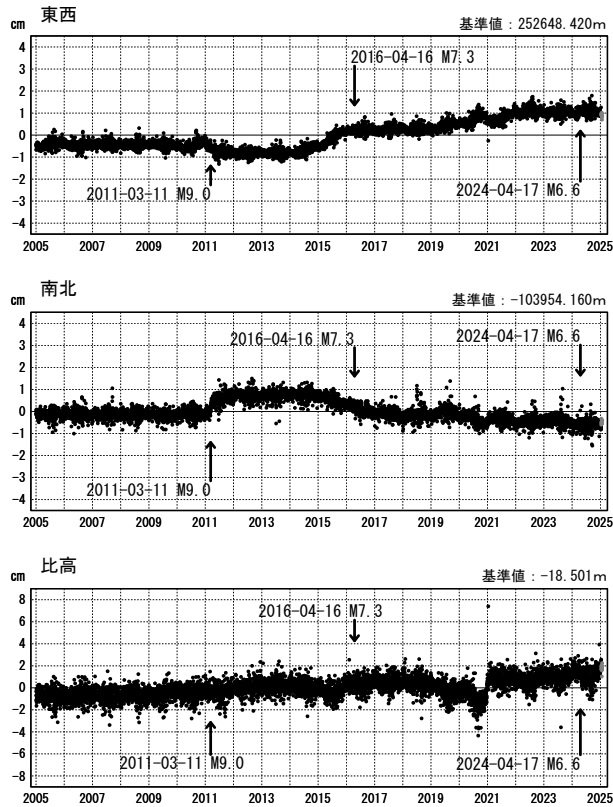
※三隅には2016年4月の熊本地震に伴う地殻変動の補正を行った。

南海トラフ周辺 GNSS 連続観測時系列 (3)

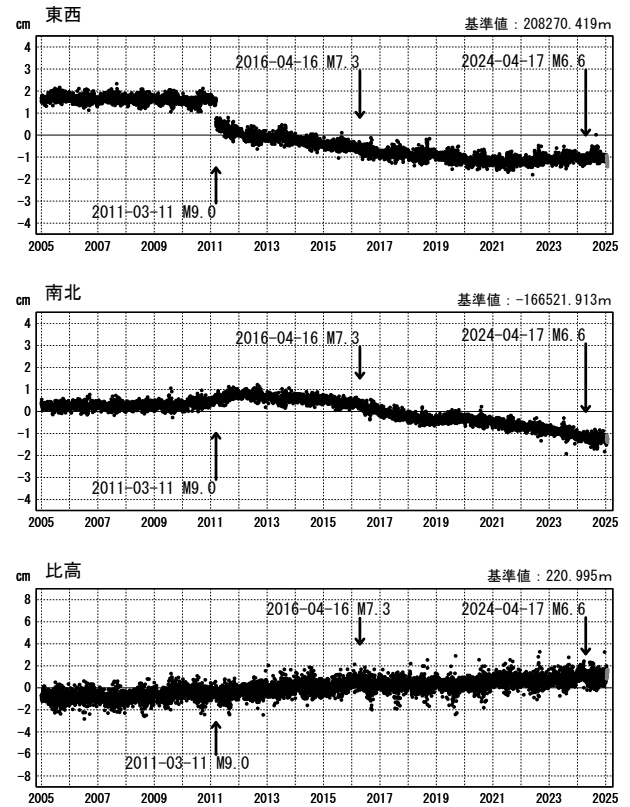
成分変化グラフ (1次トレンド・年周成分・半年周成分除去後)

期間: 2005-01-01~2025-01-25 JST 計算期間: 2006-01-01~2009-01-01

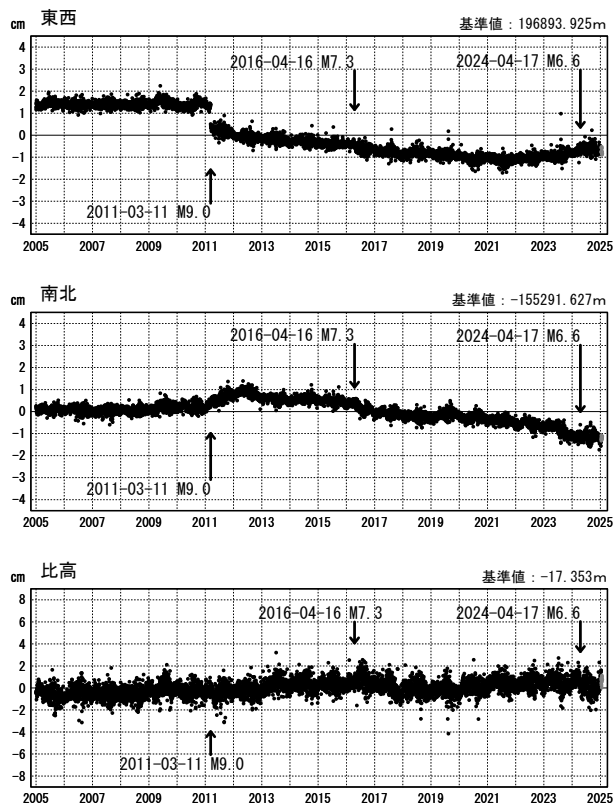
(5) 三隅(950388)→阿南2(950422)



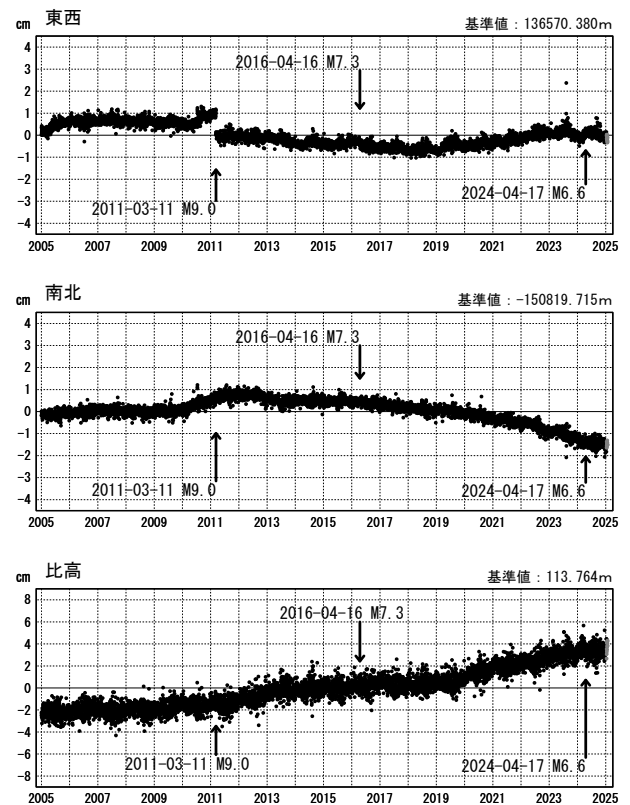
(6) 三隅(950388)→室戸4(031122)



(7) 三隅(950388)→室戸3(031121)



(8) 三隅(950388)→須崎(950445)



●—[F5:最終解] ●—[R5:速報解]

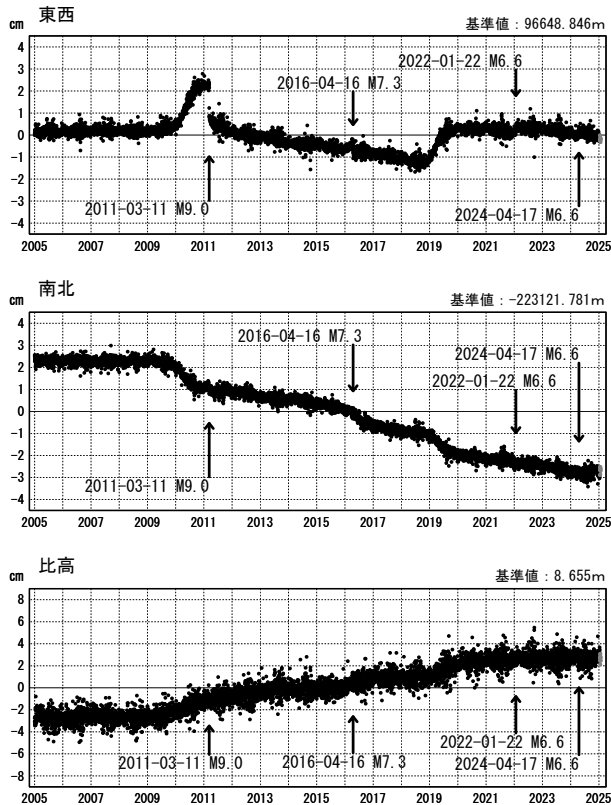
※三隅には2016年4月の熊本地震に伴う地殻変動の補正を行った。

南海トラフ周辺 GNS S 連続観測時系列 (4)

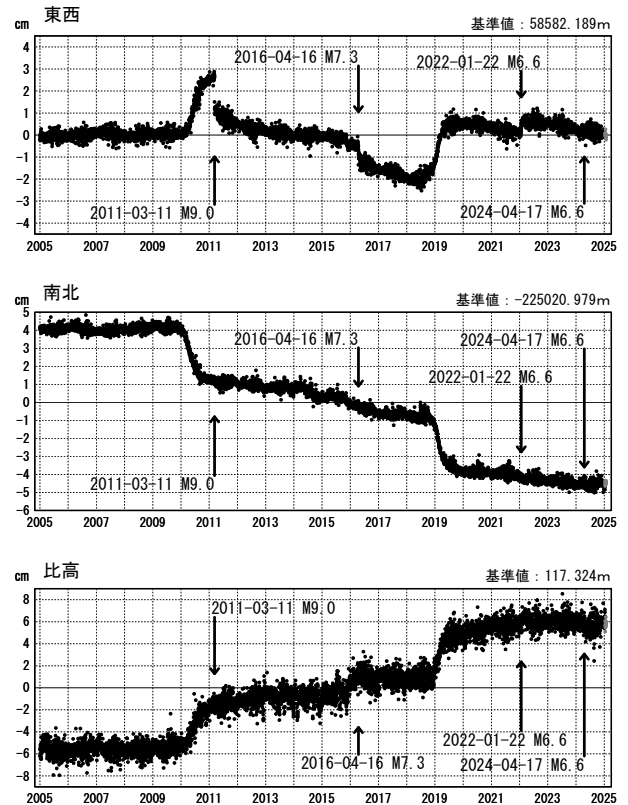
成分変化グラフ (1次トレンド・年周成分・半年周成分除去後)

期間: 2005-01-01~2025-01-25 JST 計算期間: 2006-01-01~2009-01-01

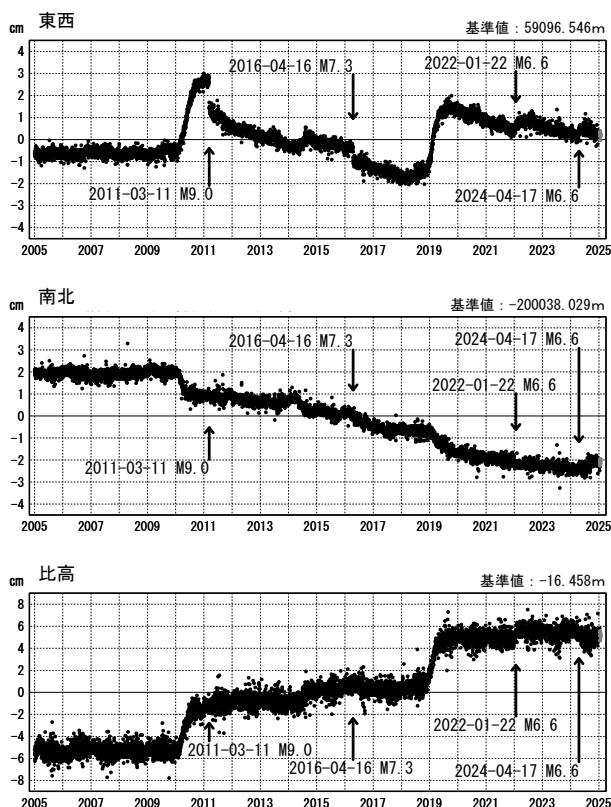
(9) 三隅(950388)→土佐清水(940085)



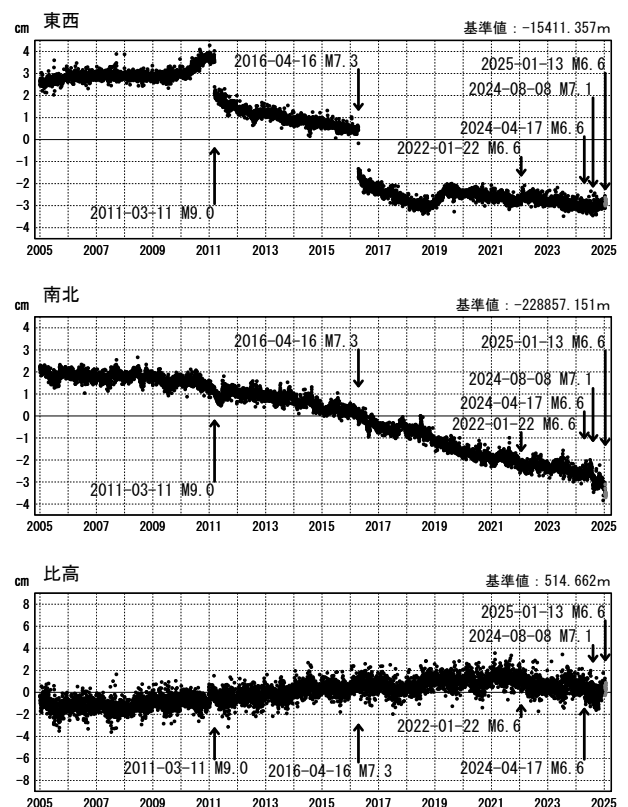
(10) 三隅(950388)→宿毛(021059)



(11) 三隅(950388)→御荘(950437)



(12) 三隅(950388)→北川(950476)

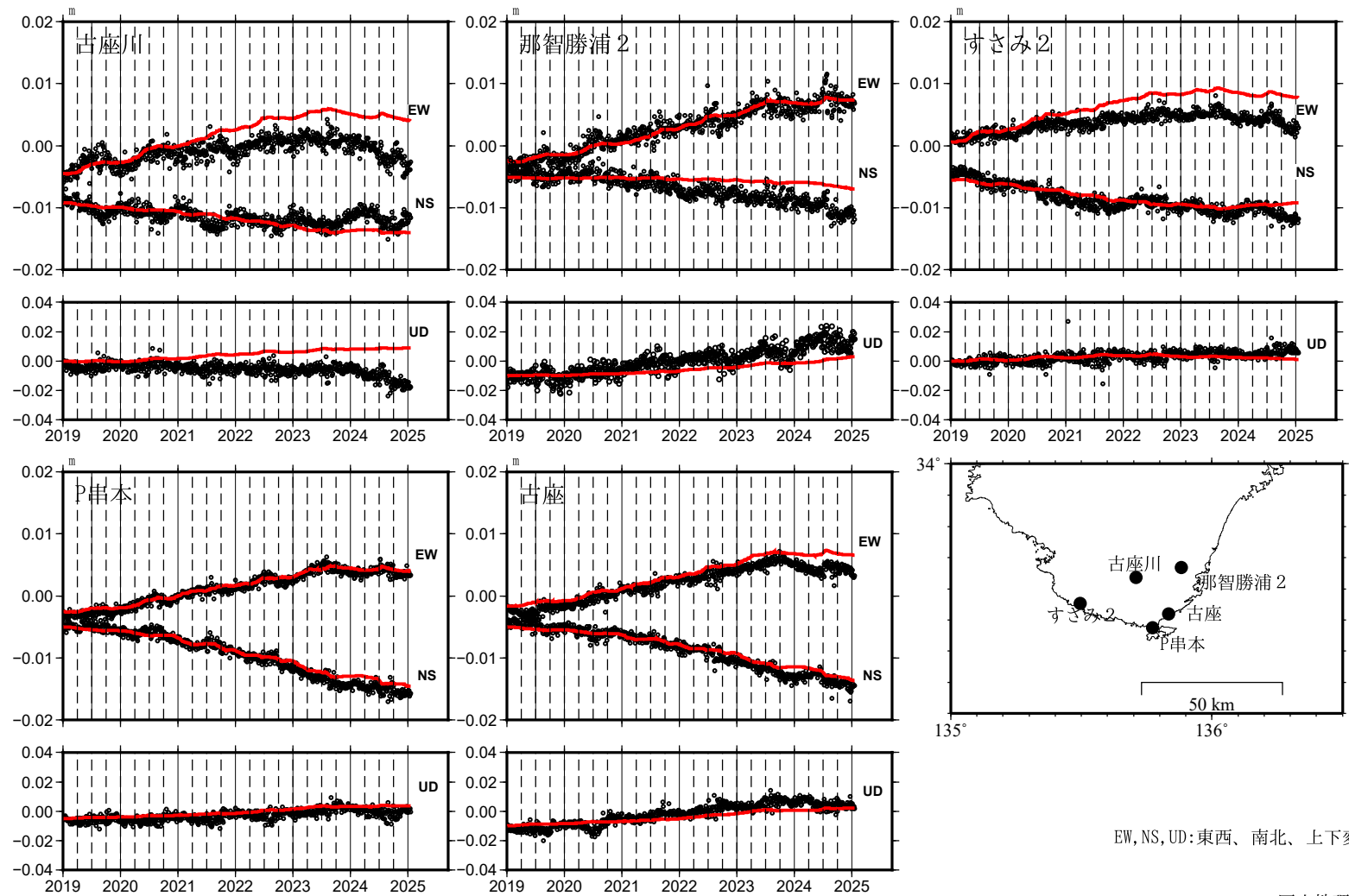


●---[F5:最終解] ●---[R5:速報解]

※三隅には2016年4月の熊本地震に伴う地殻変動の補正を行った。

紀伊半島南部の観測点の座標時系列(黒丸)と計算値(赤線)

時間依存のインバージョン

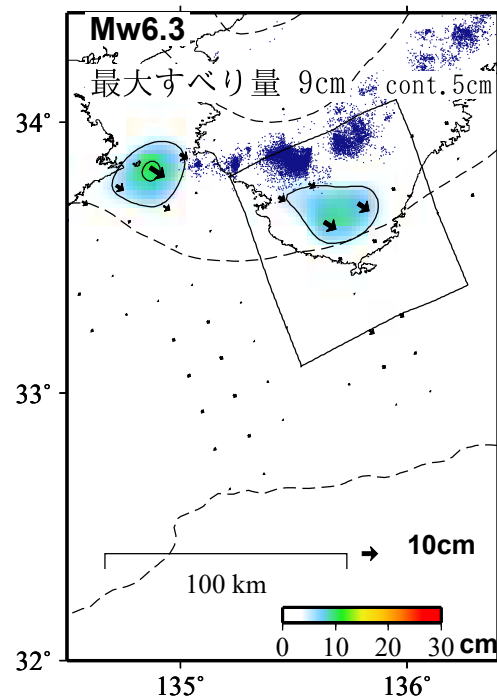


EW, NS, UD: 東西、南北、上下変動

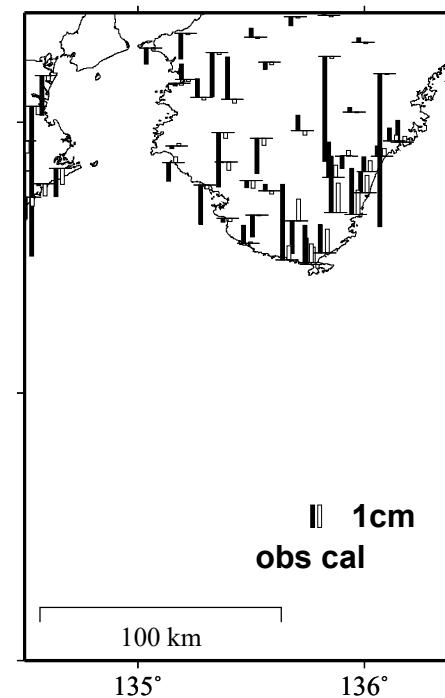
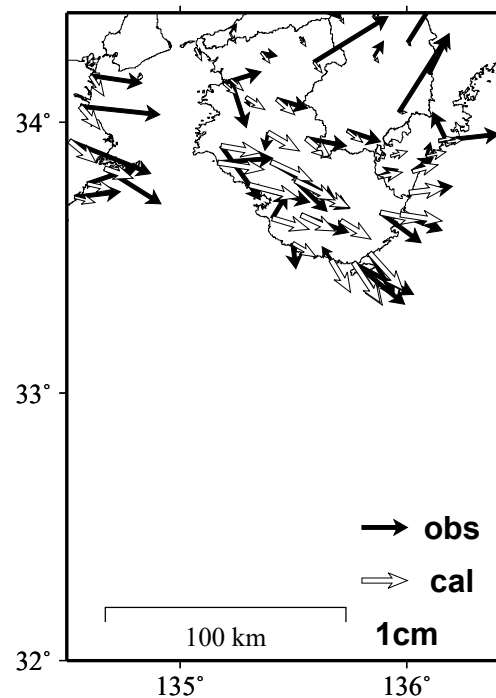
国土地理院

GNSSデータから推定された紀伊半島南部の長期的ゆっくりすべり（暫定）

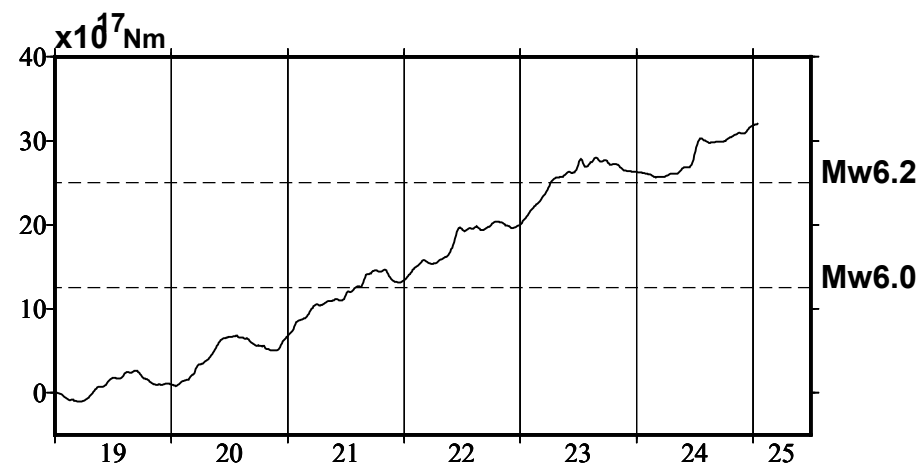
推定すべり分布
(2020-01-01/2025-01-17)



観測値（黒）と計算値（白）の比較
(2020-01-01/2025-01-17)



モーメント * 時系列



Mw及び最大すべり量はプレート面に沿って評価した値を記載。
すべり量（カラー）及びすべりベクトルは水平面に投影したものを示す。
推定したすべり量が標準偏差(σ)の3倍以上のグリッドを黒色で表示している。

使用データ:GEONETによる日々の座標値(F5解、R5解)

F5解(2019-01-01/2025-01-04)+R5解(2025-01-05/2025-01-17)

トレンド期間(四国東部・紀伊半島):2017-01-01/2019-01-01(年周・半年周成分は補正なし)

モーメント計算範囲:左図の黒枠内側

観測値:3日間の平均値をカルマンフィルターで平滑化した値

黒破線:フィリピン海プレート上面の等深線(Hirose et al.,2008)

すべり方向:プレートの沈み込み方向に拘束

青丸:低周波地震(気象庁一元化震源)(期間:2020-01-01/2025-01-17)

固定局:三隅

*電子基準点の保守等による変動は補正済み

*平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震の粘弾性変形は補正している(Suito 2017)

*気象庁カタログ(2017年以降)の短期的ゆっくりすべりを補正している。

*共通誤差成分を推定している。

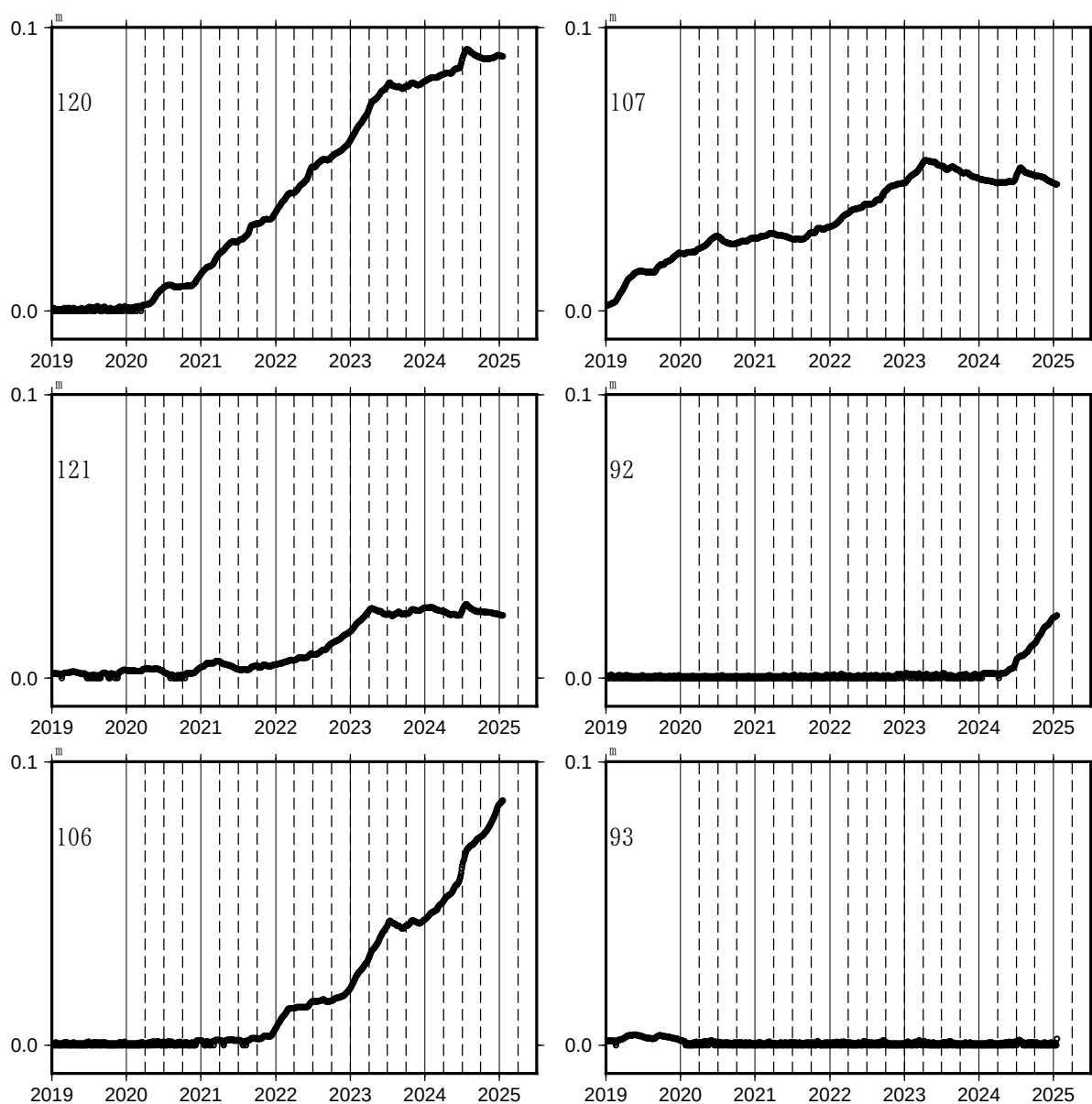
*モーメント:断層運動のエネルギーの目安となる量。

*令和6年能登半島地震に伴う地殻変動は補正している。

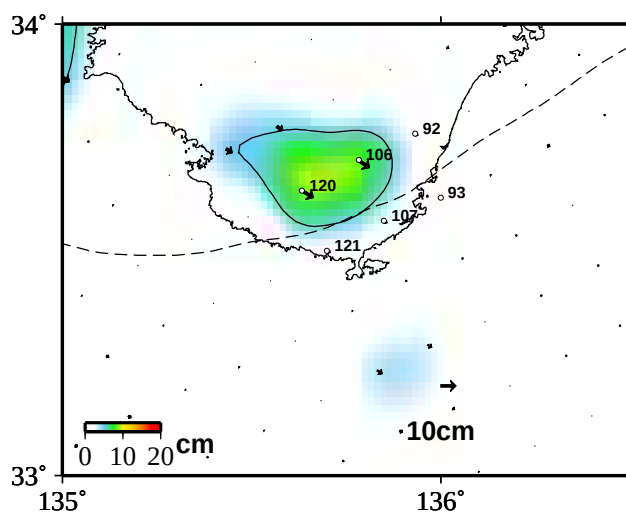
紀伊半島南部地域の長期的ゆっくりすべり

各グリッドにおけるすべりの時間変化

時間依存のインバージョン



* プレートの沈み方向と平行な方向の変化を示している。

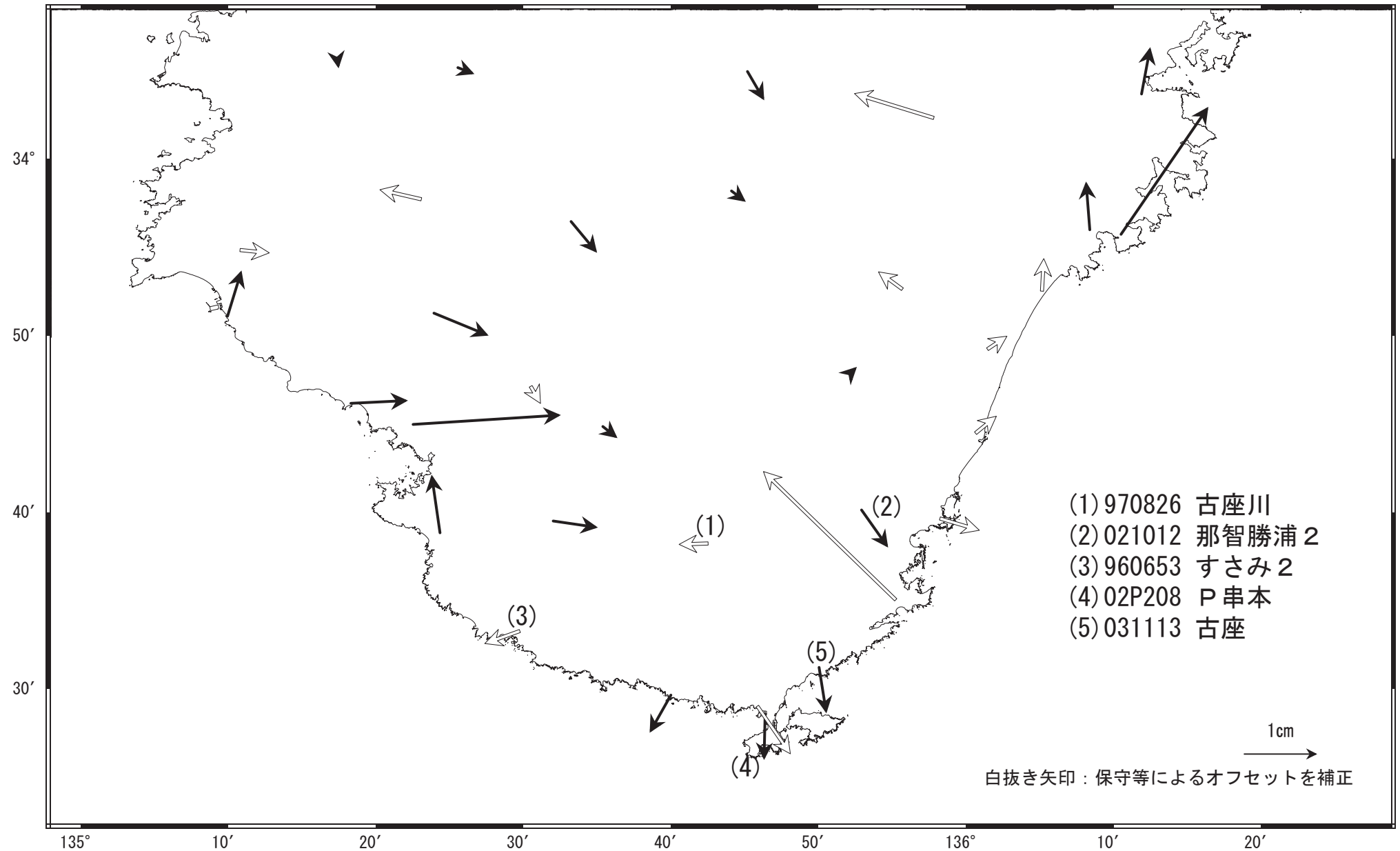


すべり量(カラー)及びすべりベクトルは水平面に投影したものを示す。
推定したすべり量が標準偏差(σ)の3倍以上のグリッドを黒色表示している。

紀伊半島南部の非定常水平地殻変動（1次トレンド除去後）

基準期間：2020-01-01/2020-01-07[F5:最終解]
比較期間：2025-01-11/2025-01-18[R5:速報解]

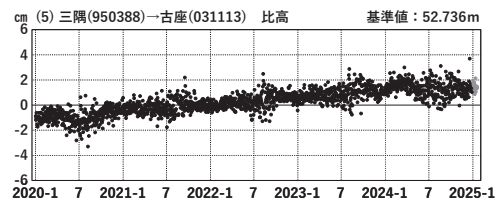
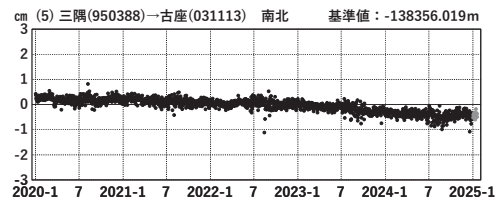
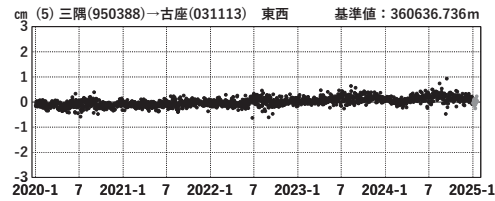
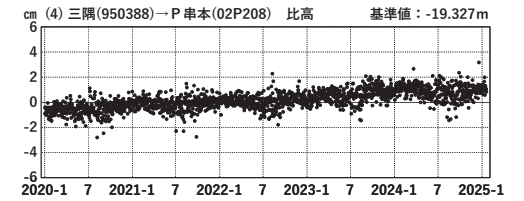
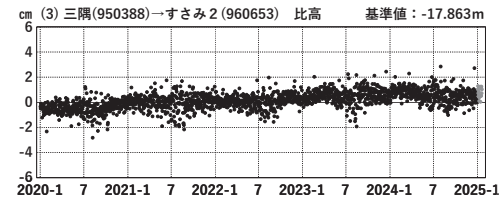
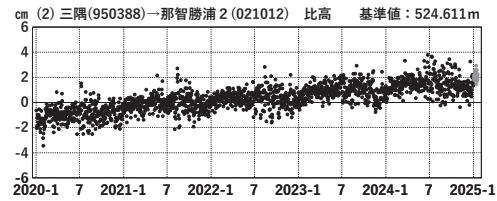
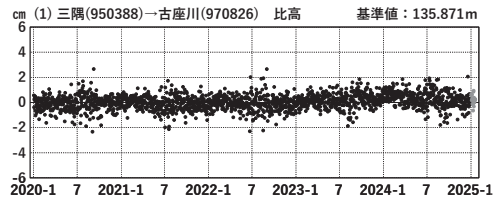
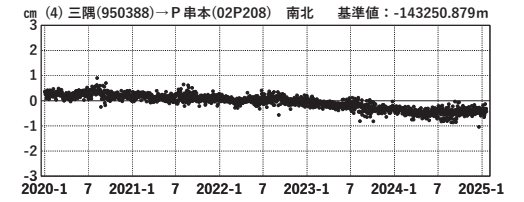
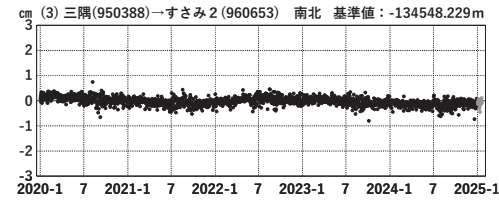
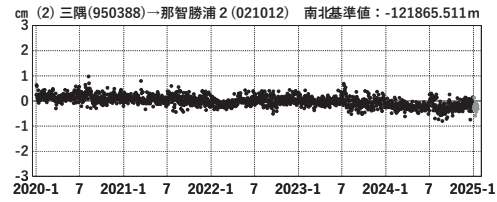
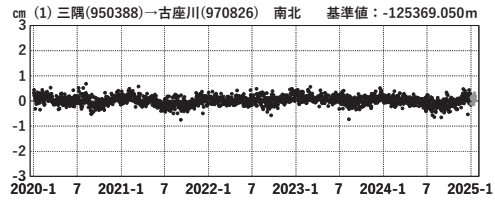
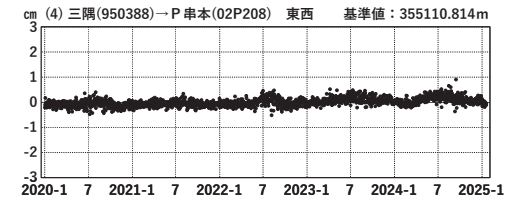
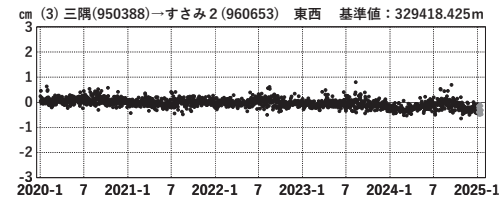
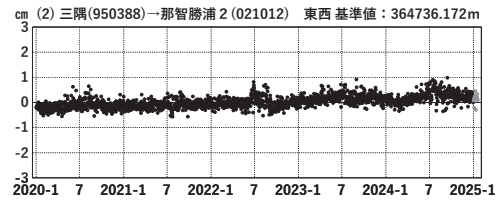
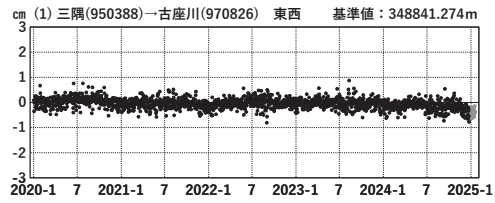
計算期間：2017-01-01/2019-01-01



紀伊半島南部 GNSS連続観測時系列 1次トレンド除去後グラフ

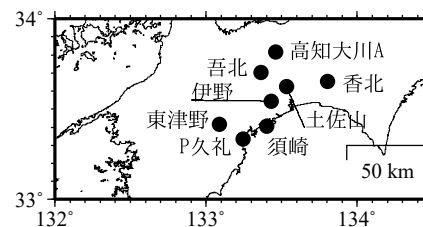
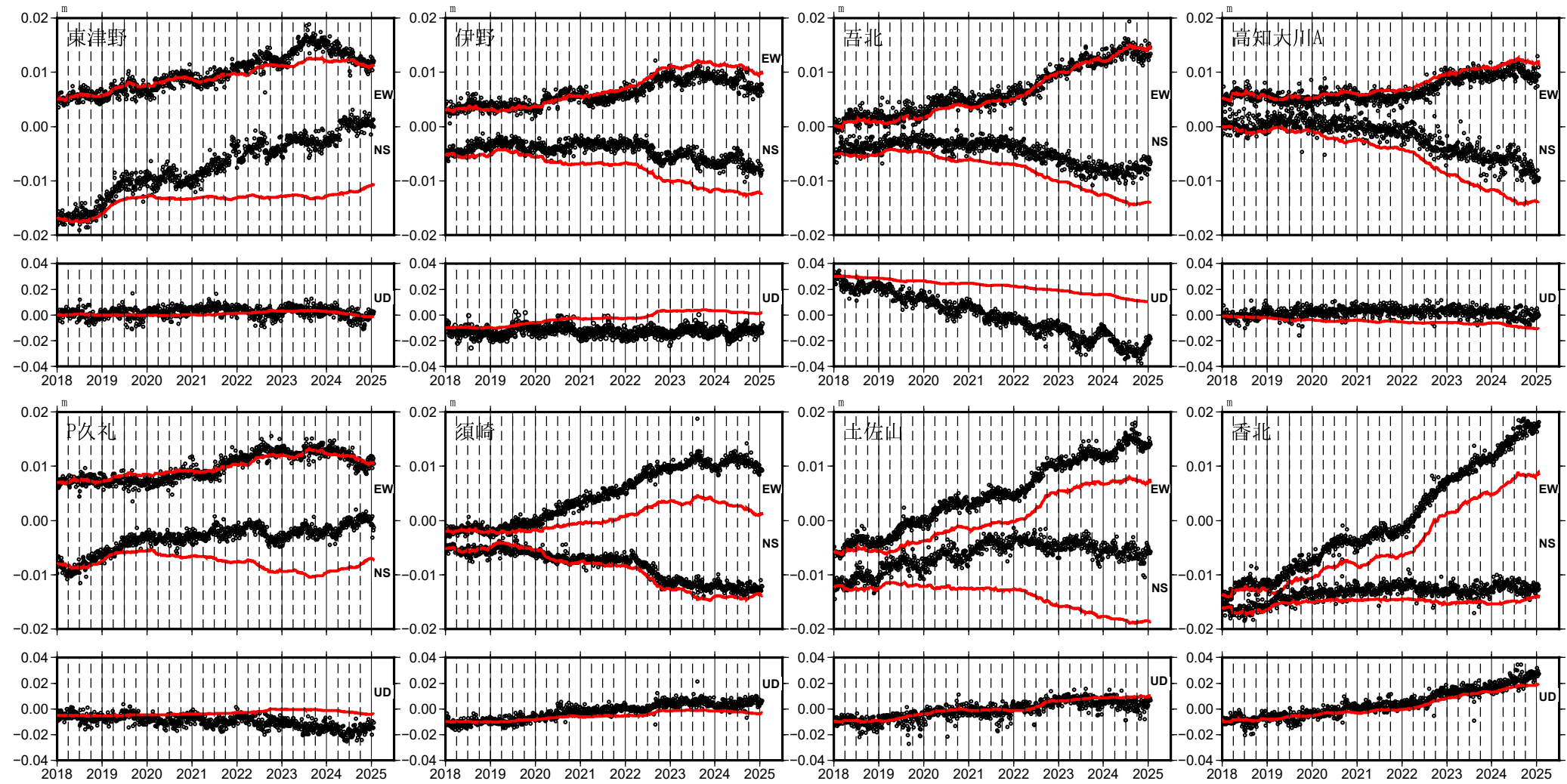
期間: 2020-01-01/2025-01-18 JST

計算期間: 2017-01-01/2019-01-01



四国中部の観測点の座標時系列(黒丸)と計算値(赤線)

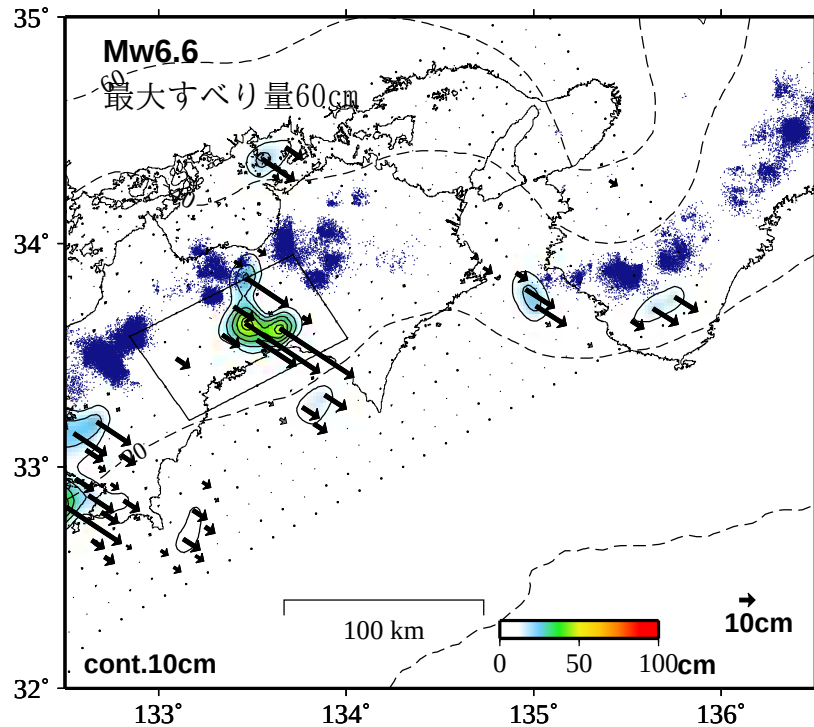
時間依存のインバージョン



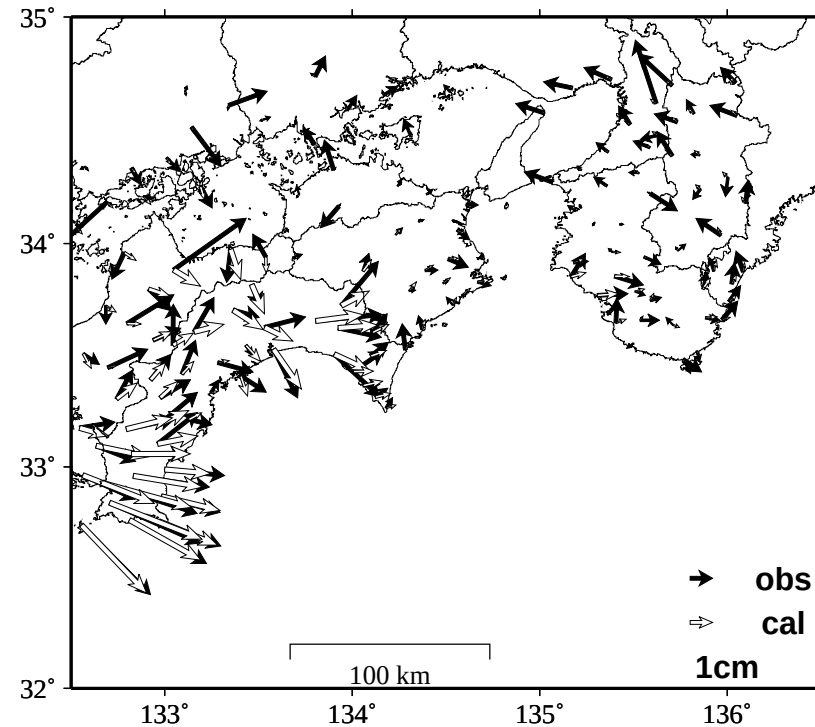
EW, NS, UD: 東西、南北、上下変動

GNSSデータから推定された四国中部の長期的ゆっくりすべり（暫定）

推定すべり分布
(2019-01-01/2025-01-18)



観測値（黒）と計算値（白）の比較
(2019-01-01/2025-01-18)



Mw及び最大すべり量はプレート面に沿って評価した値を記載。
すべり量（カラー）及びすべりベクトルは水平面に投影したものを示す。
推定したすべり量が標準偏差（ σ ）の3倍以上のグリッドを黒色で表示している。

使用データ:GEONETによる日々の座標値(F5解、R5解)

F5解(2019-01-01/2025-01-04)+R5解(2025-01-05/2025-01-18)

トレンド期間（九州・四国西部）:2006-01-01/2009-01-01(年周・半年周成分は補正なし)

（四国中部）:2017-04-01/2018-04-01（四国東部・紀伊半島）:2017-01-01/2019-01-01

モーメント計算範囲:左図の黒枠内側

観測値:3日間の平均値をカルマンフィルターで平滑化した値

黒破線:フィリピン海プレート上面の等深線(Hirose et al.,2008)

すべり方向:プレートの沈み込み方向に拘束

青丸:低周波地震（気象庁一元化震源）（期間:2019-01-01/2025-01-18）

固定局:上対馬

*電子基準点の保守等による変動は補正済み

*平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震及び平成28年(2016年)熊本地震の粘弾性変形は補正している（Suito,2017,水藤,2017）。

*Nishimura et al.(2013)及び気象庁カタログ(2017年以降)の短期的ゆっくりすべりを補正している。

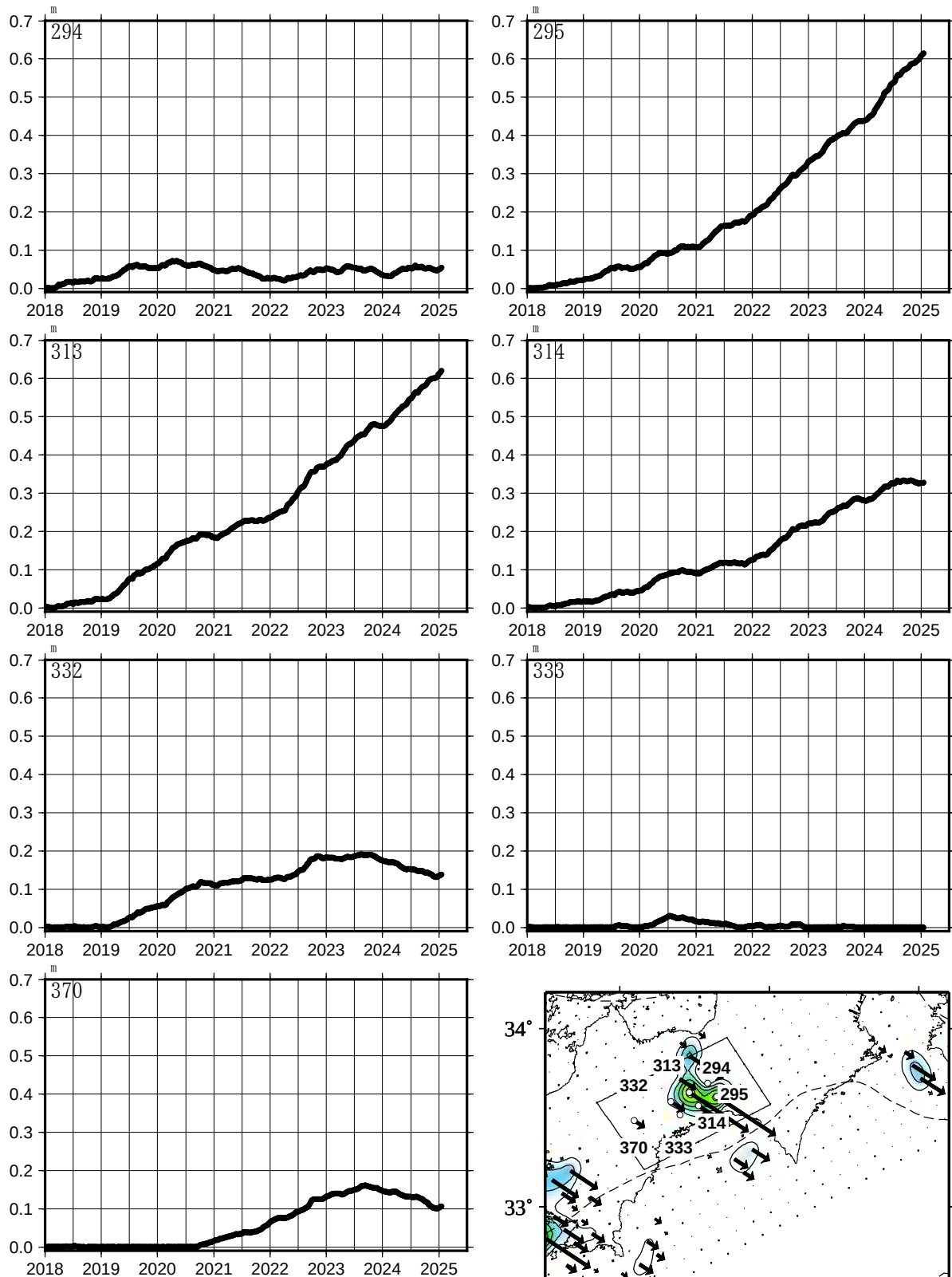
*共通誤差成分を推定している。



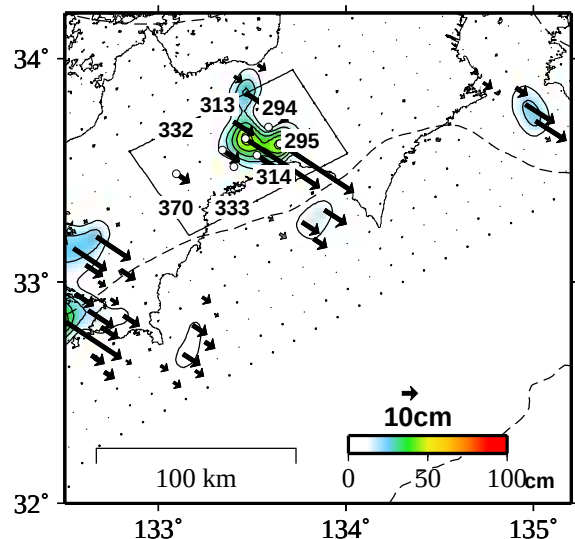
四国中部の長期的ゆっくりすべり

各グリッドにおけるすべりの時間変化

時間依存のインバージョン



*プレートの沈み方向と平行な方向の変化を示している。

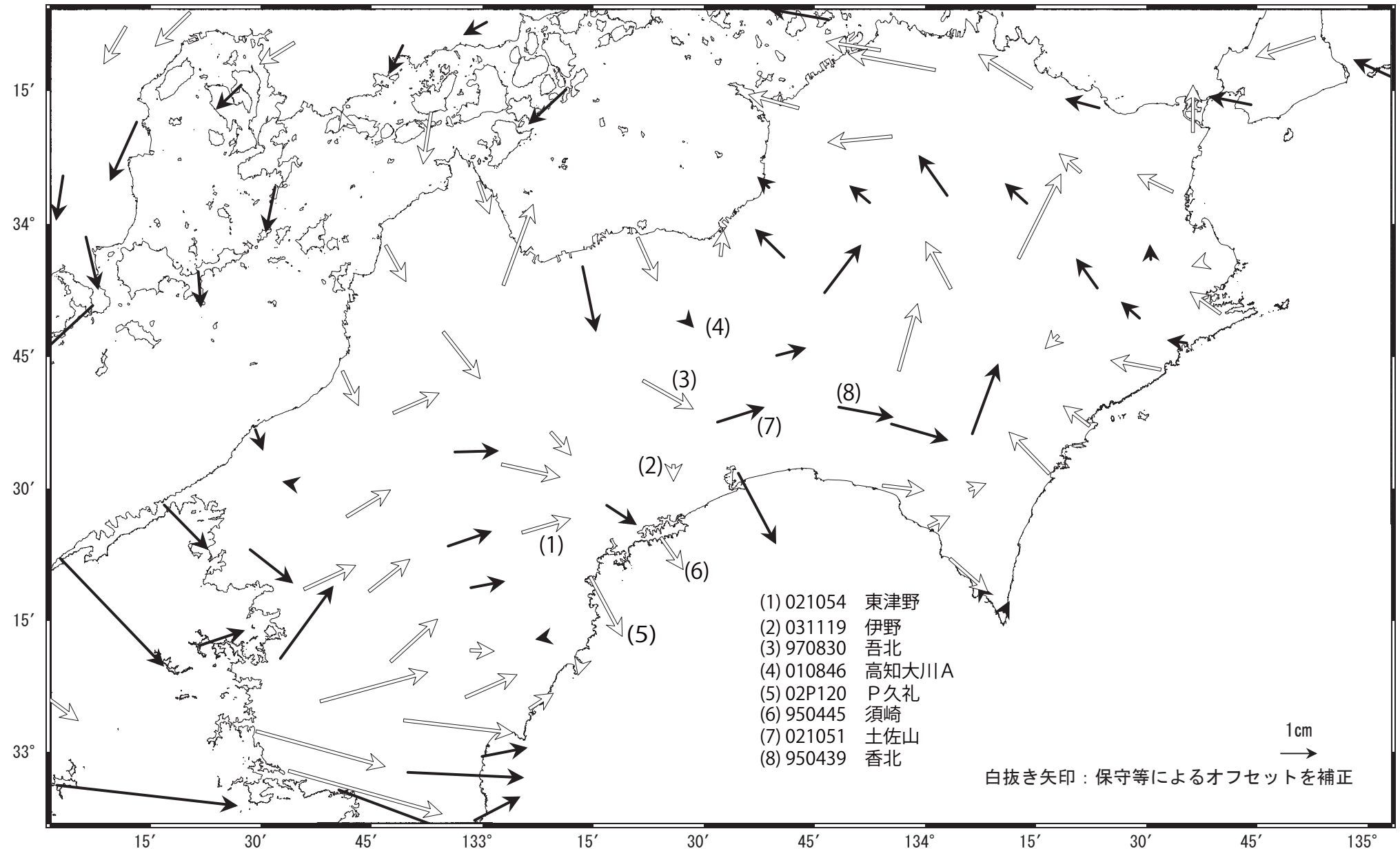


すべり量（カラー）及びすべりベクトルは水平面に投影したものを示す。
推定したすべり量が標準偏差（ σ ）の3倍以上のグリッドを黒色表示している。

四国中部の非定常水平地殻変動(1次トレンド除去後)

基準期間: 2017-12-29/2018-01-04 [F5: 最終解]
比較期間: 2025-01-12/2025-01-18 [R5: 速報解]

計算期間: 2017-01-01/2018-01-01



固定局: 上対馬 (950456)

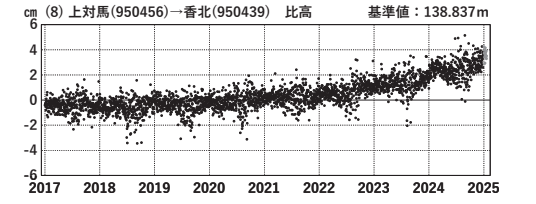
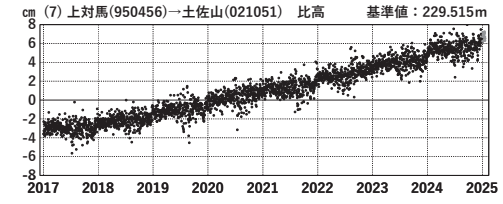
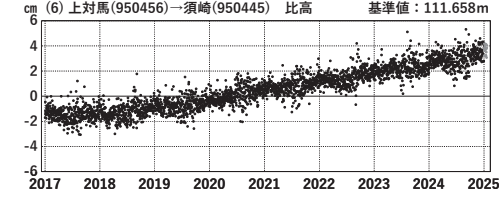
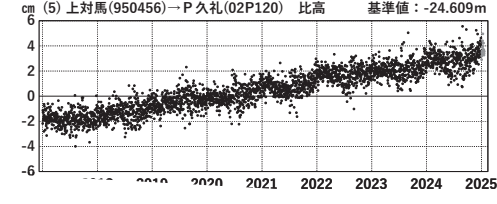
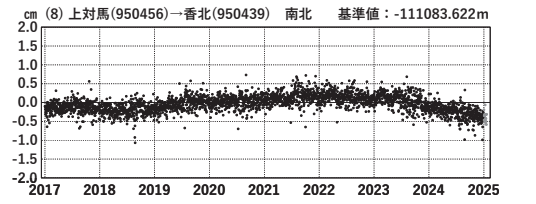
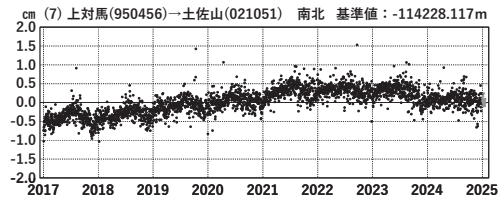
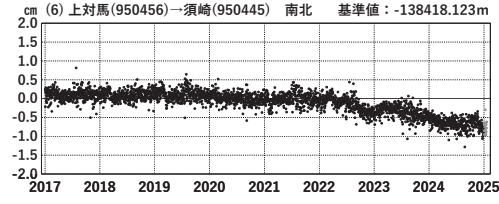
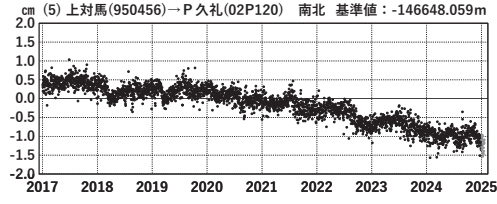
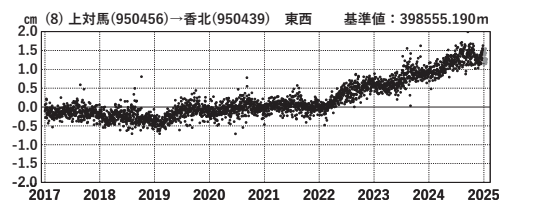
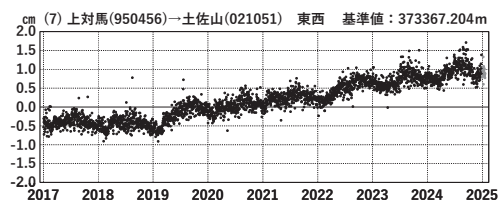
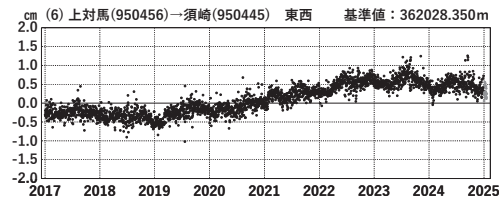
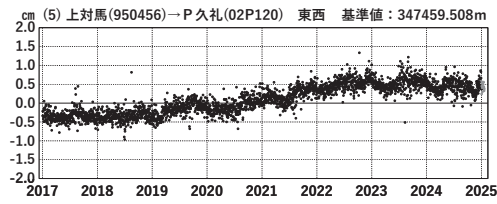
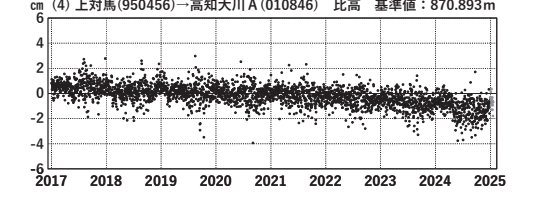
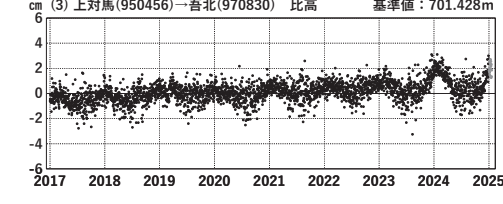
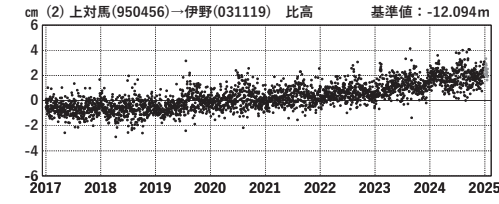
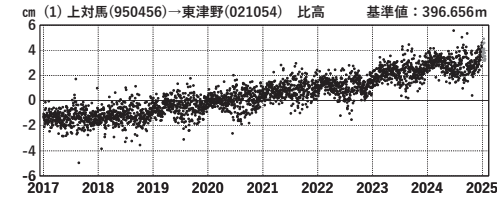
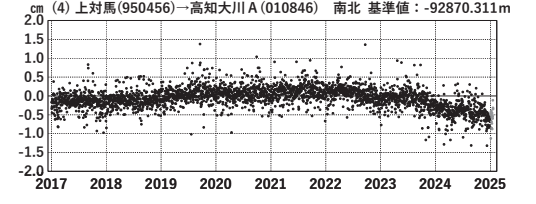
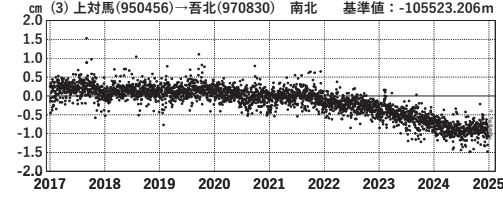
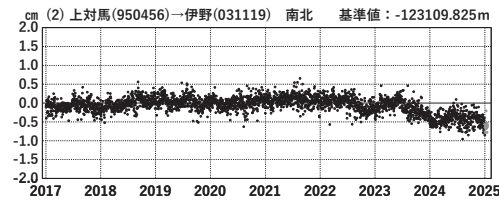
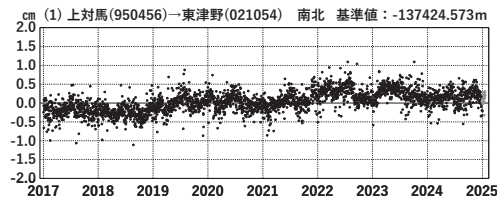
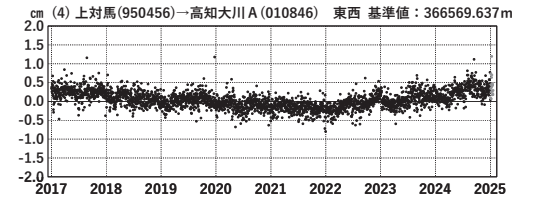
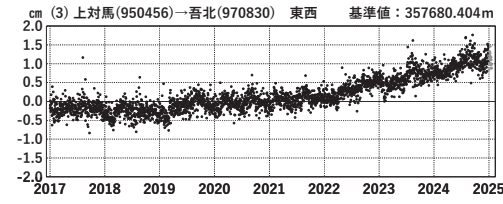
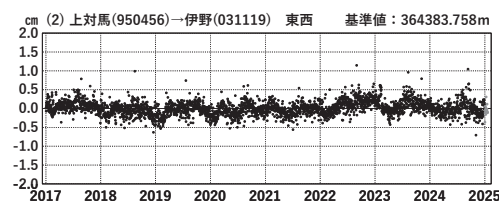
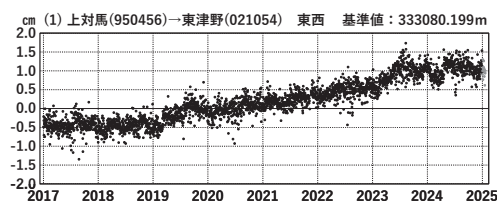
国土地理院

四国中部 G N S S 連続観測時系列

1 次トレンド除去後グラフ

期間: 2017-01-01/2025-01-18 JST

計算期間: 2017-01-01/2018-01-01



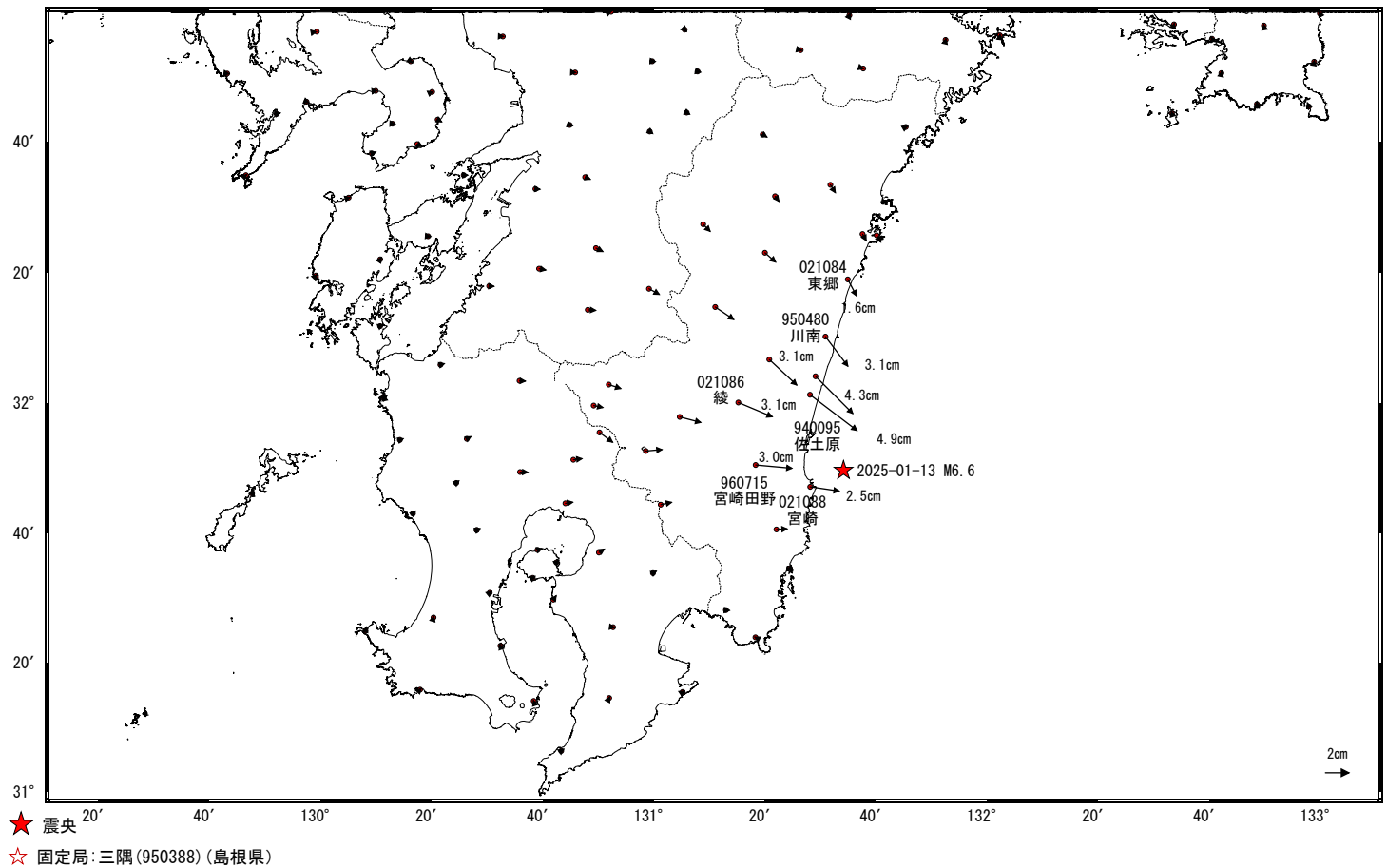
●---[F5:最終解] ●---[R5:速報解]

日向灘の地震(2025年1月13日 M6. 6)前後の観測データ

この地震に伴い地殻変動が観測された。

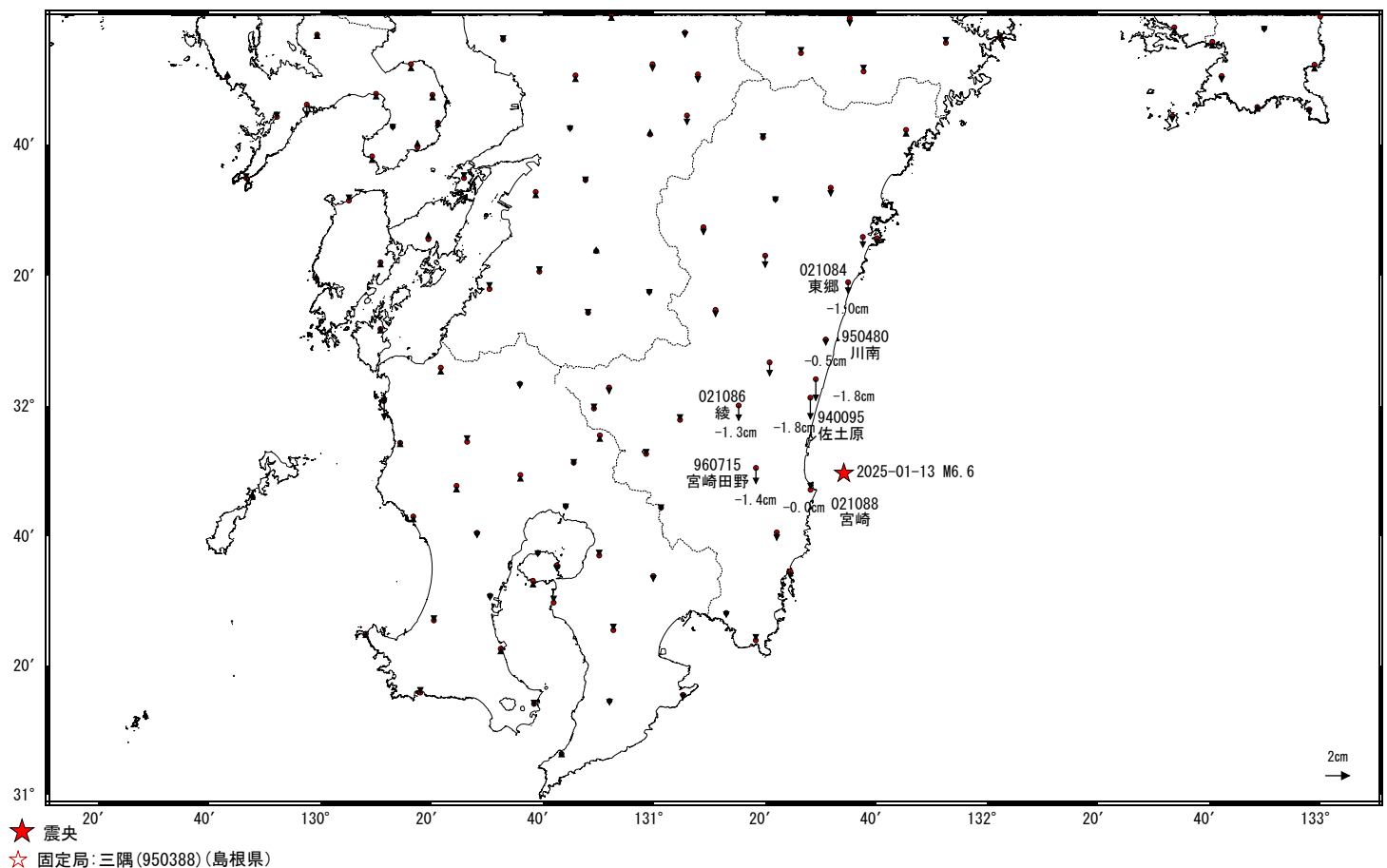
地殻変動(水平)

基準期間: 2025-01-06~2025-01-12[F5: 最終解]
比較期間: 2025-01-14~2025-01-14[F5: 最終解]



地殻変動(上下)

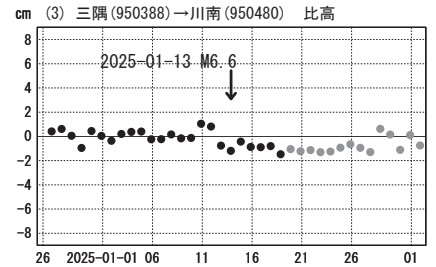
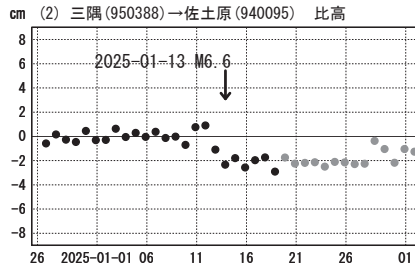
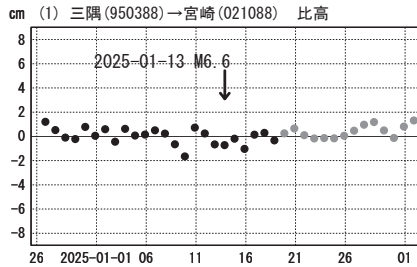
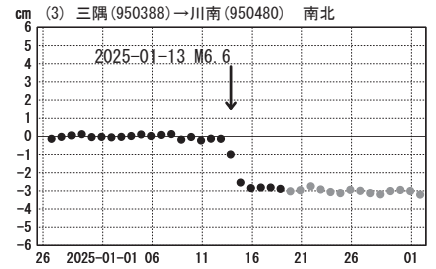
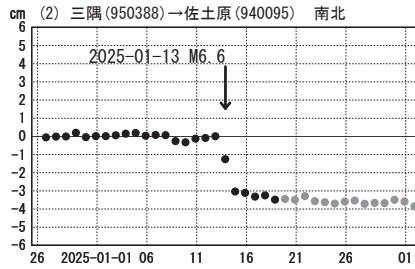
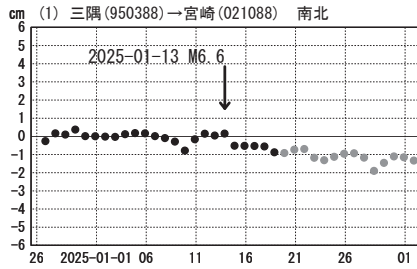
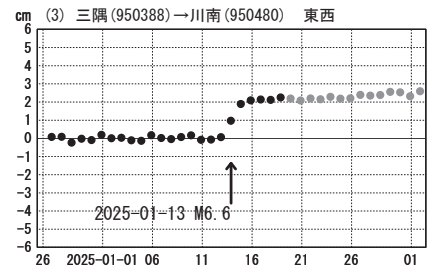
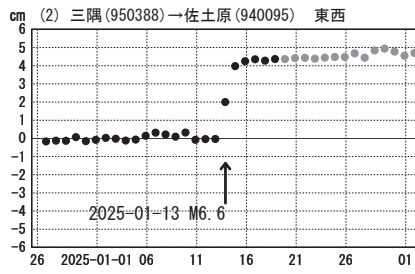
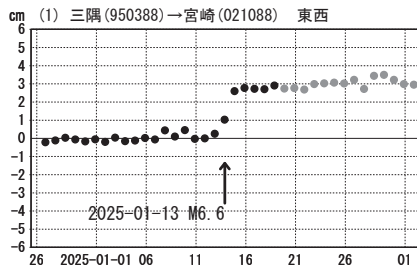
基準期間: 2025-01-06~2025-01-12[F5: 最終解]
比較期間: 2025-01-14~2025-01-14[F5: 最終解]



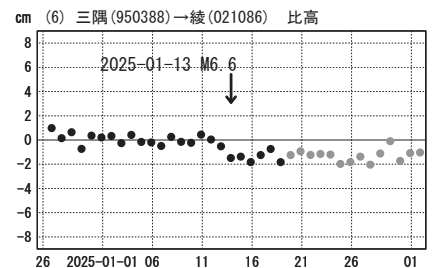
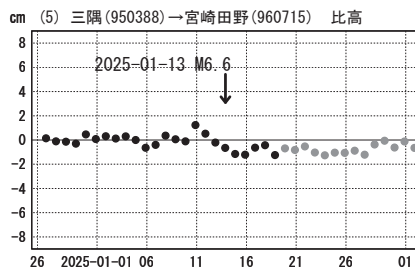
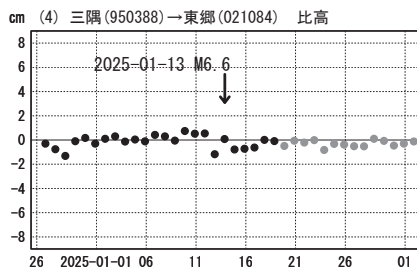
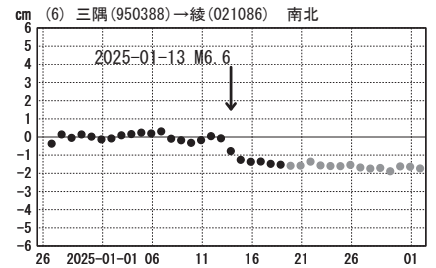
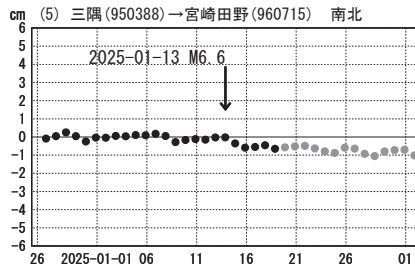
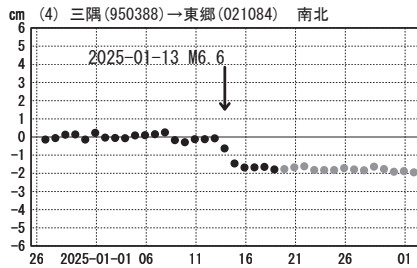
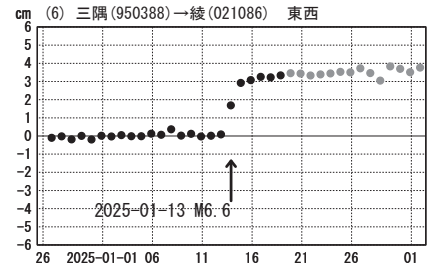
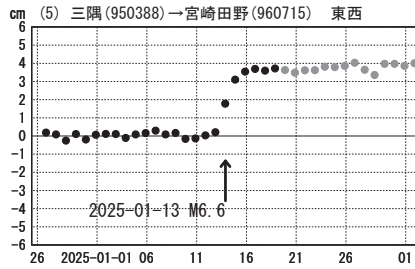
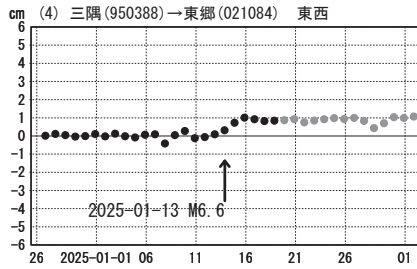
日向灘の地震(2025年1月13日 M6.6)前後の観測データ (暫定)

成分変化グラフ

期間: 2024-12-26~2025-02-01 JST



期間: 2024-12-26~2025-02-01 JST

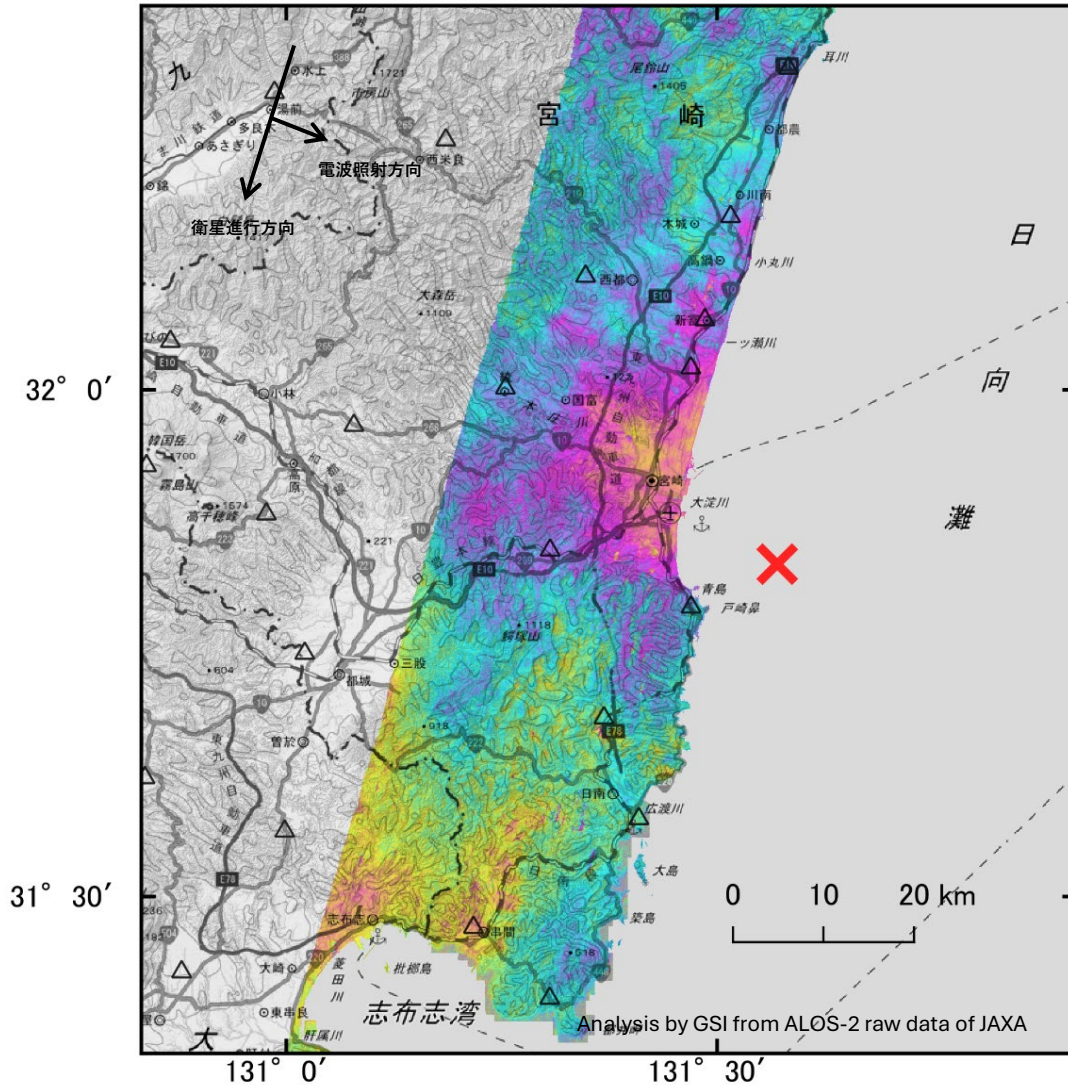


●---[F5:最終解] ●---[R5:速報解]

「だいち2号」観測データのSAR干渉解析による 日向灘の地震（2025年1月13日）に伴う地殻変動

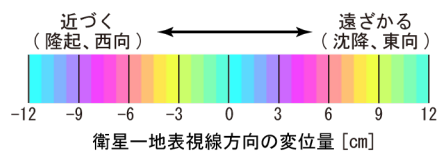
震源に近い地域で、衛星から遠ざかる変動が見られます。

2024年10月23日～2025年1月15日



△ 国土地理院GNSS観測点

✕ 震央 2025-01-13 21:19
深さ36km M6.6（気象庁発表）



衛星名	ALOS-2
観測日時	2024-10-23 2025-01-15 12:59頃 (84日間)
衛星進行方向	南行
電波照射方向	左(東)
観測モード*	U-U
入射角	48.3°
偏波	HH
垂直基線長	+ 68 m

* U：高分解能(3m)モード

背景：地理院地図 標準地図・陰影起伏図・傾斜量図

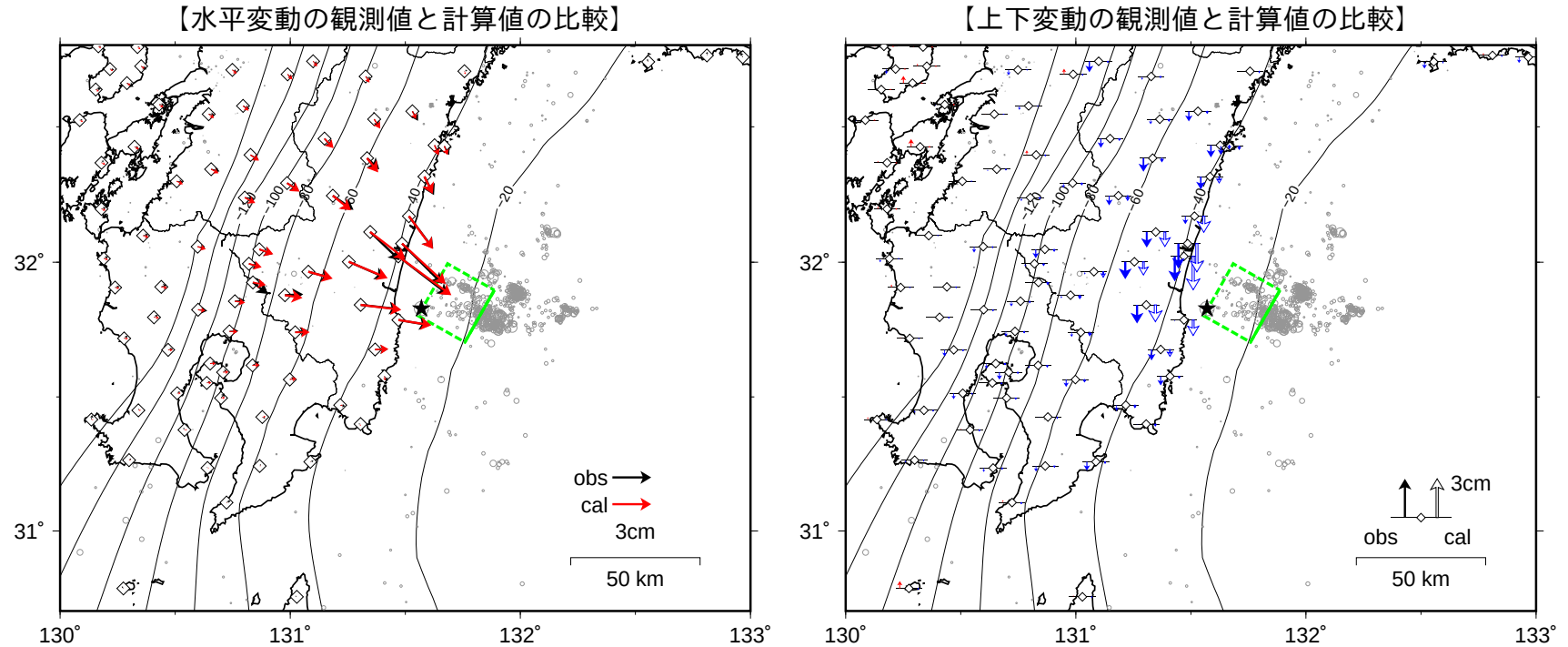
本解析で使用したデータの一部は、地震予知連絡会SAR解析ワーキンググループの活動を通して得られたものです。
対流圏遅延補正には、気象庁数値予報格子点データを使用しています。

国土地理院

2025 年 1 月 13 日 日向灘の地震の震源断層モデル（暫定）

基準期間：2025 年 1 月 06 日 ～ 2025 年 1 月 12 日 (R5 解) JST

比較期間：2025 年 1 月 14 日 ～ 2025 年 1 月 14 日 (R5 解) JST



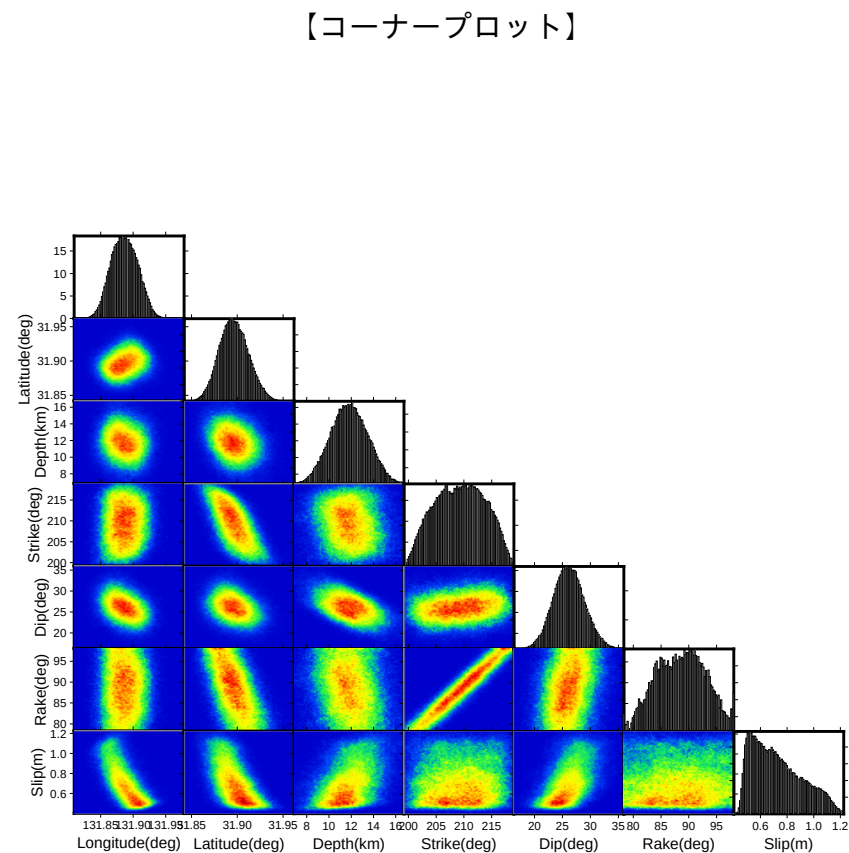
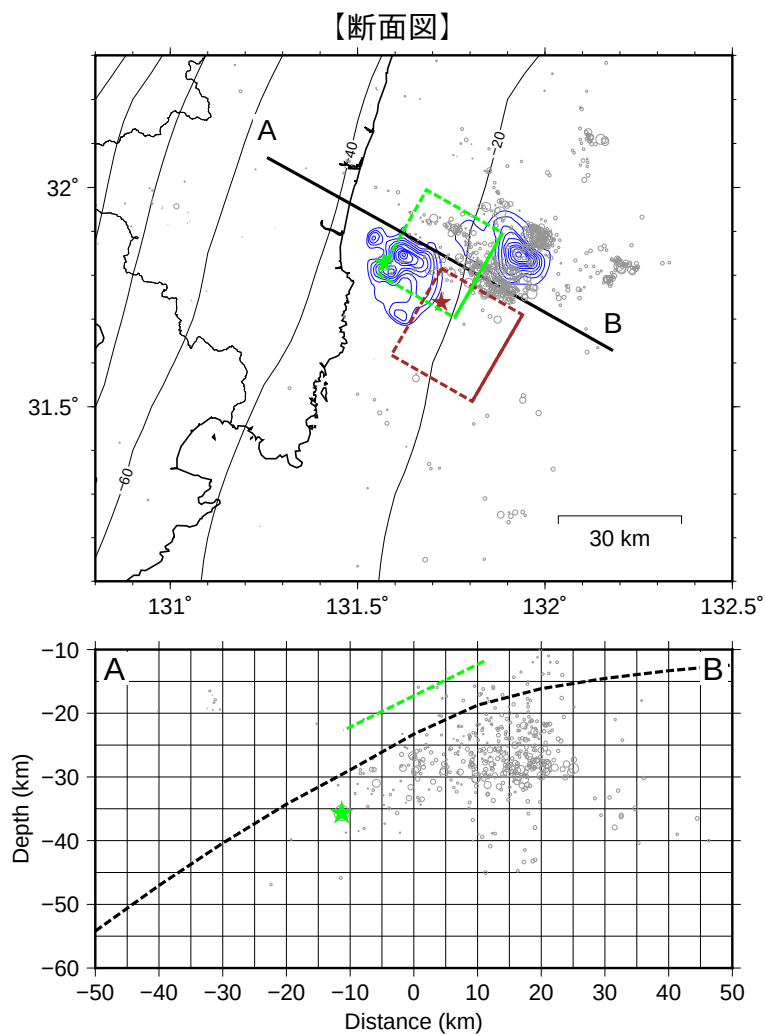
- ・ 黒色の星は 1 月 13 日の Mj6.6 の震央、灰色丸は震央分布（気象庁一元化震源（気象庁）を使用）、2025 年 1 月 13 日 21 時 19 分～1 月 19 日 23 時 59 分。
- ・ 黄緑色の矩形は震源断層モデルを地表面に投影した位置で、実線が断層上端。
- ・ フィリピン海プレート境界面は、Hirose et al.(2008) を参照した。

【推定された震源断層パラメータ】

緯度	経度	上端深さ	長さ	幅	走向	傾斜	すべり角	すべり量	M_w
°	°	km	km	km	°	°	°	m	
31.897	131.887	11.8	24.6	24.6	209.3	26.2	88.3	0.73	6.75
(0.016)	(0.020)	(1.7)	(2.9)	(2.9)	(4.6)	(2.8)	(5.4)	(0.18)	(0.01)

- ・ マルコフ連鎖モンテカルロ（MCMC）法を用いてモデルパラメータを推定。括弧内は誤差（ 1σ ）を示す。
- ・ 断層長さと断層幅の比が 1:1 に近づくように拘束。
- ・ M_w の計算においては、剛性率を 40GPa と仮定。

2025 年 1 月 13 日 日向灘の地震の震源断層モデルの断面図と事後確率分布（暫定）

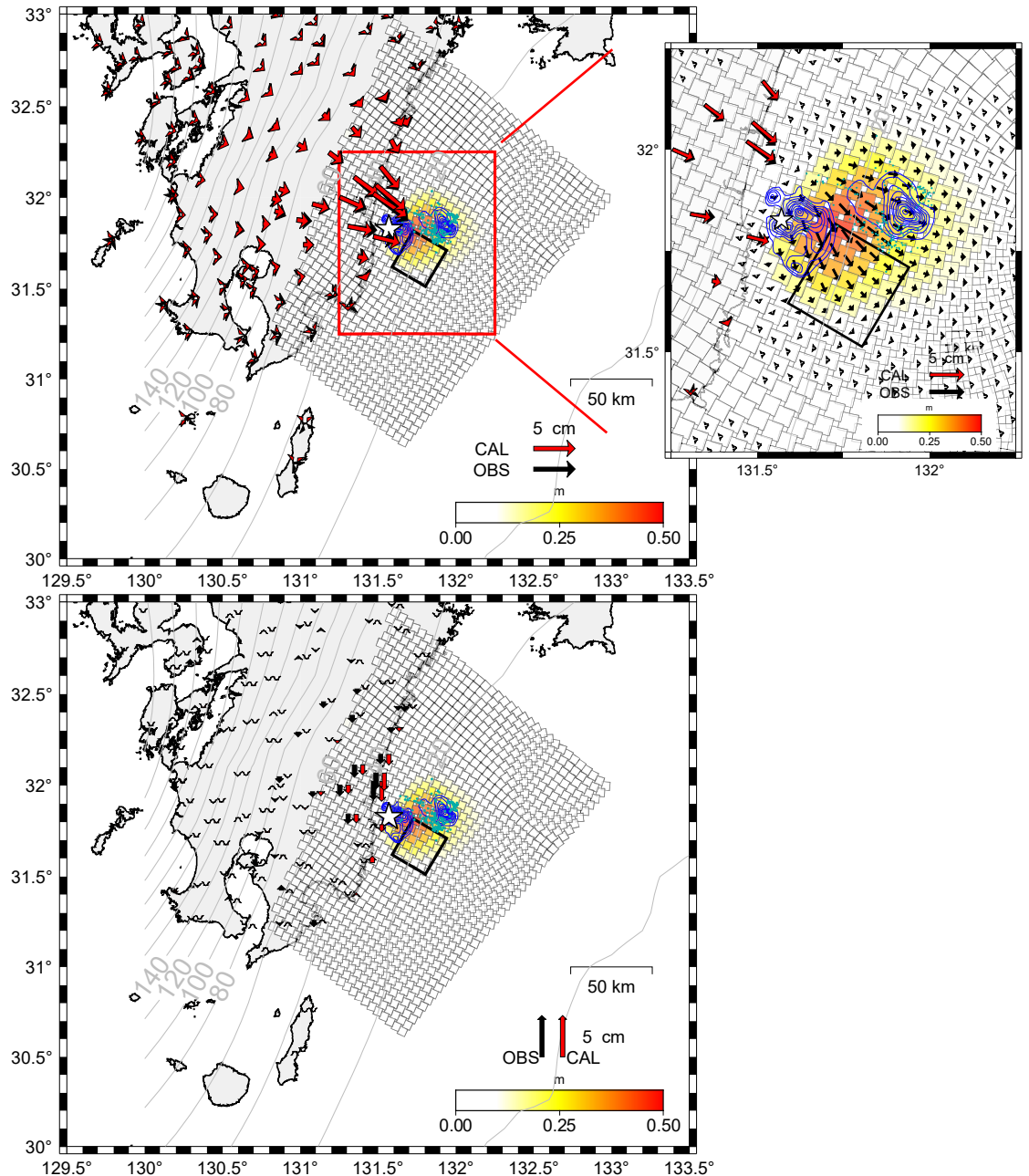


- ・ 灰色丸は震央分布（気象庁一元化自動（気象庁）を使用）、2025 年 1 月 13 日 21 時 19 分～1 月 19 日 23 時 59 分（JST）。
- ・ 黄緑色の星印と矩形は、震央と震源断層モデルを地表面に投影した位置で、実線が断層上端。
- ・ 茶色の星印と矩形は、2024 年 8 月 8 日の日向灘の地震の震央と震源断層モデルを地表面に投影した位置で、実線が断層上端。
- ・ フィリピン海プレート境界面は、Hirose et al.(2008) を参照した。
- ・ 青コンターは、1996 年 10 月と 12 月に発生した地震のすべり分布（Yagi et al. 1996）。

日向灘の地震（1月13日 M6.6）のすべり分布モデル（暫定）

2025年1月13日に発生した日向灘の地震について、電子基準点GNSS解析で得られた地殻変動をもとに、プレート境界面を小断層に分割したうえで地震時すべり分布を決定した。

- ・ 基準期間：2025年1月6日 00:00–2025年1月12日 23:59 JST（速報（R5）解）
- ・ 比較期間：2025年1月14日 00:00–2025年1月20日 23:59 JST（速報（R5）解）



- ・ 固定点：三隅

☆印は震央、緑点は震源分布（気象庁一元化震源：2025年1月13日 21時19分～1月14日 23時59分（JST））

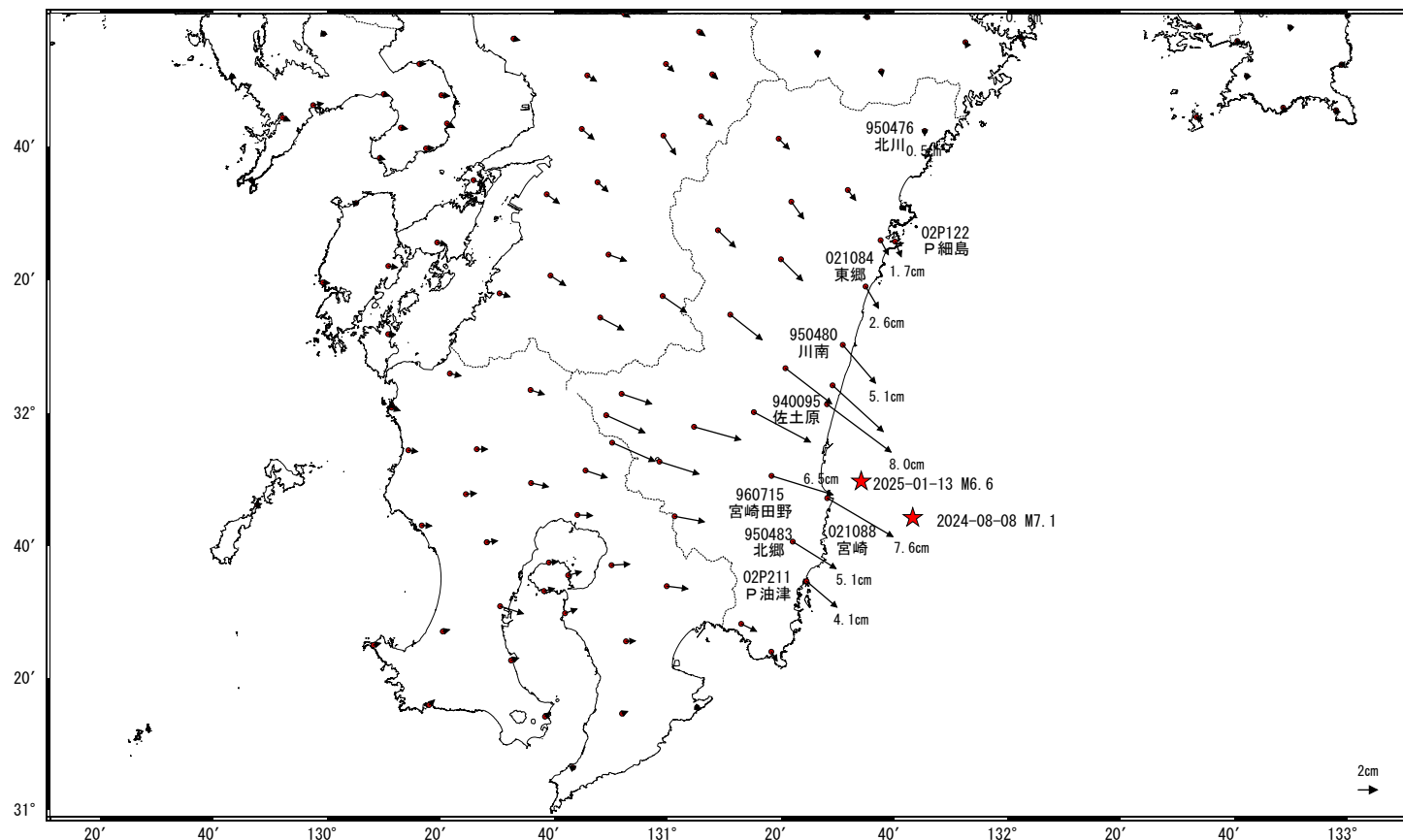
- ・ プレート面（Hirose et al. 2008）を5kmx5kmの小断層に分割してすべり分布を推定.
- ・ 青コンターは、1996年10月と12月に発生した地震のすべり分布(Yagi et al. 1999).
- ・ 黒枠は、2024年8月8日の地震の震源断層モデル.
- ・ 最大すべり量は約0.5mである.
- ・ M_w は6.93である。 M_w の計算においては、剛性率を40 GPaと仮定した.

日向灘の地震(2024年8月8日 M7.1)後の観測データ (暫定)

地殻変動(水平)(1次トレンド除去後)

基準期間: 2024-08-09~2024-08-09 [F5: 最終解]
比較期間: 2025-01-19~2025-01-25 [R5: 速報解]

計算期間: 2006-01-01~2009-01-01

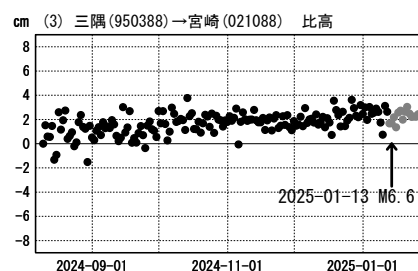
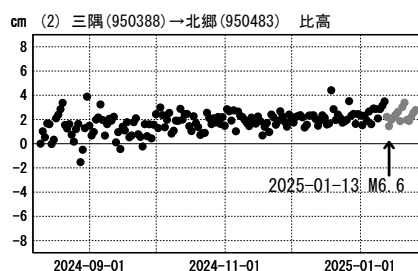
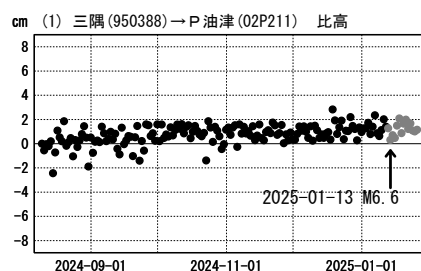
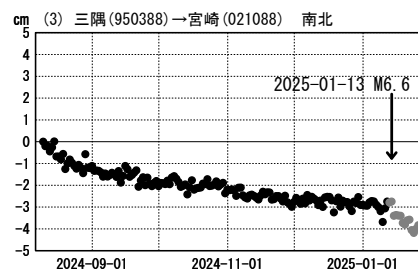
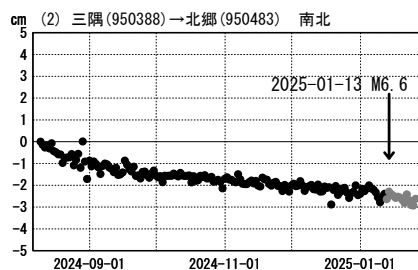
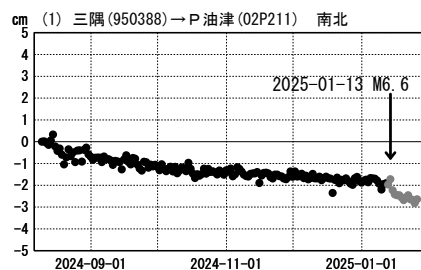
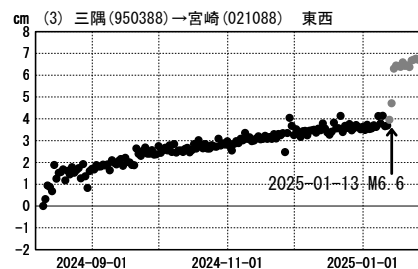
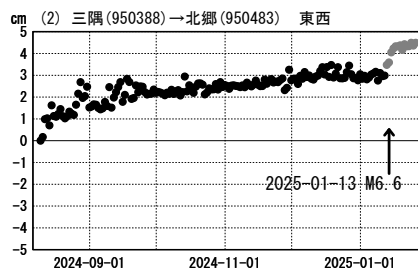
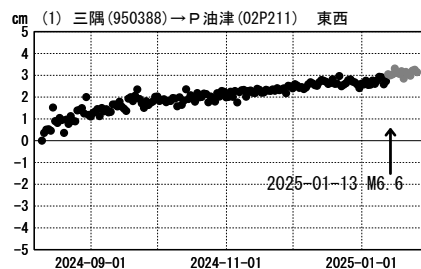


★ 震央
☆ 固定局: 三隅(950388) (島根県)

成分変化グラフ (1次トレンド除去後)

期間: 2024-08-09~2025-01-25 JST

計算期間: 2006-01-01~2009-01-01



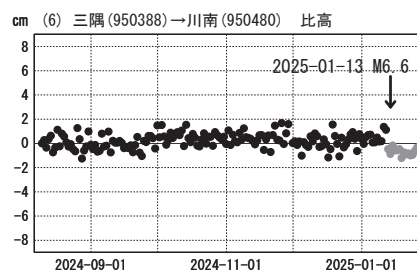
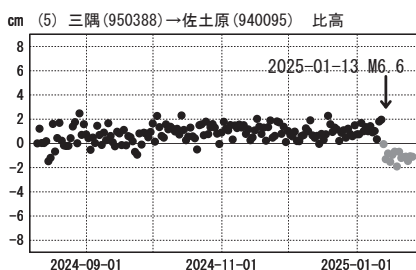
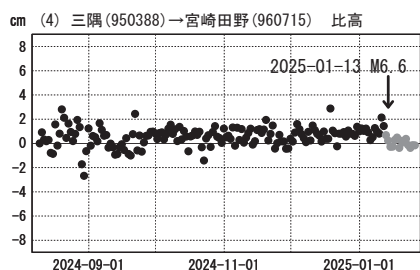
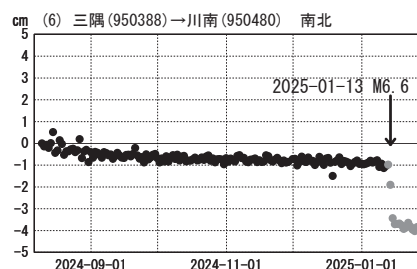
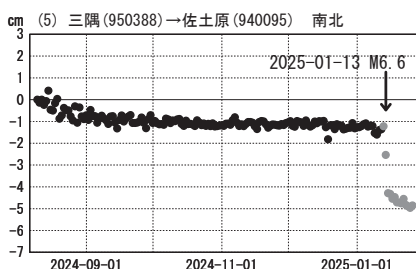
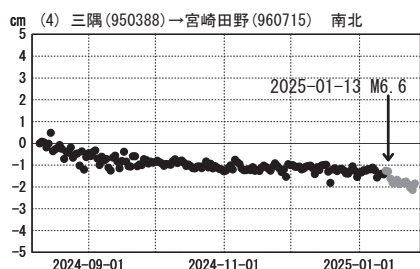
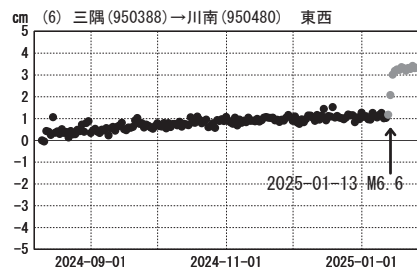
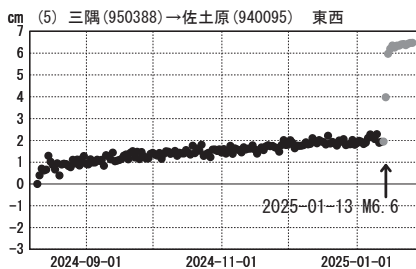
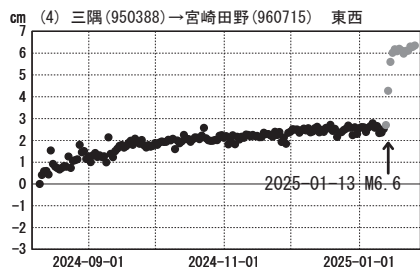
●—[F5: 最終解] ●—[R5: 速報解]

日向灘の地震(2024年8月8日 M7.1)後の観測データ (暫定)

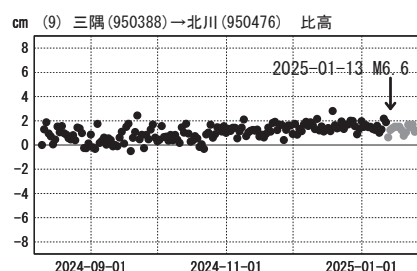
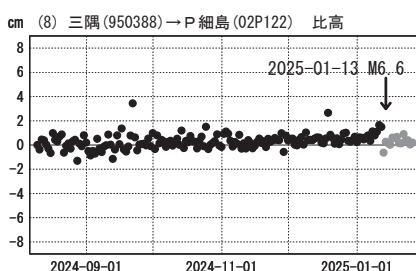
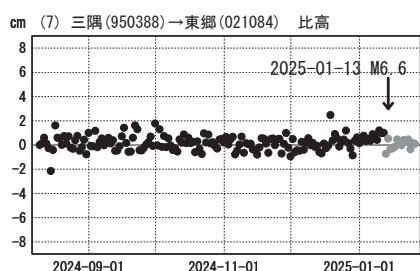
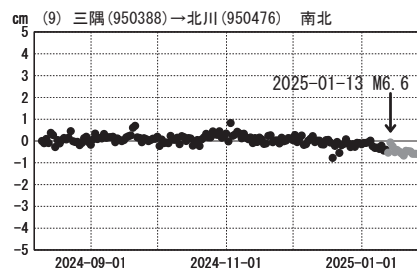
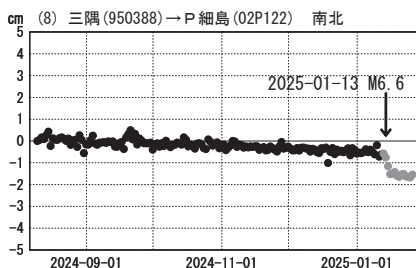
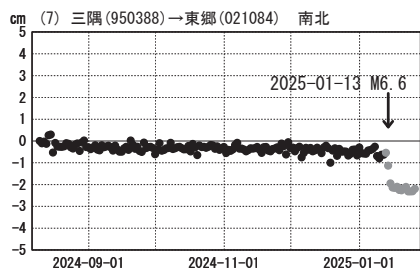
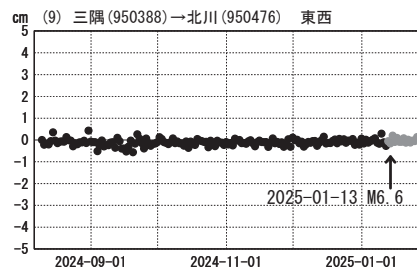
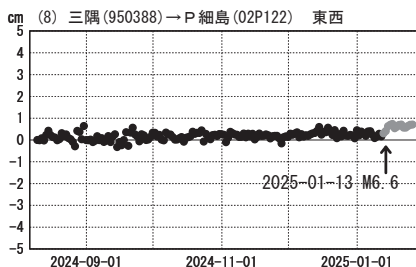
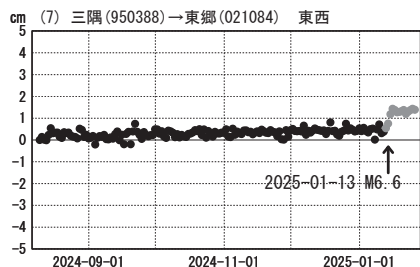
成分変化グラフ (1次トレンド除去後)

計算期間: 2006-01-01~2009-01-01

期間: 2024-08-09~2025-01-25 JST



期間: 2024-08-09~2025-01-25 JST



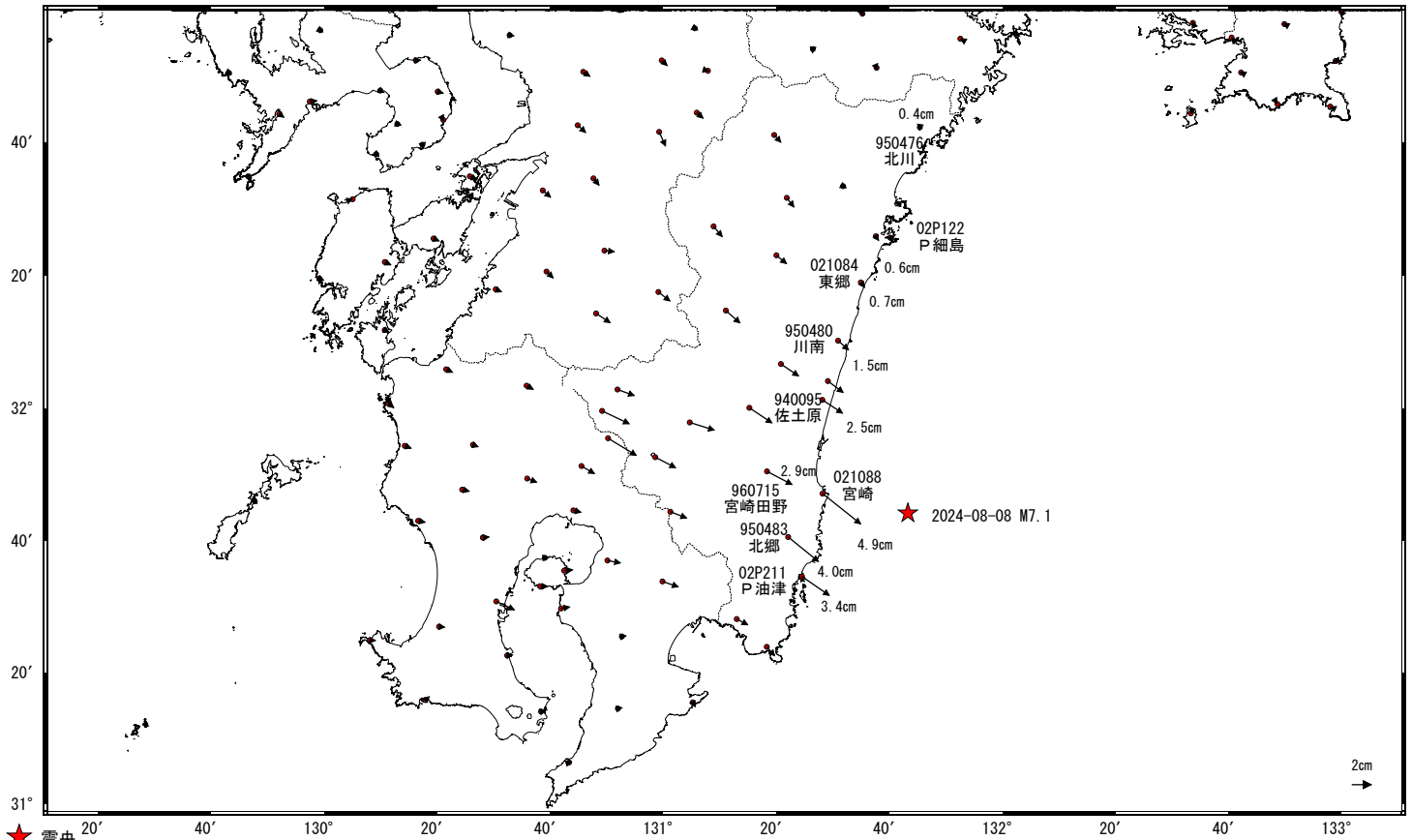
●---[F5:最終解] ●---[R5:速報解]

日向灘の地震(2024年8月8日 M7.1)後の観測データ (2025年1月12日まで)

地殻変動(水平)(1次トレンド除去後)

基準期間: 2024-08-09~2024-08-09 [F5: 最終解]
比較期間: 2025-01-06~2025-01-12 [F5: 最終解]

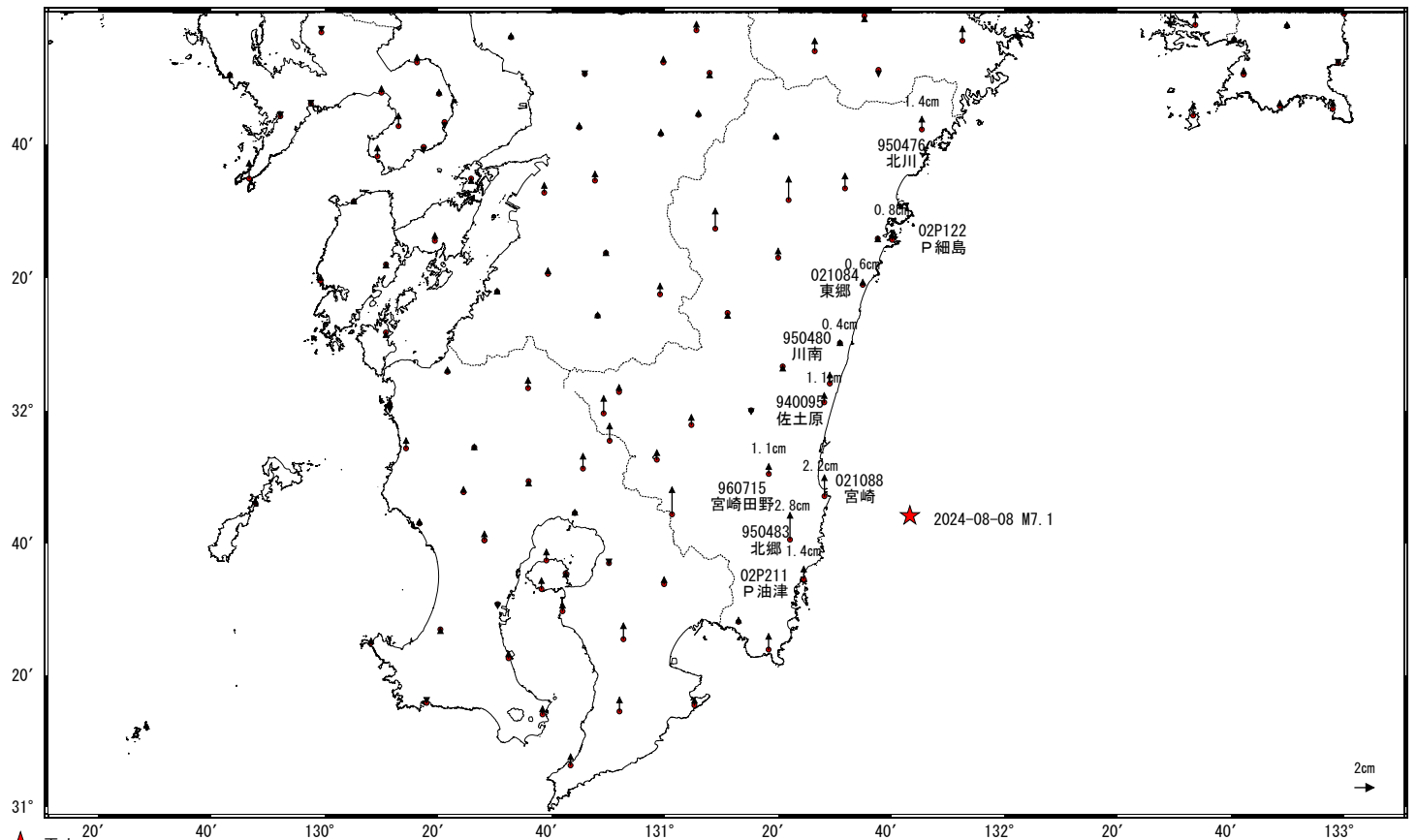
計算期間: 2006-01-01~2009-01-01



地殻変動(上下)(1次トレンド除去後)

基準期間: 2024-08-09~2024-08-09 [F5: 最終解]
比較期間: 2025-01-06~2025-01-12 [F5: 最終解]

計算期間: 2006-01-01~2009-01-01



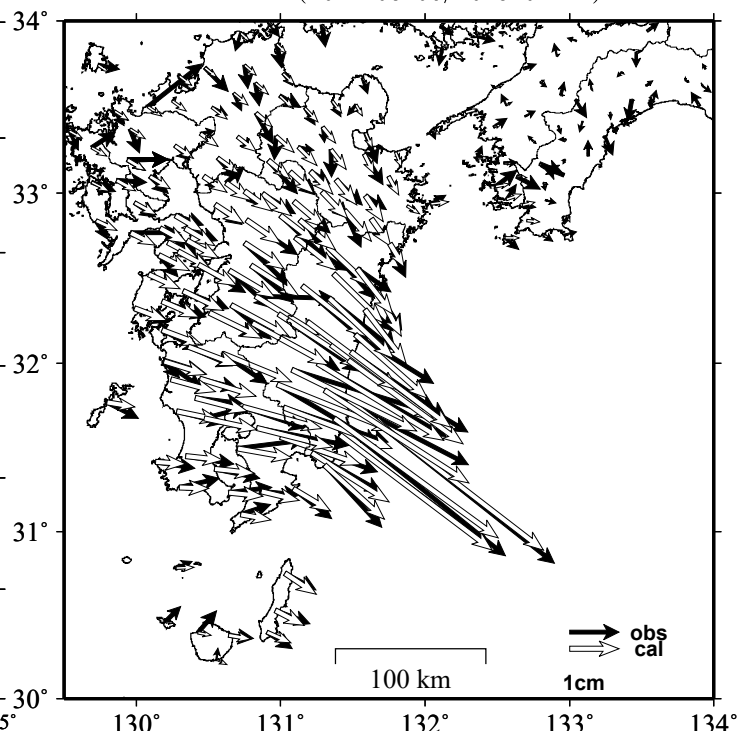
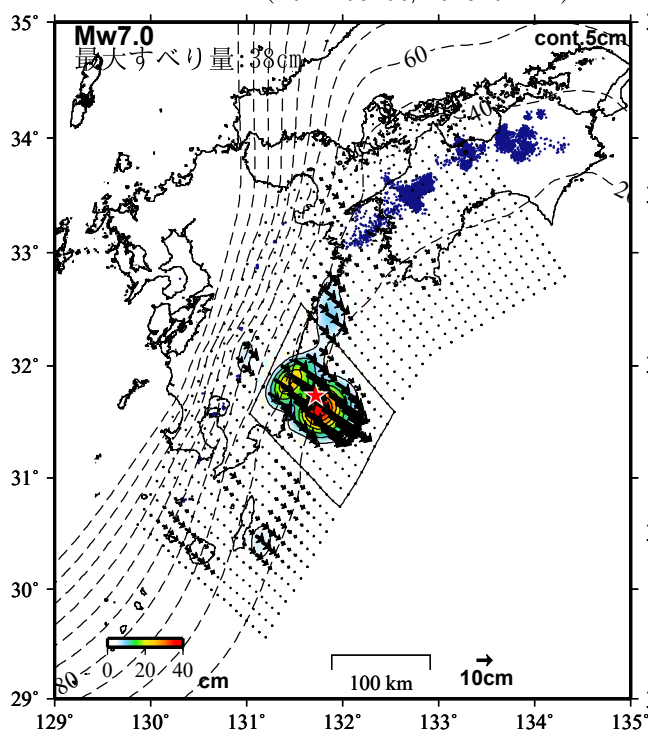
日向灘の地震（2024年8月8日M7.1）の余効すべり（暫定）

推定すべり分布

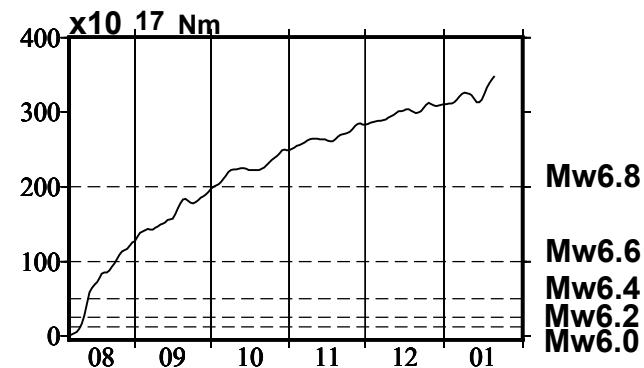
(2024-08-06/2025-01-21)

観測値（黒）と計算値（白）の比較

(2024-08-06/2025-01-21)



モーメント * 時系列（試算）



Mw及び最大すべり量はプレート面に沿って評価した値を記載。
すべり量（カラー）及びすべりベクトルは水平面に投影したものを示す。
推定したすべり量が標準偏差(σ)の3倍以上のグリッドを黒色で表示している。

使用データ: GEONETによる日々の座標値(F5解、R5解)

F5解(2024-07-20/2025-01-04) + R5解(2025-01-05/2025-01-21) * 電子基準点の保守等による変動は補正済み

トレンド期間: 2006-01-01/2009-01-01 (年周・半年周成分は補正なし)

日向灘附近: 2007-10-01/2009-03-01

モーメント計算範囲: 左図の黒枠内側

観測値: カルマンフィルターで平滑化した値

黒破線: フィリピン海プレート上面の等深線(Hirose et al., 2008)

すべり方向: プレートの沈み込み方向に拘束

青丸: 低周波地震(気象庁一元化震源)(期間: 2022-08-06/2025-01-21)

固定局: 三隅

* 日向灘の地震(2024-08-08, M7.1)の地震時変動を除去している。

* 日向灘の地震(2025-01-13, M6.6)の地震時変動を除去している。

* 平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震及び平成28年(2016年)熊本地震の粘弾性変形は補正している(Suito, 2017; 水藤, 2017)。

* 共通誤差成分を推定している。

* モーメント: 断層運動のエネルギーの目安となる量。

国土地理院

2025 年 1 月 7 日チベットの地震 だいち 2 号解析結果

2025 年 1 月 7 日 10 時 5 分 (JST) (2025 年 1 月 7 日 1 時 5 分 (UTC)) に中国南部で M7.1 (米国地質調査所：USGS) の地震が発生しました。日本の地球観測衛星「だいち 2 号」(ALOS-2) に搭載された合成開口レーダー (PALSAR-2) のデータを使用して画像の解析を行いました。得られた結果は以下のとおりです。

- 最大 1m を超える変動が見られました。

表：解析データ

Pair	図番号	観測日	観測時間 (UTC)	衛星進行方向	電波照射方向	観測モード	入射角	垂直基線長
Pair 1	2-3	2024-10-15 2025-01-07	6:06 頃	南行	右	高分解能 (10 m)	36.2°	+211.0 m
Pair 2	4	2024-12-29 2025-01-12	6:13 頃	南行	右	広域観測 (350 km)	34.9°	+53.1 m

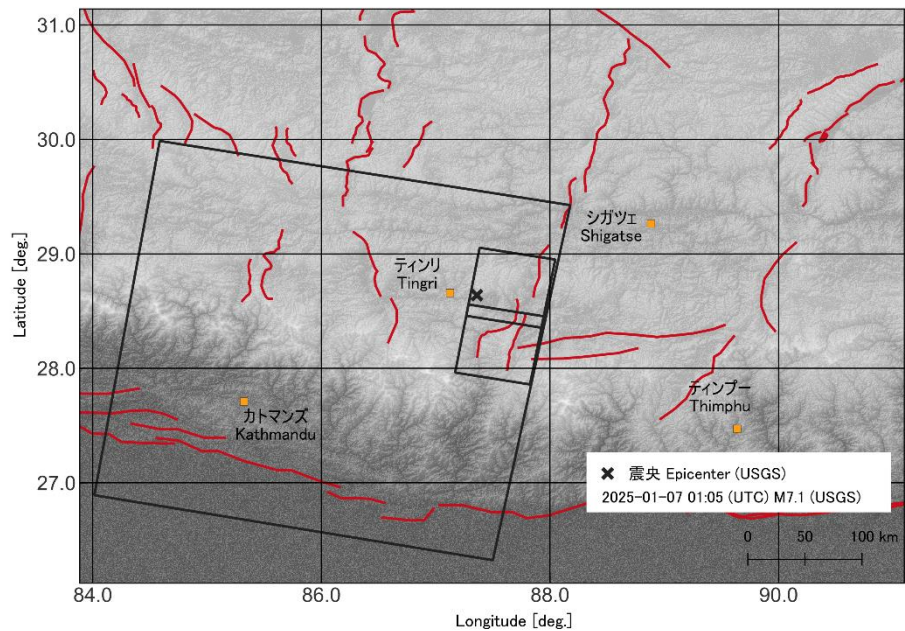


図 1. SAR 撮像領域

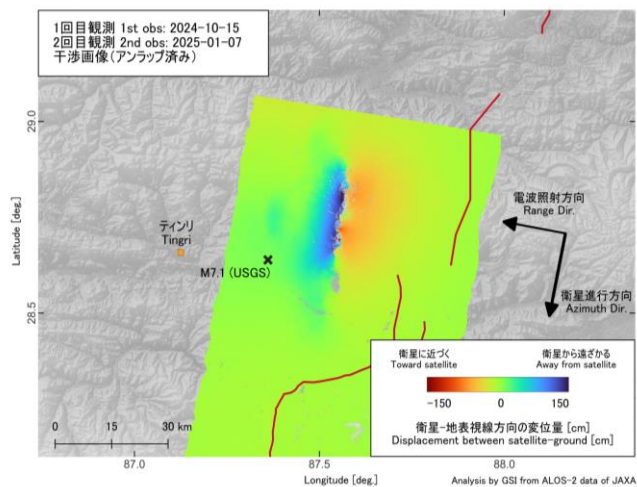
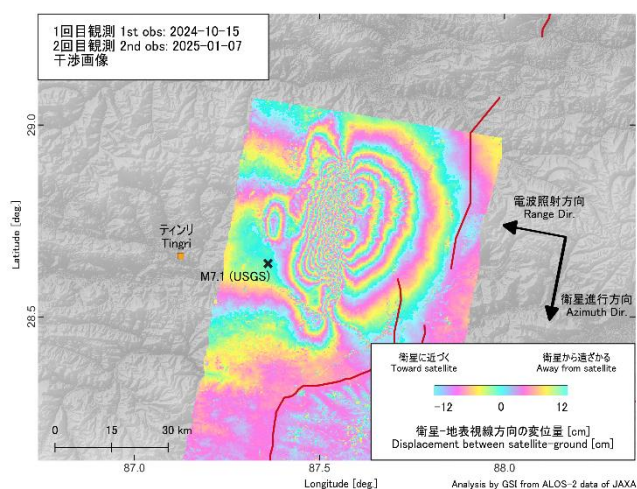


図2. SAR干渉解析結果 (Pair 1: 2024-10-15_2025-01-07)。左図：干渉画像、右図：アンラップ結果。震央は米国地質調査所ウェブサイトより。断層線は Styron et al. (2020)より。

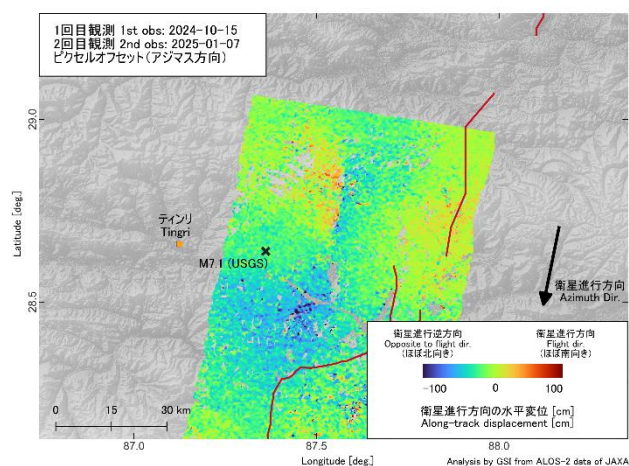
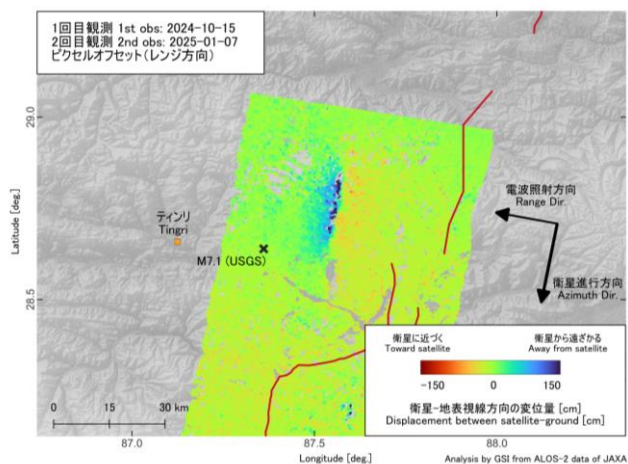


図3. ピクセルオフセットの結果 (Pair 1: 2024-10-15_2025-01-07)。左図：レンジ方向、右図：アジマス方向。震央は米国地質調査所ウェブサイトより。断層線は Styron et al. (2020)より。

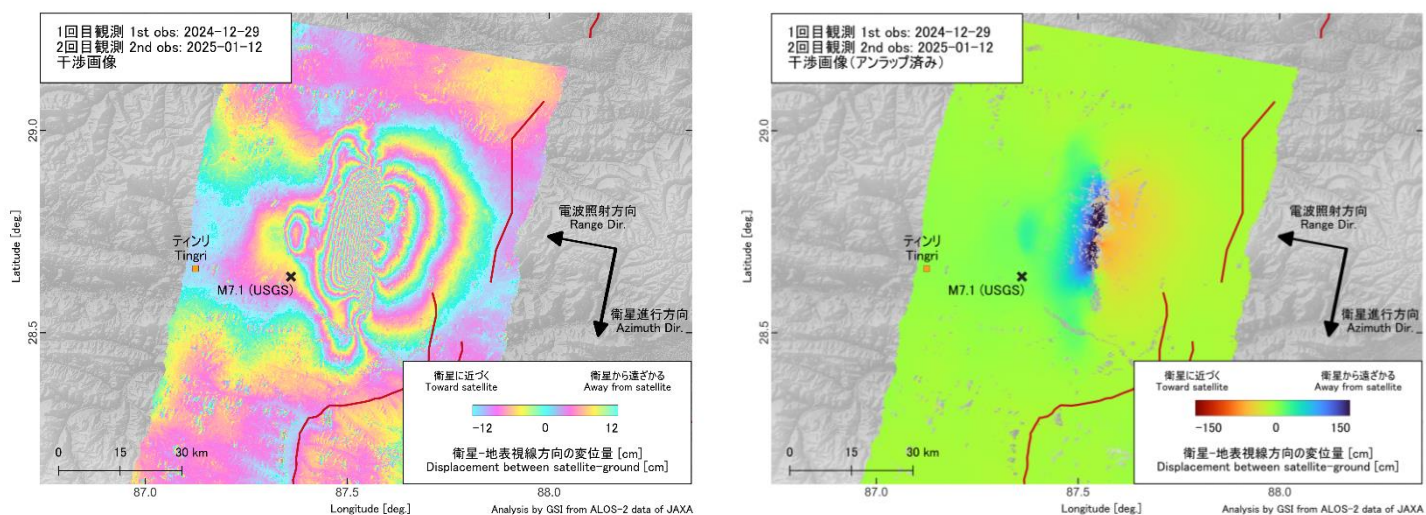


図4. SAR 干渉解析結果 (Pair 2: 2024-12-29_2025-01-12)。左図：干渉画像、右図：アンラップ結果。震央は米国地質調査所ウェブサイトより。断層線は Styron et al. (2020)より。

本成果は、地震予知連絡会 SAR 解析ワーキンググループの活動を通して得られたものである。

(参考資料)

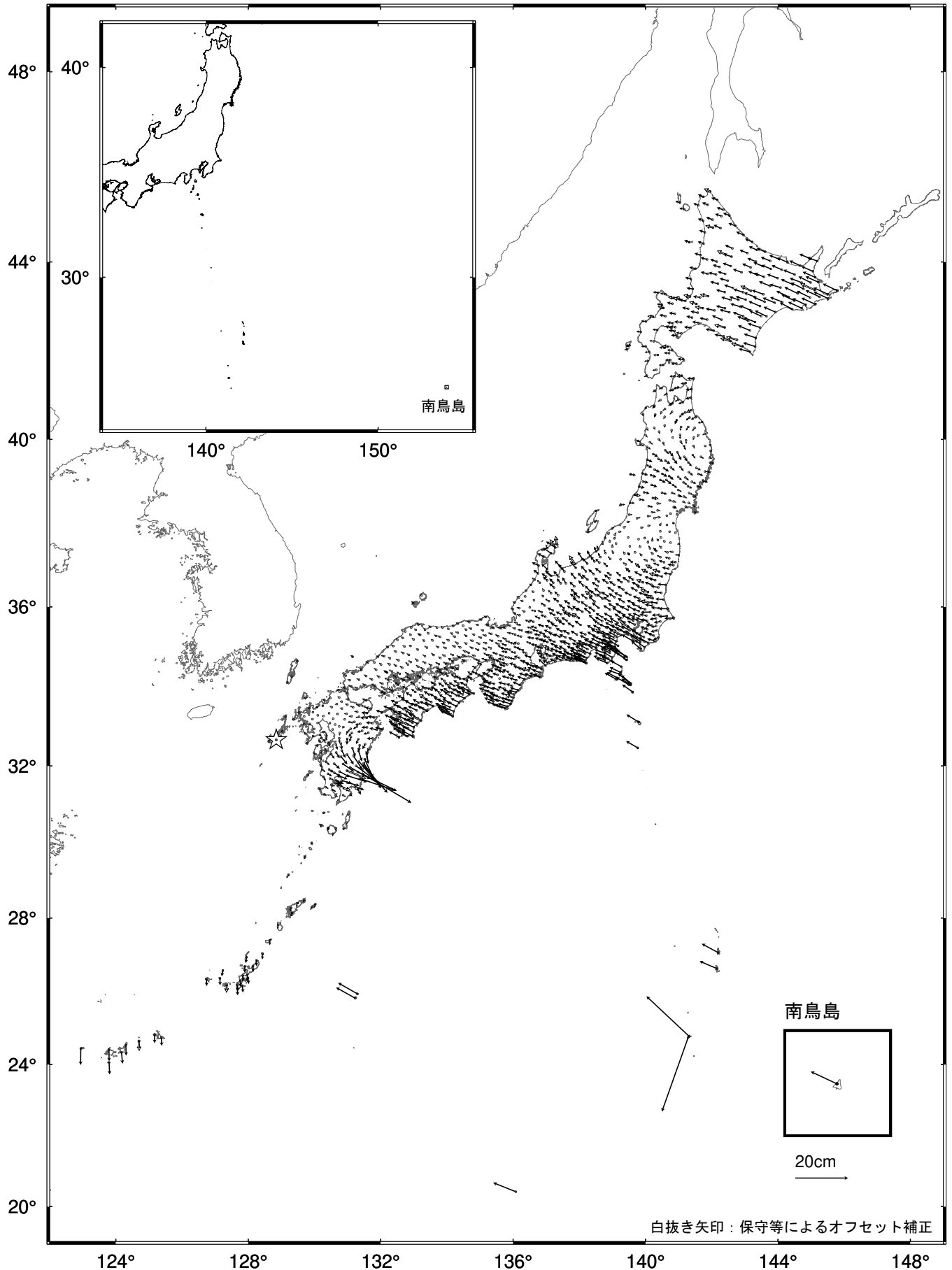
GEONET による最近の地殻変動(水平)

- | | |
|-------------------------|--|
| (1) 最近の1年間の変動ベクトル図 | 全国 |
| (2) 最近の1か月の変動ベクトル図 | 全国
北海道地方
東北地方
関東・中部地方
近畿・中国・四国地方
九州地方
沖縄地方 |
| (3) 2期間の変動ベクトルの差の図(1か月) | 北日本
中日本
南日本 |

全国の地殻変動（水平）－1年間－

基準期間：2024-01-19 -- 2024-01-25 [F 5：最終解]

比較期間：2025-01-19 -- 2025-01-25 [R 5：速報解]



☆ 固定局：福江（長崎県）

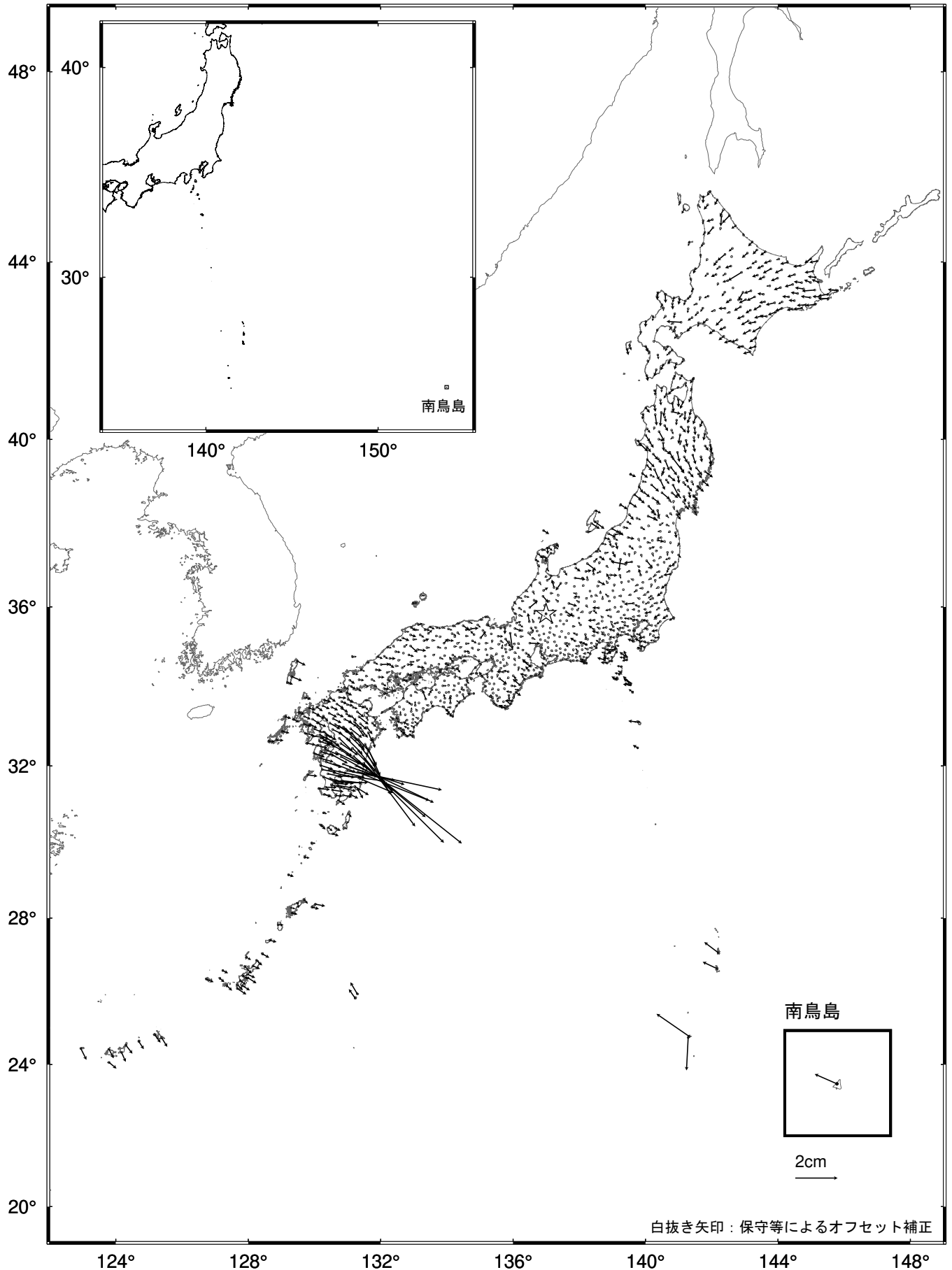
- ・平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震後の余効変動が見られる。
- ・2024年1月1日に発生した令和6年能登半島地震後の余効変動が見られる。
- ・2024年8月8日、2025年1月13日に発生した日向灘の地震に伴う地殻変動が見られる。
- ・硫黄島では、島内の地殻変動が見られる。
- ・その他の地方では、プレート運動による定常的な地殻変動が見られる。

国土地理院

全国の地殻変動（水平）－ 1 か月－

基準期間：2024-12-19 -- 2024-12-25 [F 5：最終解]

比較期間：2025-01-19 -- 2025-01-25 [R 5：速報解]



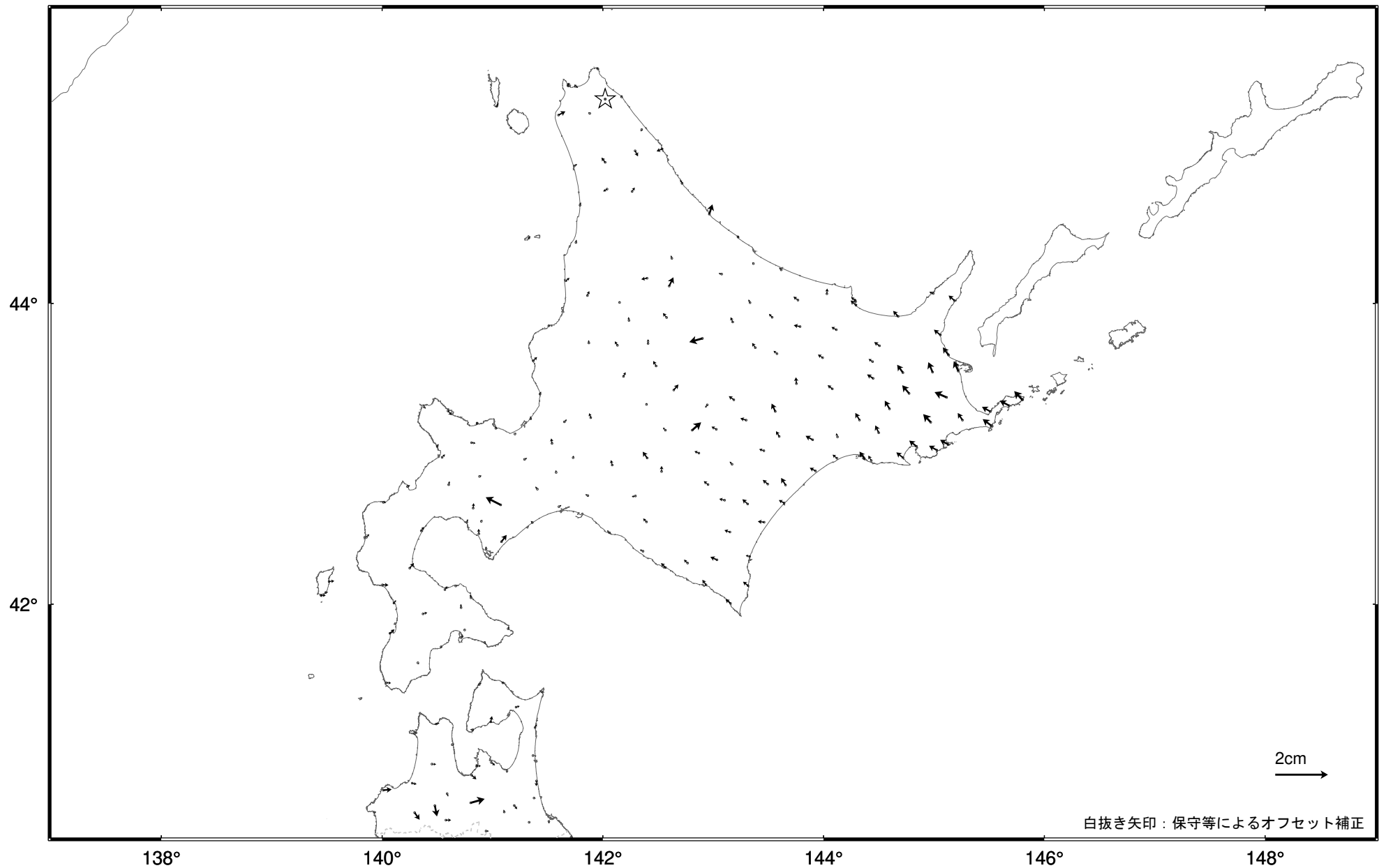
☆ 固定局：白鳥・荘川・板取・加茂白川・萩原の平均値（岐阜県）

- ・平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震後の余効変動が見られる。
- ・2025年1月13日に発生した日向灘の地震に伴う地殻変動が見られる。
- ・硫黄島では、島内の地殻変動が見られる。

北海道地方の地殻変動（水平）－ 1 か月－

基準期間：2024-12-19 -- 2024-12-25 [F 5：最終解]

比較期間：2025-01-19 -- 2025-01-25 [R 5：速報解]



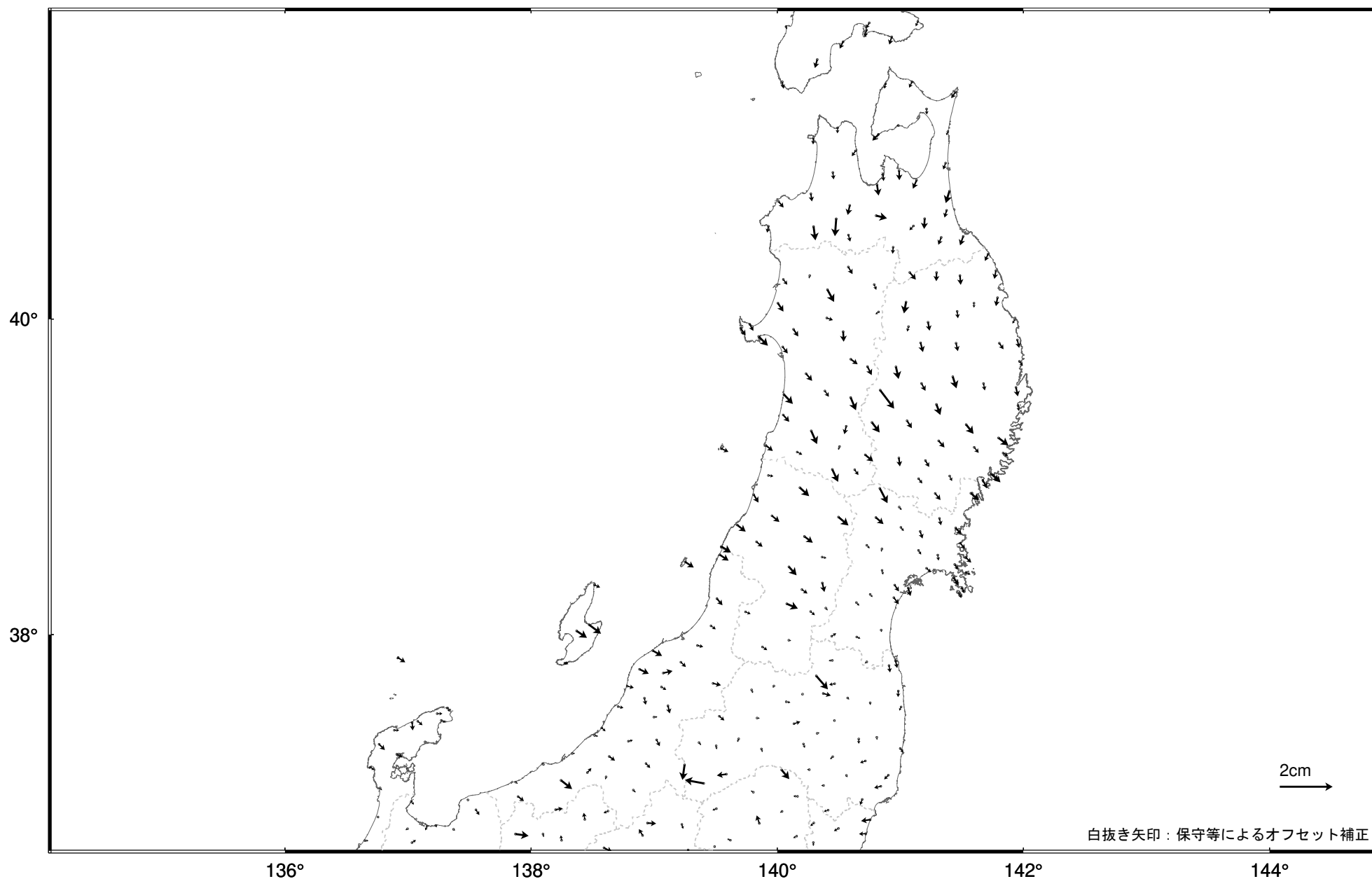
☆ 固定局：猿払・稚内3・稚内・稚内4・浜頓別の平均値（北海道）
・特段の変化は見られない。

国土地理院

東北地方の地殻変動（水平）－ 1 か月－

基準期間：2024-12-19 -- 2024-12-25 [F 5：最終解]

比較期間：2025-01-19 -- 2025-01-25 [R 5：速報解]



白抜き矢印：保守等によるオフセット補正

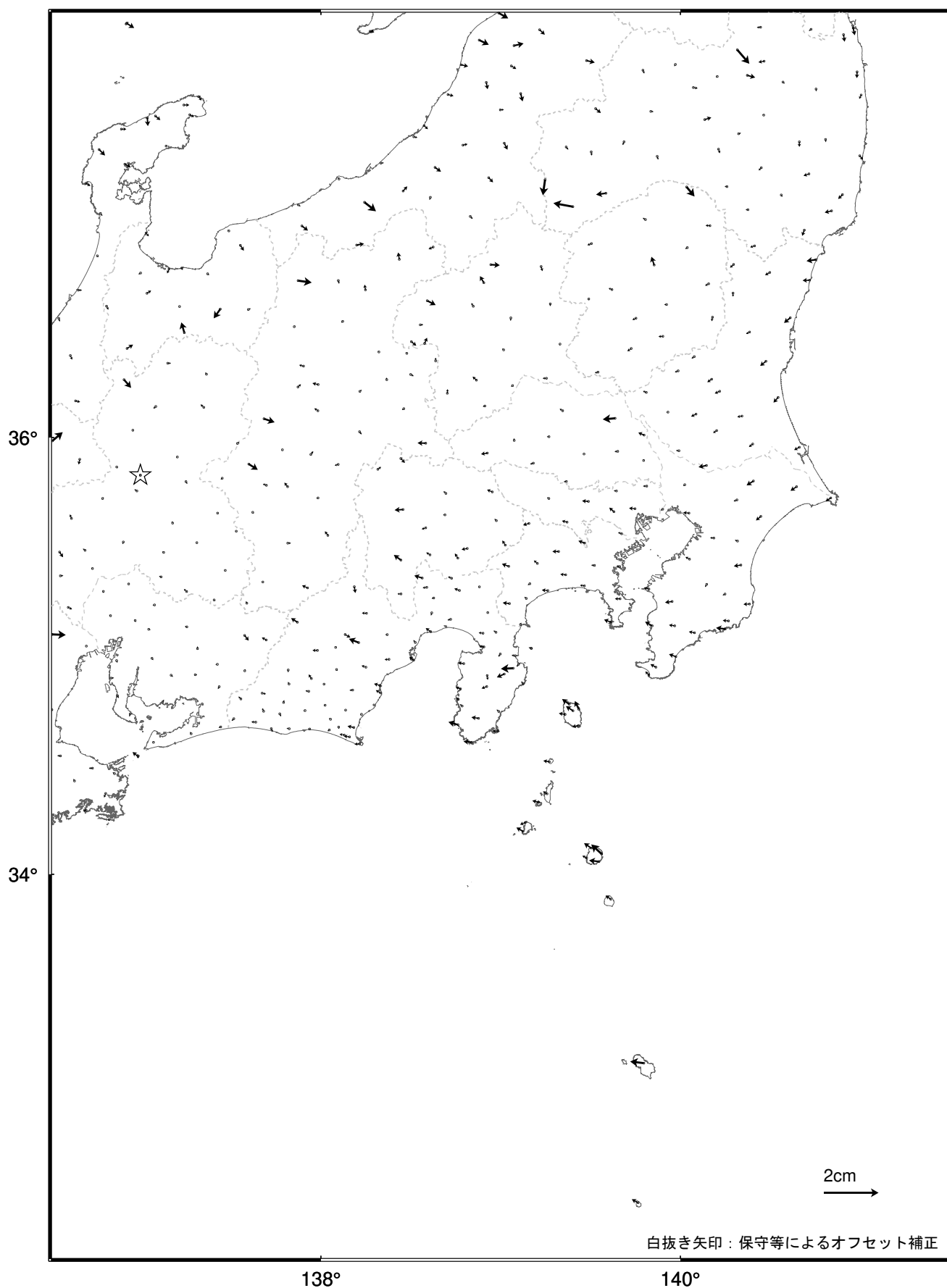
☆ 固定局：白鳥・荘川・板取・加茂白川・萩原の平均値（岐阜県）
・平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震後の余効変動が見られる。

国土地理院

関東・中部地方の地殻変動（水平）－ 1 か月－

基準期間：2024-12-19 -- 2024-12-25 [F 5：最終解]

比較期間：2025-01-19 -- 2025-01-25 [R 5：速報解]



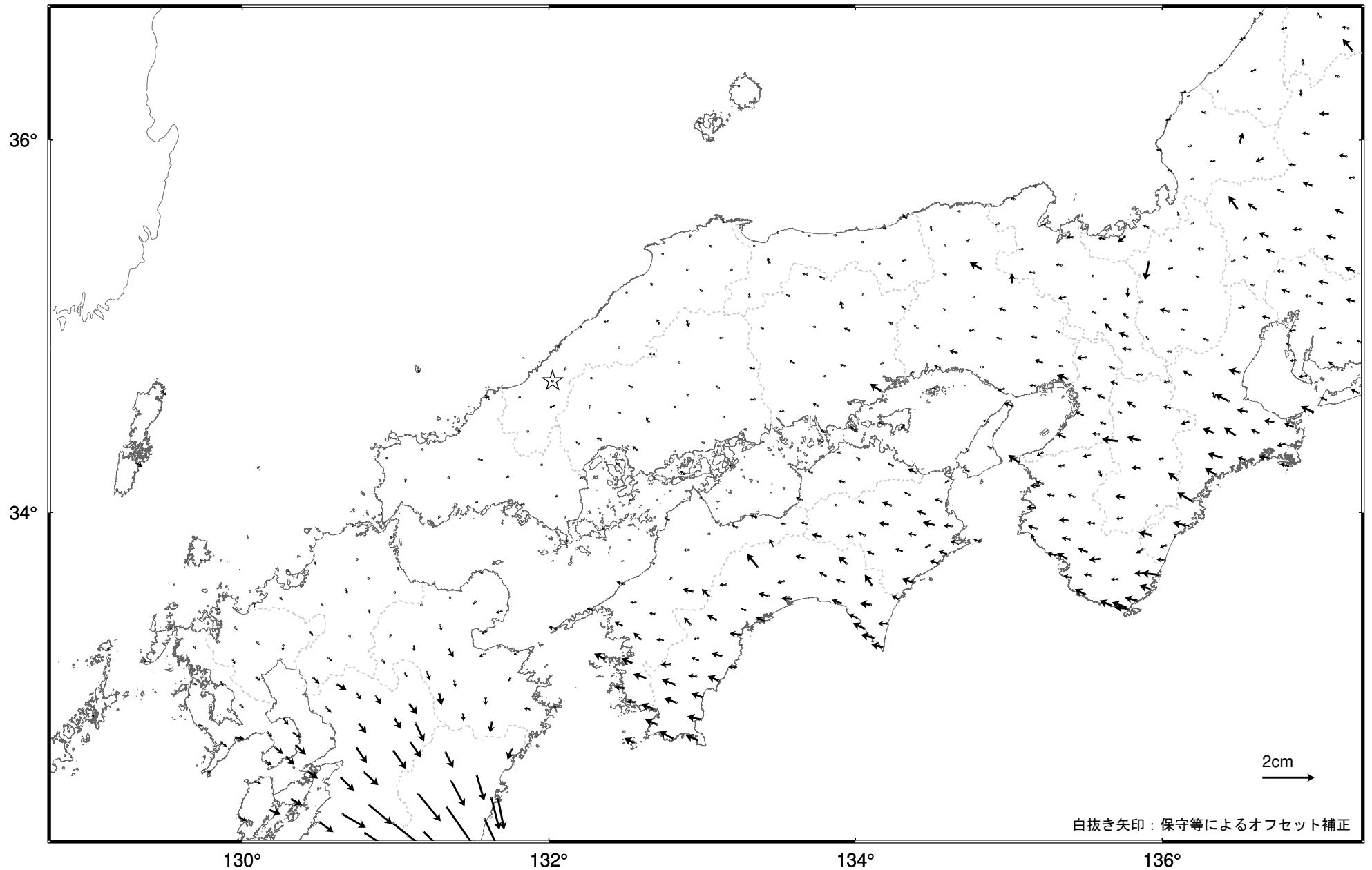
☆ 固定局：白鳥・荘川・板取・加茂白川・萩原の平均値（岐阜県）

・ 特段の変化は見られない。

近畿・中国・四国地方の地殻変動（水平）－1か月－

基準期間：2024-12-19 -- 2024-12-25 [F 5：最終解]

比較期間：2025-01-19 -- 2025-01-25 [R 5：速報解]



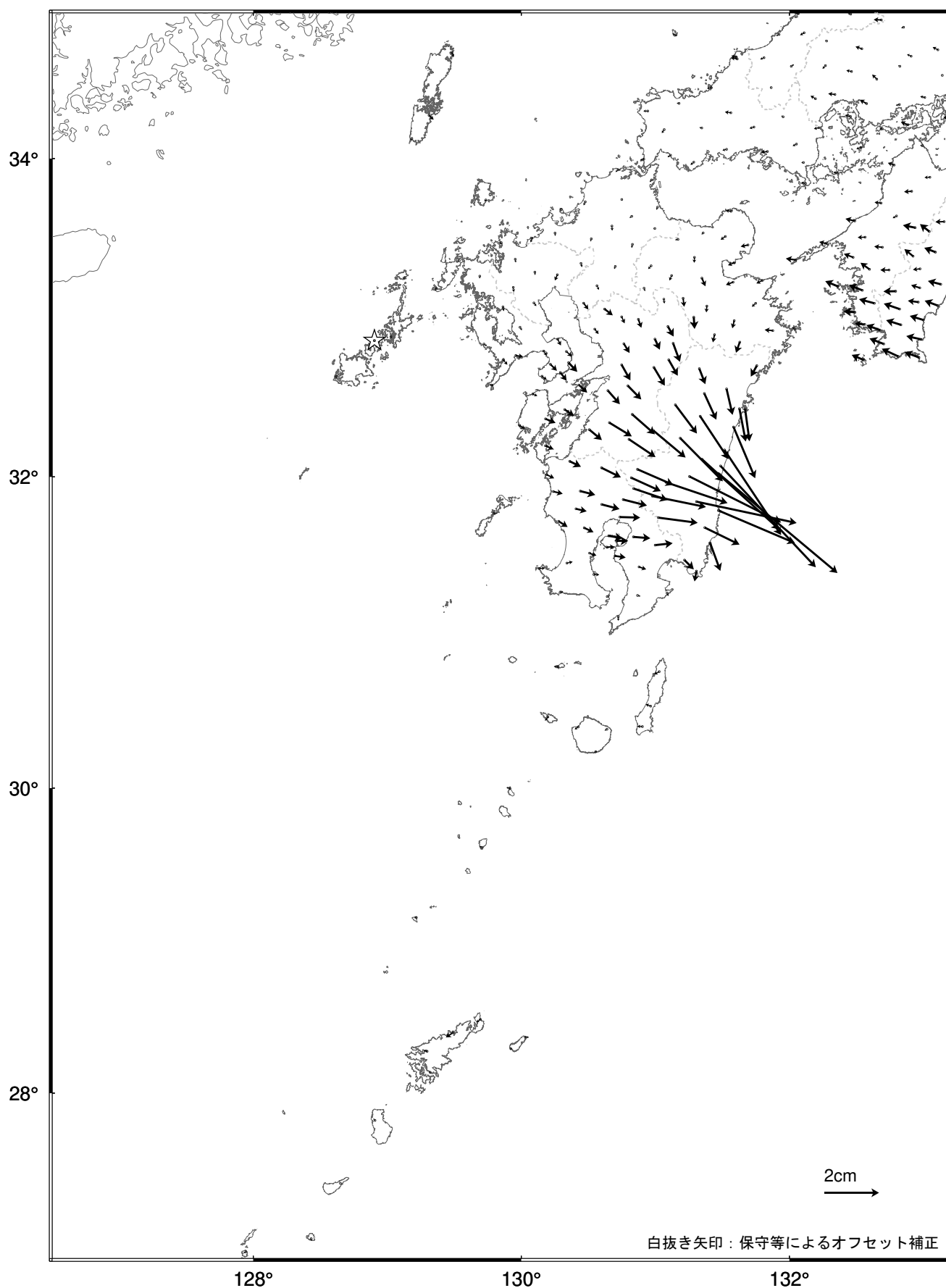
☆ 固定局：三隅・江津・弥栄・匹見・柿木の平均値（島根県）
・2025年1月13日に発生した日向灘の地震に伴う地殻変動が見られる。

国土地理院

九州地方の地殻変動（水平）－ 1 か月－

基準期間：2024-12-19 -- 2024-12-25 [F 5：最終解]

比較期間：2025-01-19 -- 2025-01-25 [R 5：速報解]



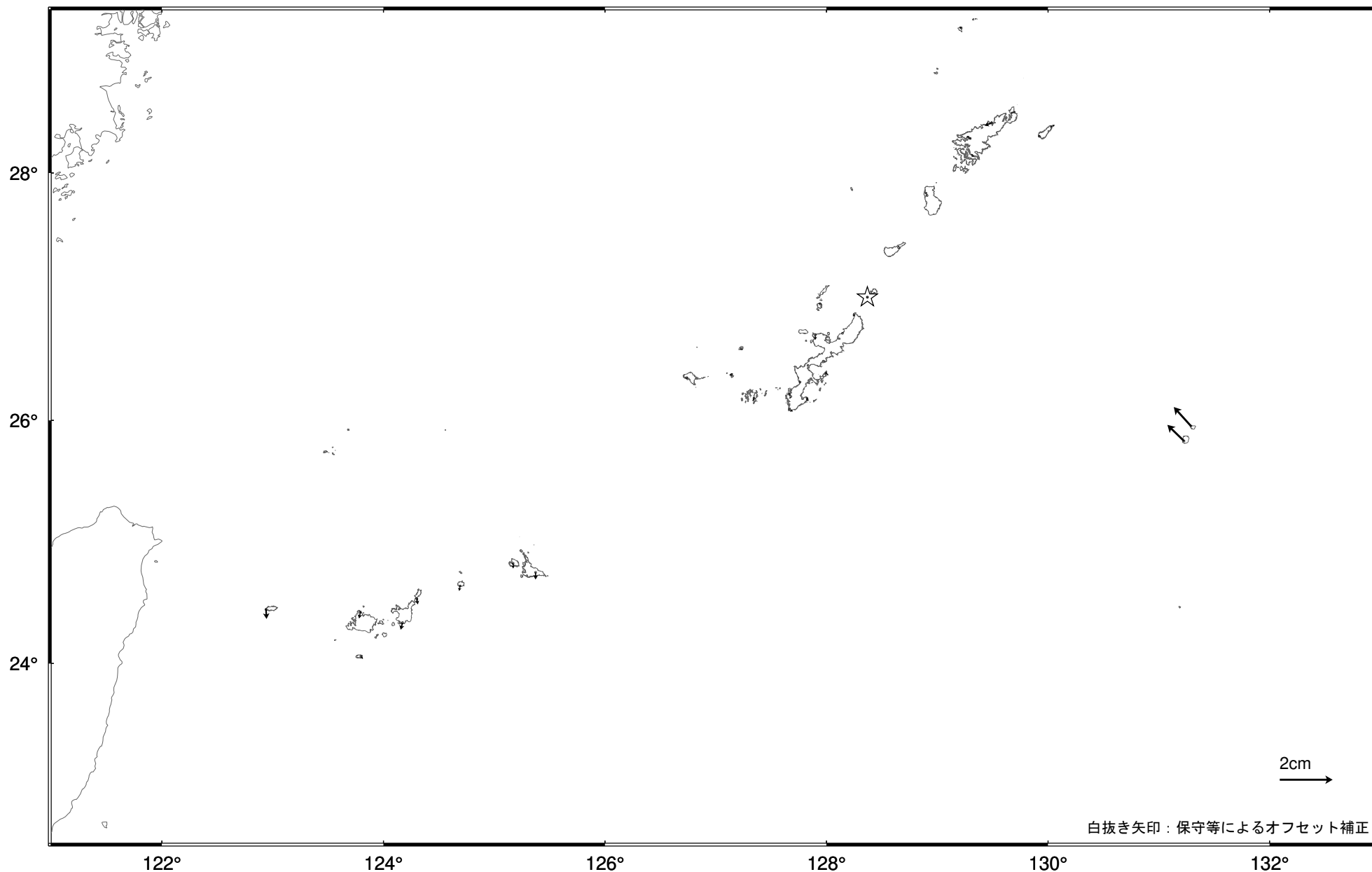
☆ 固定局：福江・宇久・若松・玉之浦の平均値（長崎県）

・ 2025年1月13日に発生した日向灘の地震に伴う地殻変動が見られる。

沖縄地方の地殻変動（水平）－ 1 か月－

基準期間：2024-12-19 -- 2024-12-25 [F 5：最終解]

比較期間：2025-01-19 -- 2025-01-25 [R 5：速報解]



☆ 固定局：与論（鹿児島県）和泊（鹿児島県）国頭（沖縄県）大宜味（沖縄県）の平均値
・ 特段の変化は見られない。

国土地理院

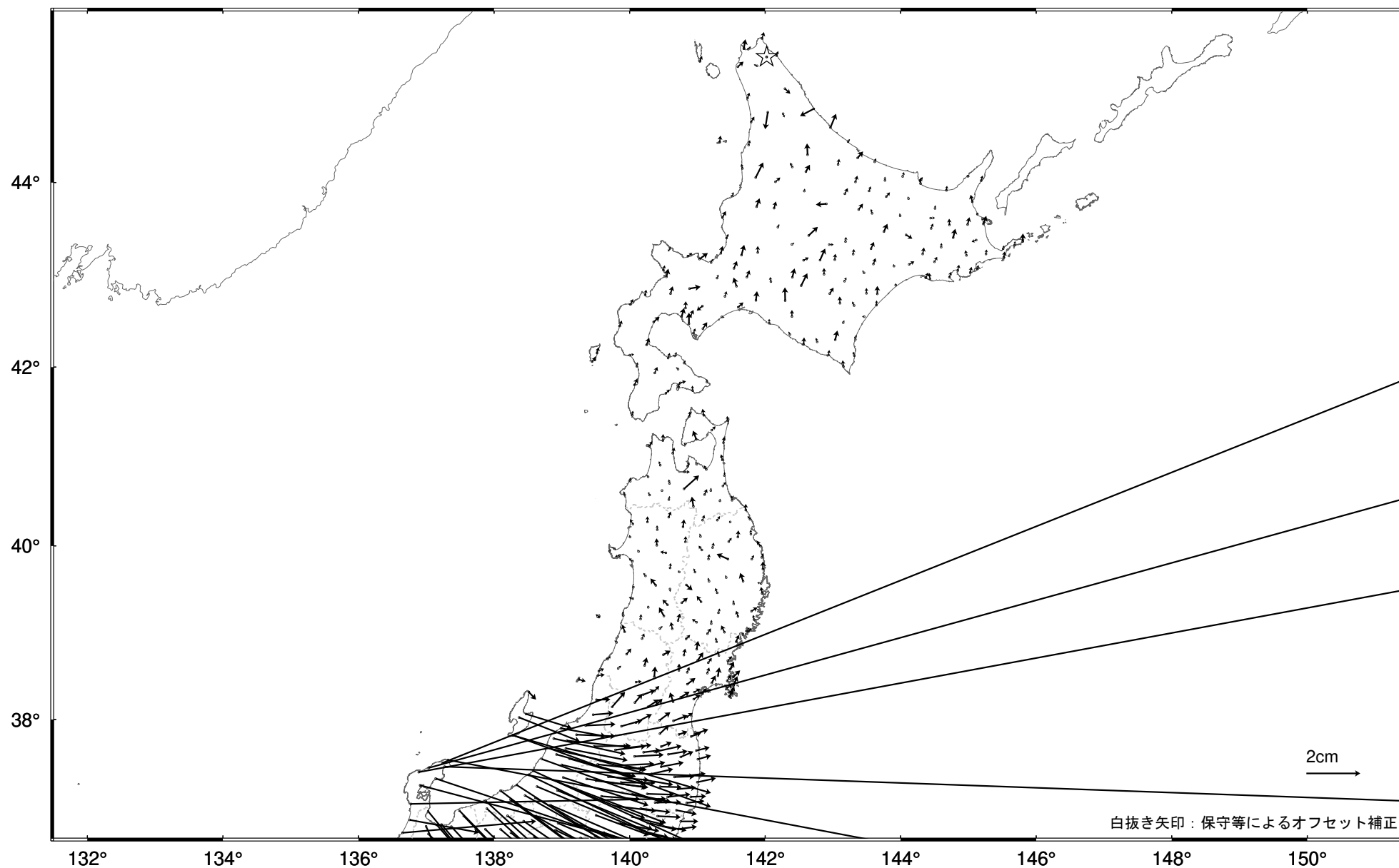
2 期間の地殻変動ベクトルの差－1 か月－

基準期間：2023-12-11 -- 2023-12-25 [F 5：最終解]

比較期間：2024-01-11 -- 2024-01-25 [F 5：最終解]

基準期間：2024-12-11 -- 2024-12-25 [F 5：最終解]

比較期間：2025-01-11 -- 2025-01-25 [R 5：速報解]



☆ 固定局：猿払・稚内3・稚内4・稚内・浜頓別の平均値（北海道）

・2024年1月1日に発生した令和6年能登半島地震に伴う地殻変動の影響が見られる。

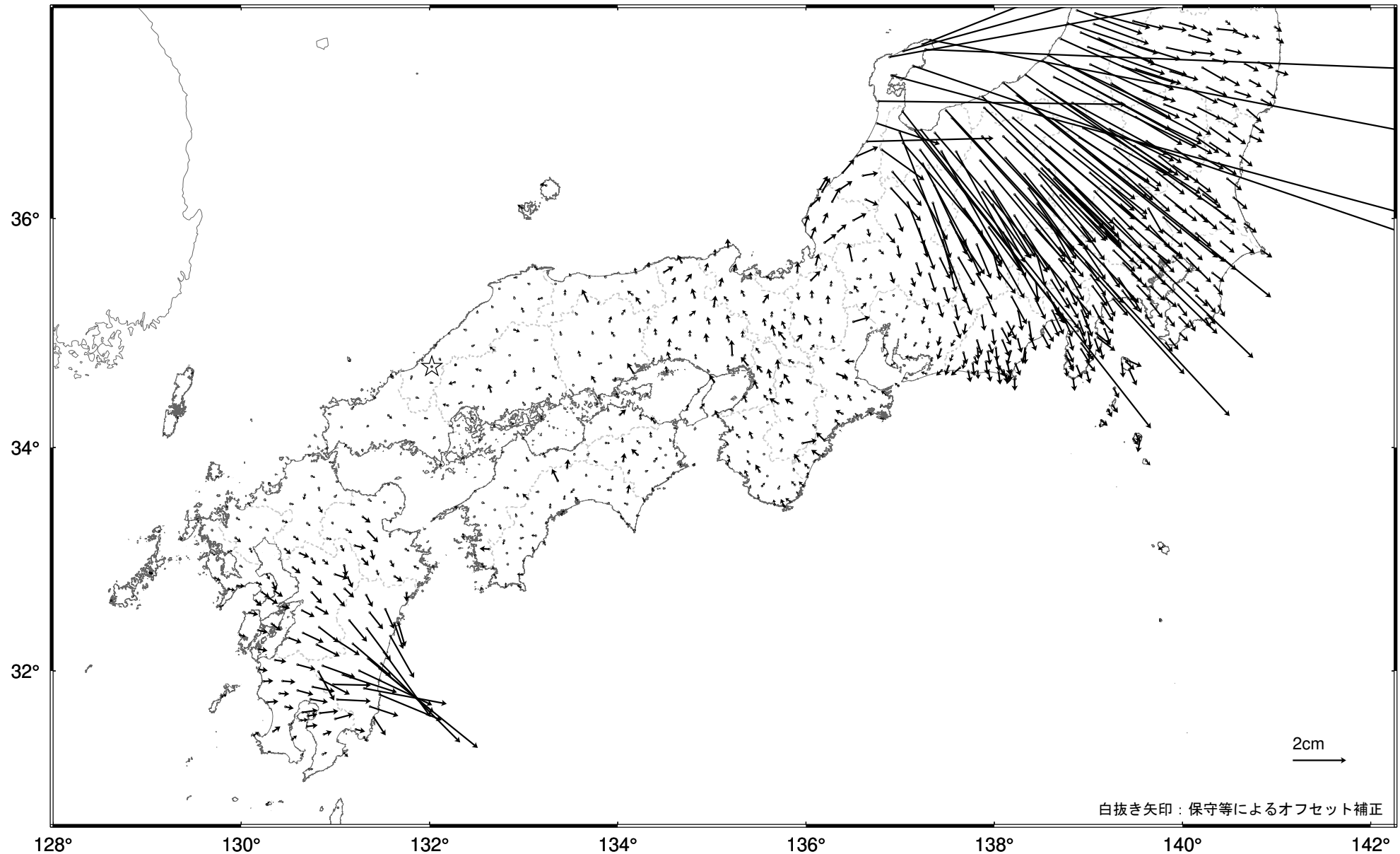
2 期間の地殻変動ベクトルの差- 1 か月 -

基準期間：2023-12-11 -- 2023-12-25 [F 5：最終解]

比較期間：2024-01-11 -- 2024-01-25 [F 5：最終解]

基準期間：2024-12-11 -- 2024-12-25 [F 5：最終解]

比較期間：2025-01-11 -- 2025-01-25 [R 5：速報解]



☆ 固定局：三隅・江津・弥栄・匹見・柿木の平均値（島根県）

- ・ 2024年1月1日に発生した令和6年能登半島地震に伴う地殻変動の影響が見られる。
- ・ 2025年1月13日に発生した日向灘の地震に伴う地殻変動が見られる。

白抜き矢印：保守等によるオフセット補正

国土地理院

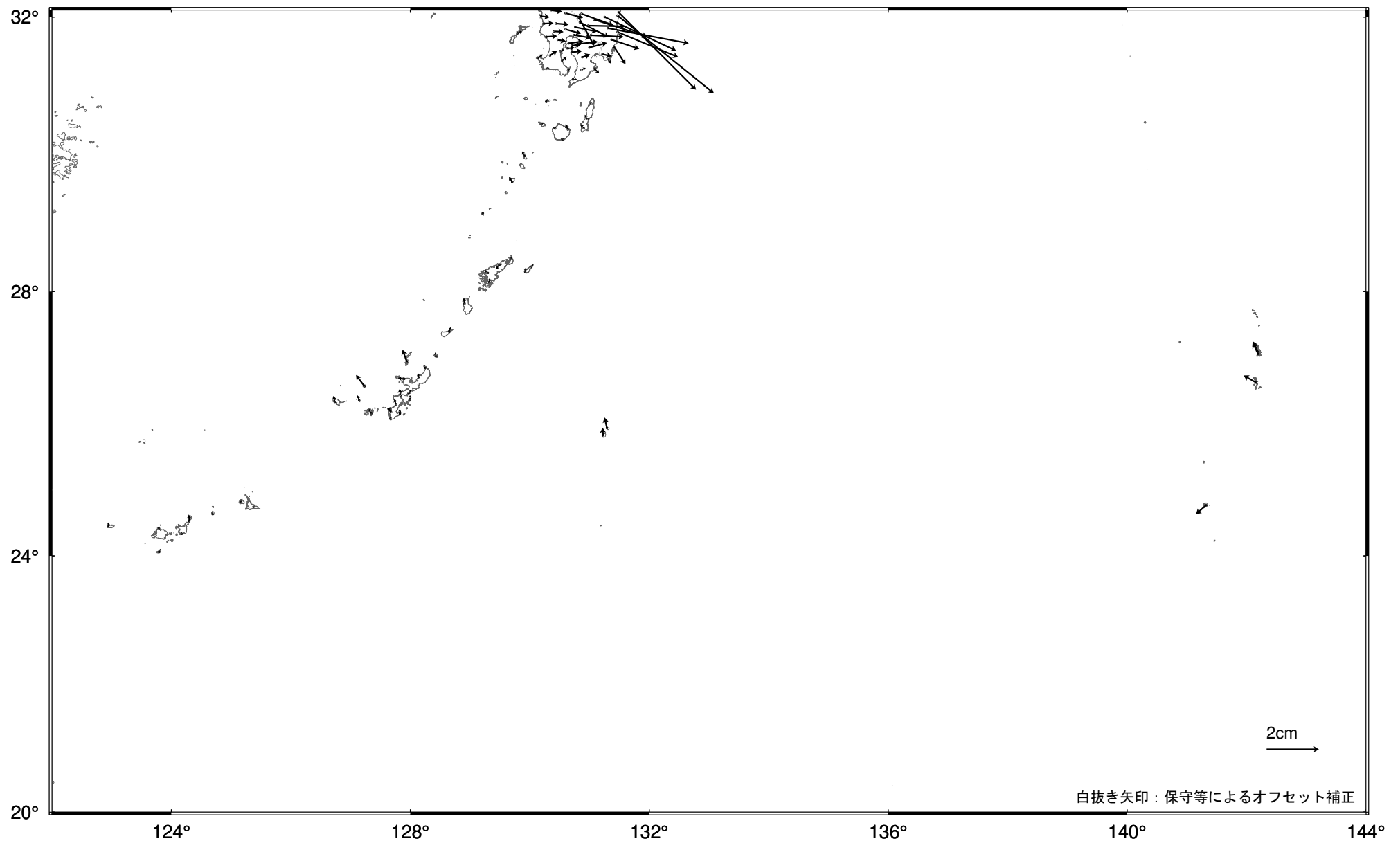
2 期間の地殻変動ベクトルの差- 1 か月 -

基準期間：2023-12-11 -- 2023-12-25 [F 5：最終解]

比較期間：2024-01-11 -- 2024-01-25 [F 5：最終解]

基準期間：2024-12-11 -- 2024-12-25 [F 5：最終解]

比較期間：2025-01-11 -- 2025-01-25 [R 5：速報解]



☆ 固定局：三隅・江津・弥栄・匹見・柿木の平均値（島根県）

- ・ 2025年1月13日に発生した日向灘の地震に伴う地殻変動が見られる。
- ・ 硫黄島では、島内の地殻変動が見られる。

国土地理院